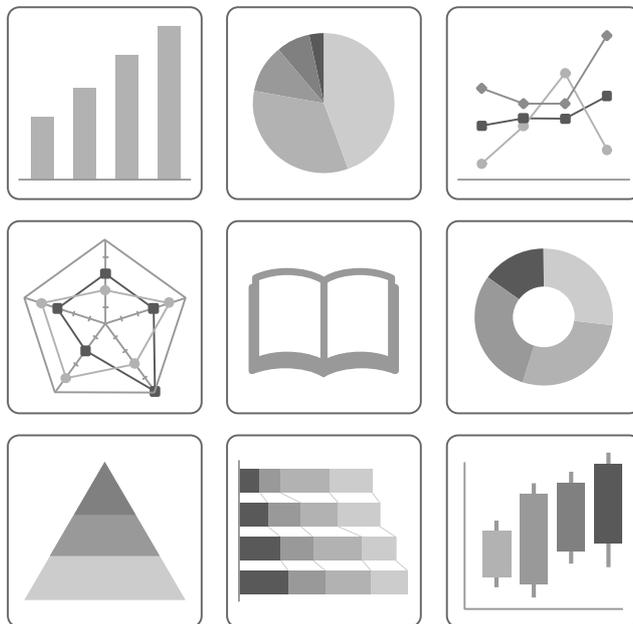


西宮市
地域福祉計画改定のためのアンケート調査
調査結果報告書



令和3年3月

西宮市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
(1)	回答者属性.....	2
(2)	世帯のことについて.....	6
(3)	地域との関わり合いについて.....	13
(4)	地域での活動（町会・自治会やボランティア、市民活動等）について.....	58
(5)	悩みごとや福祉に関する相談先について.....	85
(6)	社会的な課題について.....	95
(7)	災害発生時における助け合い活動について.....	98
III	自由回答	110

I 調査の概要

1 調査の目的

「西宮市地域福祉計画」の改定に先立ち、市民の方に地域福祉について、日常生活の現状や意識、福祉サービスや地域づくりに関する意見などを聞き、計画策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

西宮市在住の方の中から無作為抽出

3 調査期間

令和3年1月8日から令和3年1月29日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
4,000 通	1,955 通	48.9%

6 調査結果の表示方法

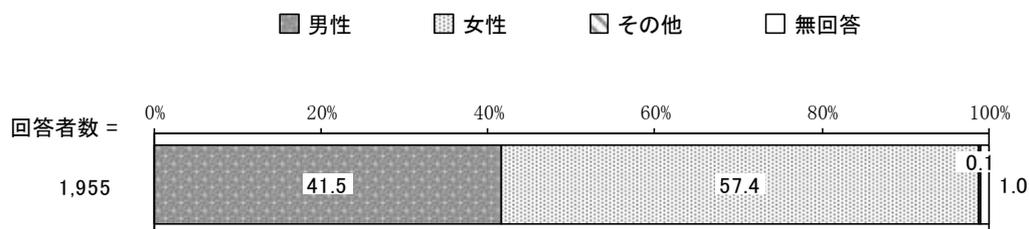
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものをで網かけをしています。（無回答を除く）

II 調査結果

(1) 回答者属性

問1 あなたの性別についてお伺いします。(○は1つだけ)

「男性」の割合が41.5%、「女性」の割合が57.4%となっています。

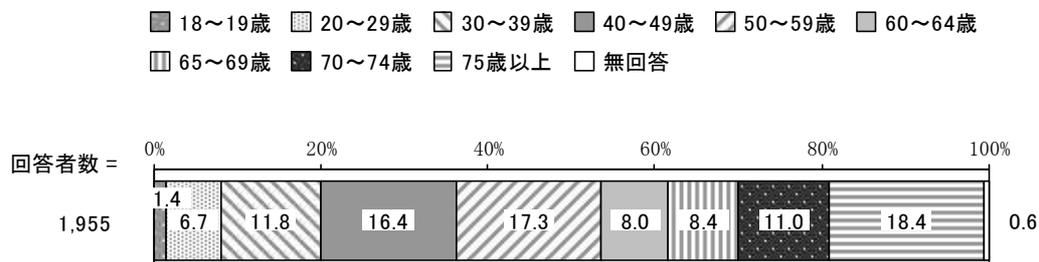


主なその他意見

記述はありませんでした。

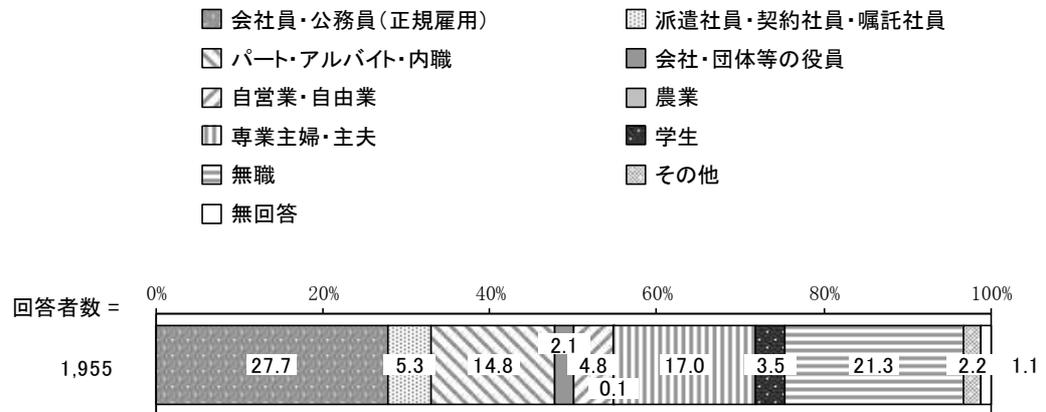
問2 あなたの年齢は次のうちどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

「75歳以上」の割合が18.4%と最も高く、次いで「50～59歳」の割合が17.3%、「40～49歳」の割合が16.4%となっています。



間3 あなたのご職業等を教えてください。(○は1つだけ)

「会社員・公務員(正規雇用)」の割合が27.7%と最も高く、次いで「無職」の割合が21.3%、「専業主婦・主夫」の割合が17.0%となっています。

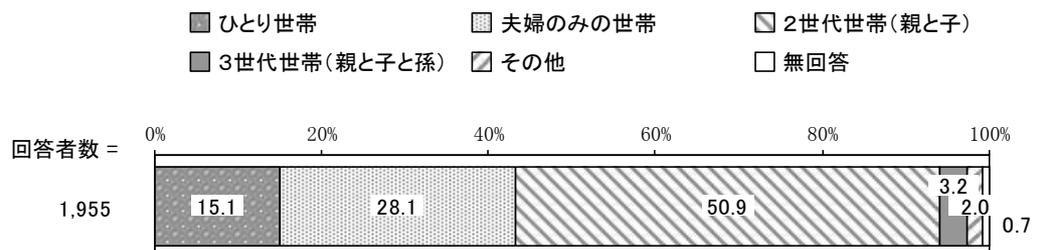


主なその他意見

- ・ 年金生活
- ・ 自営業手伝
- ・ 医療関係
- ・ 団体職員
- ・ 無職 など

間4 あなたの世帯構成はどのようになっていますか。(○は1つだけ)

「2世代世帯(親と子)」の割合が50.9%と最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」の割合が28.1%、「ひとり世帯」の割合が15.1%となっています。

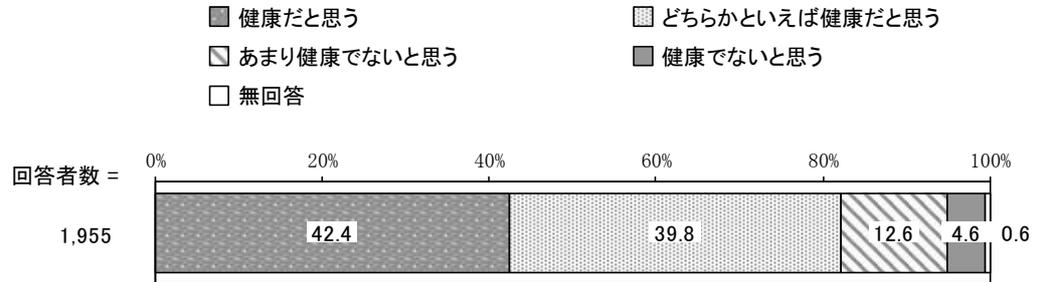


主なその他意見

- ・ 単身赴任中
- ・ 施設に入所
- ・ 兄弟
- ・ 親戚 など

問5 あなたは、健康だと感じていますか。(○は1つだけ)

「健康だと思う」と「どちらかといえば健康だと思う」を合わせた「健康だと思う」の割合が82.2%、「あまり健康でないと思う」と「健康ではないと思う」を合わせた「健康ではないと思う」の割合が17.2%となっています。



問6 あなたのお住まいの地域は次の地区のどちらですか。(○は番号に1つだけ)

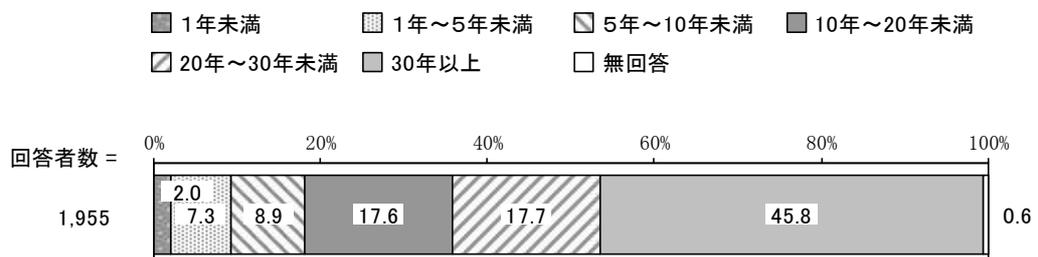
「瓦木地区」の割合が5.1%と最も高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	浜脇地区	香櫛園地区	安井地区	用海地区	西宮浜地区	今津地区	春風地区	津門地区	芦原地区	広田地区	平木地区	大社地区	神原地区	甲陽園地区	夙川地区	北夙川・苦楽園地区	鳴尾西地区	鳴尾北地区
	1955	3.5	3.0	2.5	2.4	1.4	3.2	3.0	2.8	1.2	3.5	1.5	3.7	1.5	3.4	3.7	3.4	1.7	4.5
区分	小松地区	鳴尾東地区	高須地区	甲子園浜地区	南甲子園地区	上甲子園地区	瓦木地区	高木地区	甲東地区	段上地区	段上西地区	樋ノ口地区	上ヶ原地区	生瀬地区	名塩地区	東山台地区	山口地区	北六甲台地区	無回答
	2.6	2.1	3.8	2.1	3.1	3.0	5.1	3.8	3.5	2.1	2.5	2.1	4.0	2.0	2.1	1.5	1.1	1.1	2.5

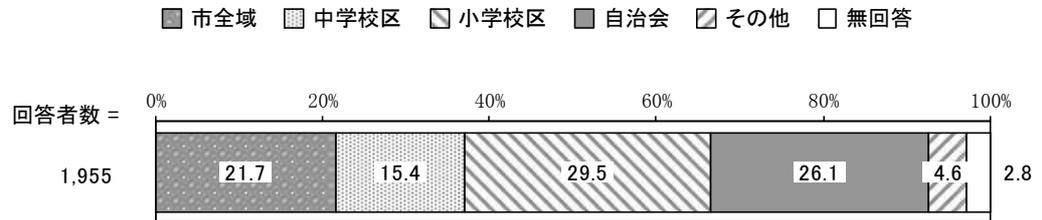
問7 あなたは西宮市に通算でどのくらいお住まいですか。(○は1つだけ)

「30年以上」の割合が45.8%と最も高く、次いで「20年～30年未満」の割合が17.7%、「10年～20年未満」の割合が17.6%となっています。



問8 あなたが考える「身近な地域」とはどのようなものだと思いますか。(〇は1つだけ)

「小学校区」の割合が29.5%と最も高く、次いで「自治会」の割合が26.1%、「市全域」の割合が21.7%となっています。



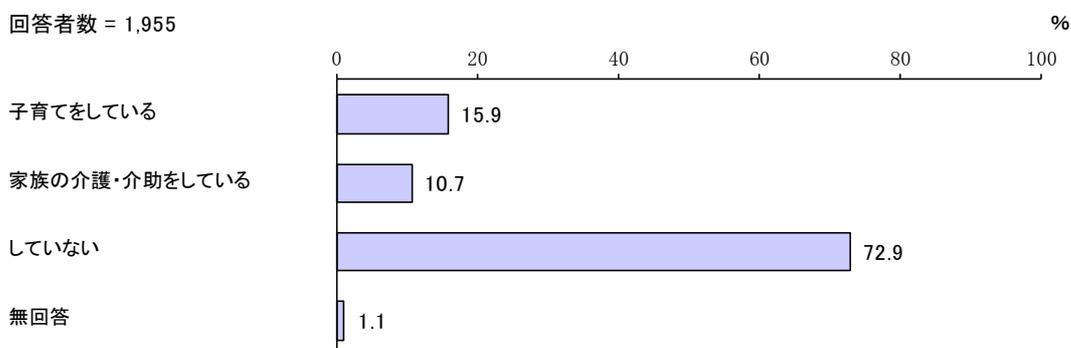
主なその他意見

- ・ 徒歩圏内
- ・ 支所内
- ・ 自宅から最寄りの鉄道駅まで
- ・ 阪神地区
- ・ 歩いていける範囲 など

(2) 世帯のことについて

問9 あなたは、現在、就学前の子を育てていたり、ご家族（同居・別居を問わない）の介護・介助をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

「していない」の割合が72.9%と最も高く、次いで「子育てをしている」の割合が15.9%、「家族の介護・介助をしている」の割合が10.7%となっています。



【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、30～39歳で「子育てをしている」の割合が高くなっています。また、他に比べ、60～64歳で「家族の介護・介助をしている」の割合が、18～19歳で「していない」の割合が高くなっています。

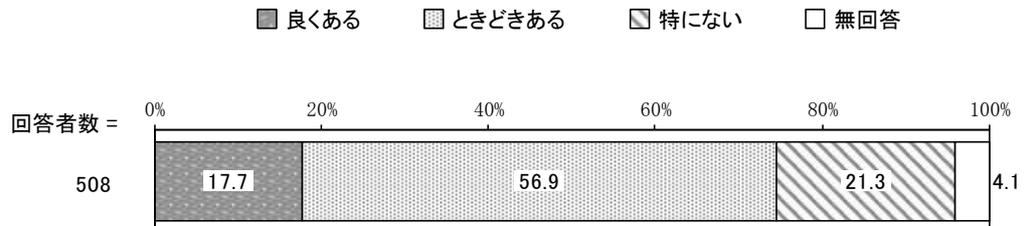
単位：%

区分	有効回答数 (件)	子育てをしている	家族の介護・介助を している	していない	無回答
18～19歳	27	3.7	—	96.3	—
20～29歳	131	8.4	1.5	89.3	0.8
30～39歳	231	60.6	3.0	37.2	—
40～49歳	320	35.0	6.6	59.4	0.3
50～59歳	339	10.0	19.8	70.8	0.6
60～64歳	156	3.2	23.1	72.4	1.9
65～69歳	164	0.6	10.4	87.8	1.2
70～74歳	216	1.9	8.8	88.4	0.9
75歳以上	359	0.3	10.9	86.1	2.8

問9で「1. 子育てをしている」「2. 家族の介護・介助をしている」のいずれかにお答えの方に伺います

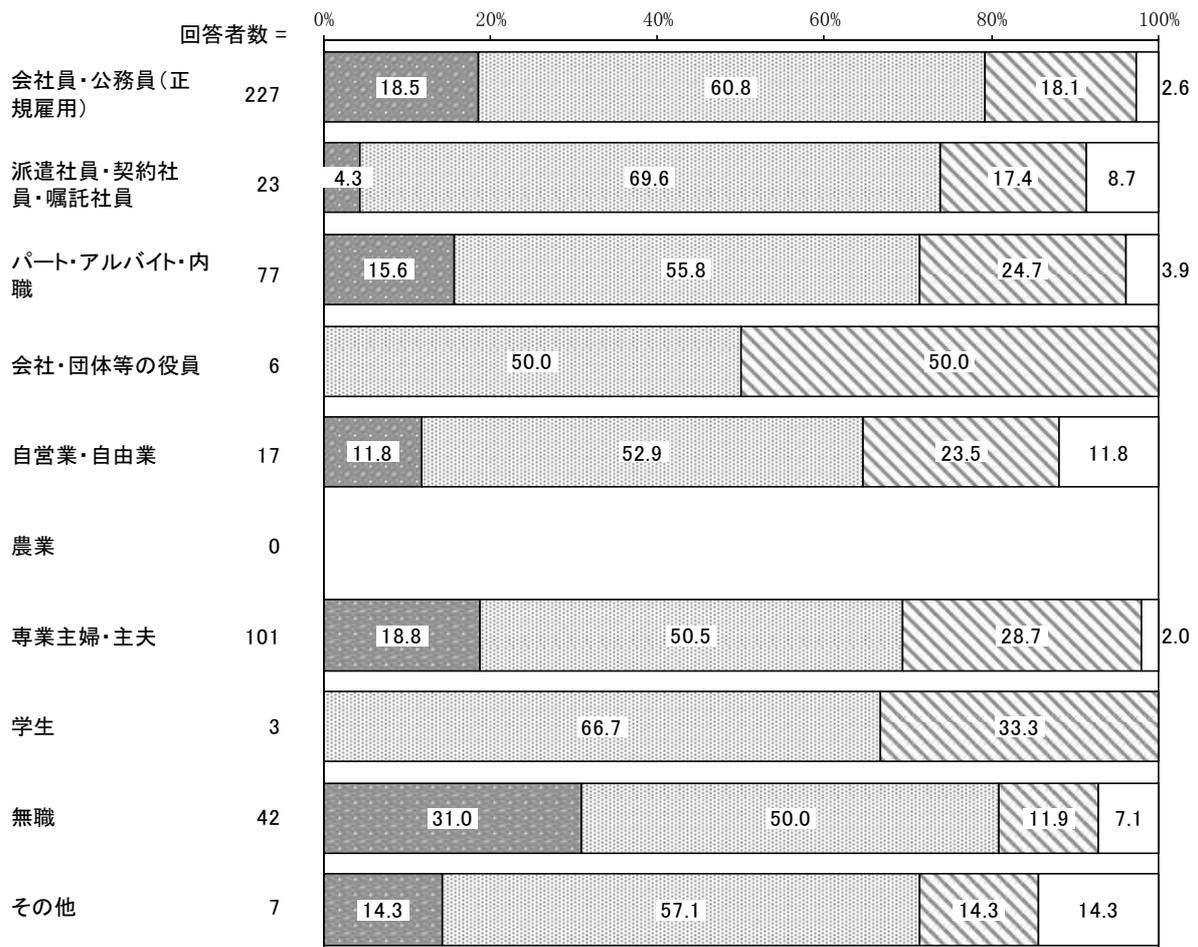
問9-1 あなたが子育てやご家族の介護・介助をしているなかで、生活上困ったことや不便を感じることはありますか。(〇は1つだけ)

「ときどきある」の割合が56.9%と最も高く、次いで「特にない」の割合が21.3%、「良くある」の割合が17.7%となっています。



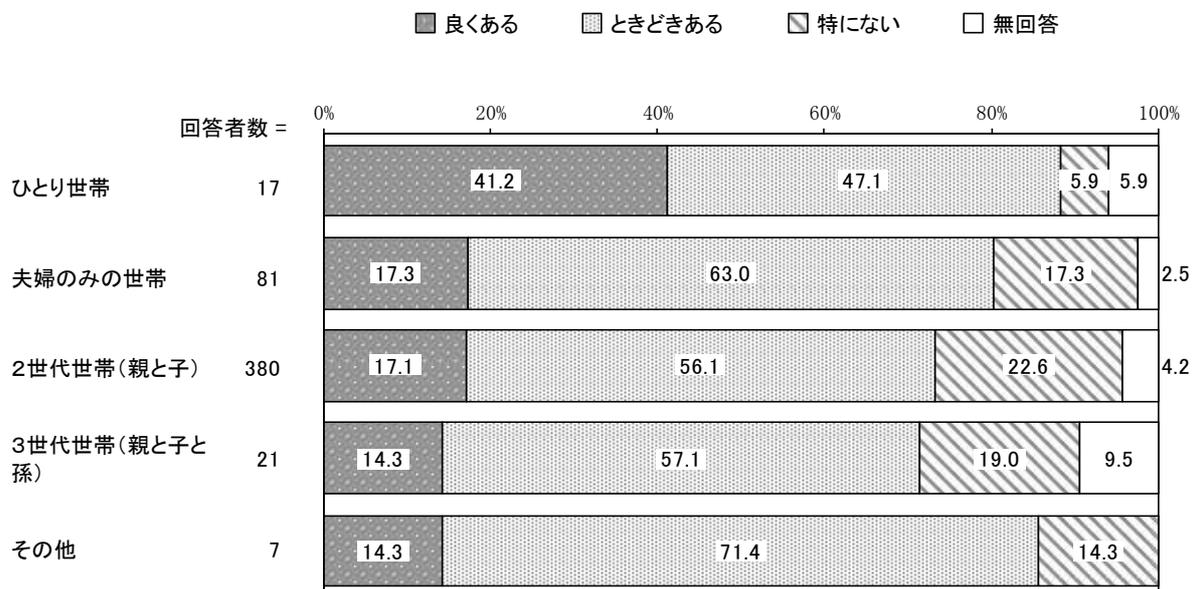
【職業別】

職業別でみると、他に比べ、無職で「良くある」の割合が高くなっています。また、他に比べ、派遣社員・契約社員・嘱託社員で「ときどきある」の割合が、専業主婦・主夫で「特にない」の割合が高くなっています。



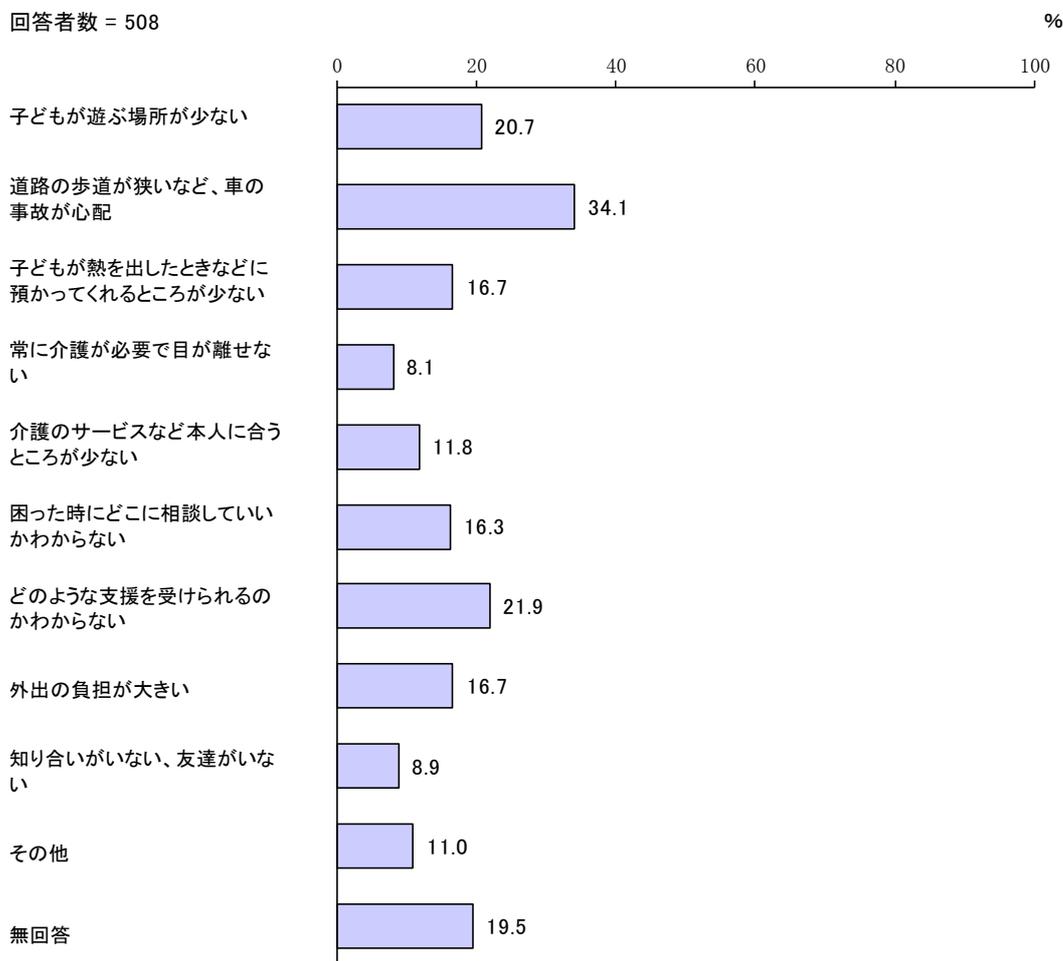
【世帯構成別】

世帯構成別で見ると、他に比べ、ひとり世帯で「良くある」の割合が高くなっています。また、他に比べ、夫婦のみの世帯で「ときどきある」の割合が、2世代世帯（親と子）で「特にない」の割合が高くなっています。



問 9-2 あなたは上記の生活上で困ったことや不便を感じるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「道路の歩道が狭いなど、車の事故が心配」の割合が 34.1%と最も高く、次いで「どのような支援を受けられるのかわからない」の割合が 21.9%、「子どもが遊ぶ場所が少ない」の割合が 20.7%となっています。

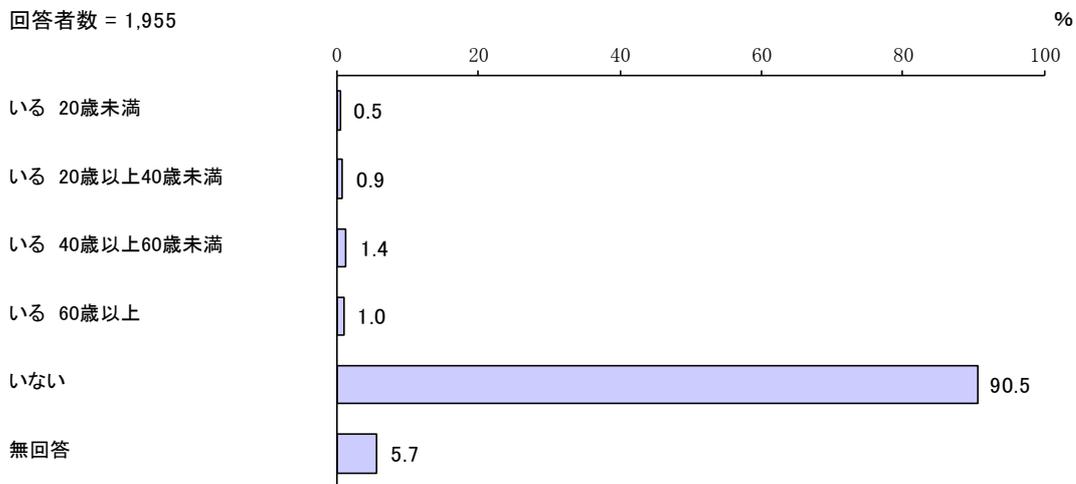


主なその他意見

- ・ 保育園に入りづらい
- ・ 公園が少ない
- ・ 子供の医療費負担
- ・ 坂が多いので、買い物が大変
- ・ 認知症になった親の介護をする際に、症状にあったサービスを実施している施設のなさなど

問 10 あなたやあなたの家族にひきこもり状態の方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

「いない」の割合が90.5%と最も高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、大きな差異はみられません。

単位：%

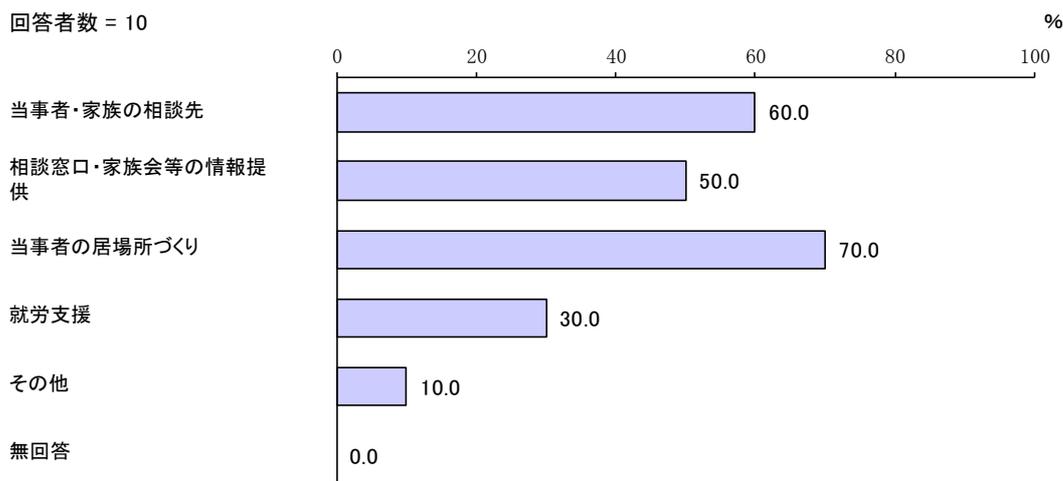
区分	有効回答数(件)	いる 20歳未満	いる 20歳以上 40歳未満	いる 40歳以上 60歳未満	いる 60歳以上	いない	無回答
18～19歳	27	—	—	—	—	96.3	3.7
20～29歳	131	—	1.5	—	0.8	89.3	8.4
30～39歳	231	0.4	1.7	0.4	—	95.2	2.2
40～49歳	320	1.3	0.6	2.2	0.6	91.6	3.8
50～59歳	339	0.6	1.8	2.9	0.3	91.7	2.7
60～64歳	156	—	0.6	—	1.3	92.9	5.1
65～69歳	164	0.6	0.6	0.6	1.8	87.8	8.5
70～74歳	216	0.9	0.9	1.4	0.5	90.7	6.0
75歳以上	359	—	—	1.7	2.5	85.8	10.0

問 10 で「1. いる 20 歳未満」「2. いる 20 歳以上 40 歳未満」「3. いる 40 歳以上 60 歳未満」「4. いる 60 歳以上」とお答えの方に伺います

問 10-1 あなたはひきこもり状態の方やその家族に対して、どのような支援が必要だと考えていますか。(問 10 で選択した各年代について、あてはまるものすべてに○)

①20 歳未満

「当事者の居場所づくり」の割合が 70.0%と最も高く、次いで「当事者・家族の相談先」の割合が 60.0%、「相談窓口・家族会等の情報提供」の割合が 50.0%となっています。

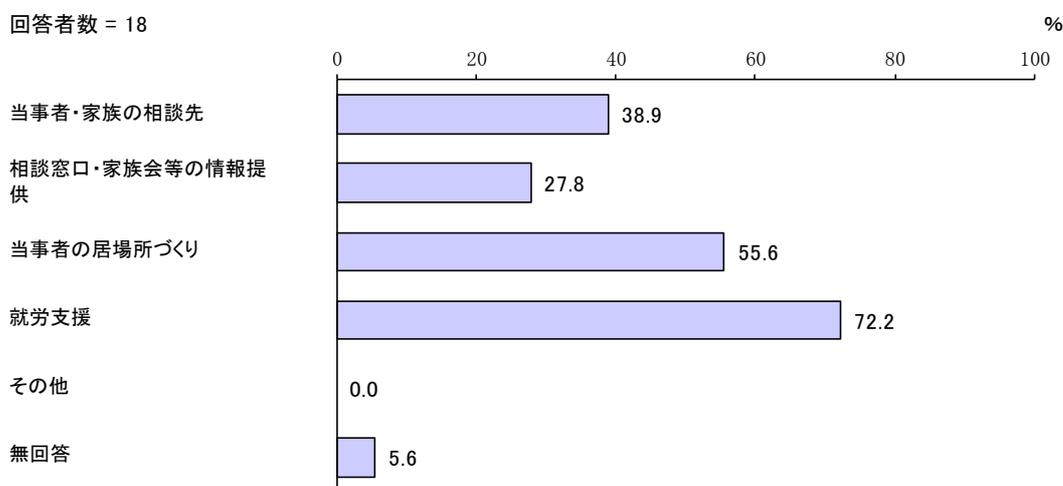


主なその他意見

- ・ 家庭教師の派遣補助
- ・ 引きこもりになった際の早期対応 など

②20 歳以上 40 歳未満

「就労支援」の割合が 72.2%と最も高く、次いで「当事者の居場所づくり」の割合が 55.6%、「当事者・家族の相談先」の割合が 38.9%となっています。

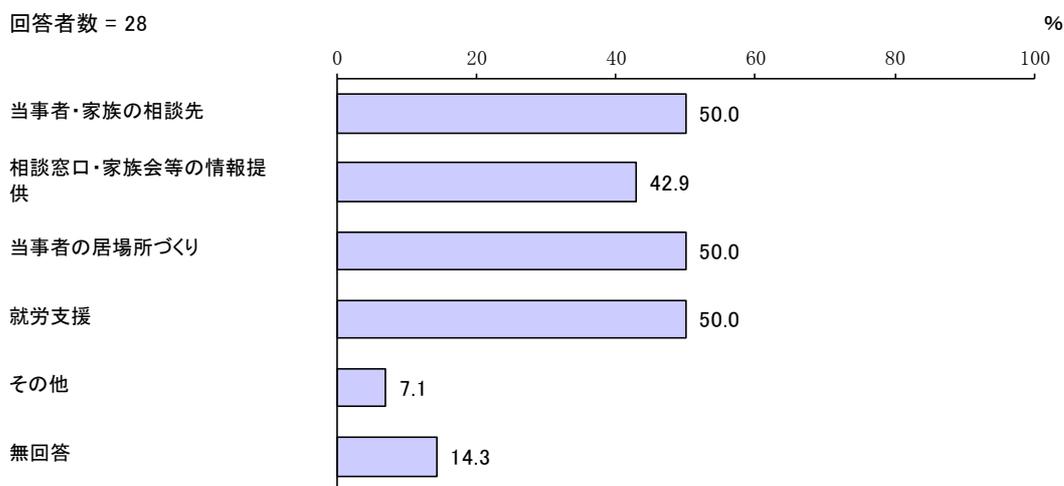


主なその他意見

記述はありませんでした。

③40歳以上 60歳未満

「当事者・家族の相談先」、「当事者の居場所づくり」、「就労支援」の割合が50.0%と最も高くなっています。

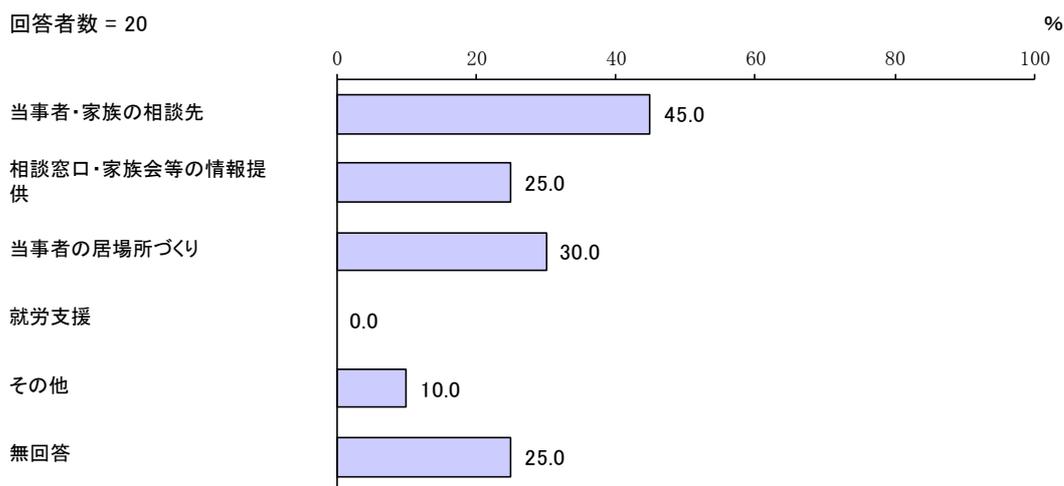


主なその他意見

- ・ 子供が未婚なので40代の出会いの場作りをしてほしい
- ・ もう20年以上家にいてあきらめている、なるようにしかない など

④60歳以上

「当事者・家族の相談先」の割合が45.0%と最も高く、次いで「当事者の居場所づくり」の割合が30.0%、「相談窓口・家族会等の情報提供」の割合が25.0%となっています。



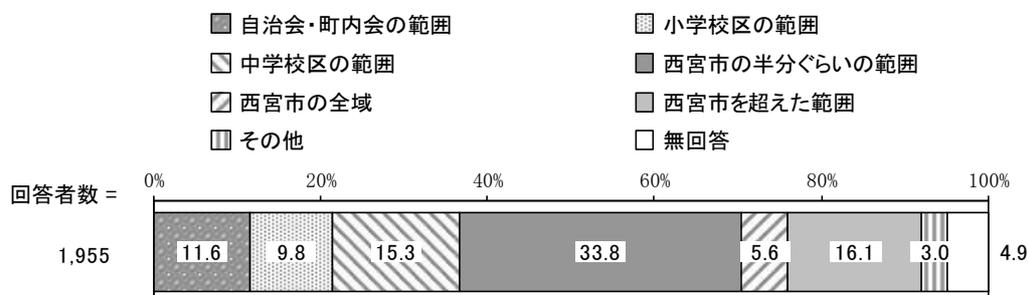
その他意見

- ・ 本人がカウンセリングなどをうける場

(3) 地域との関わり合いについて

問 11 通勤や通学は除いて、あなたが日常の買い物、活動などで行動する範囲は、次のどれに近いですか。(〇は1つだけ)

「西宮市の半分ぐらいの範囲」の割合が33.8%と最も高く、次いで「西宮市を超えた範囲」の割合が16.1%、「中学校区の範囲」の割合が15.3%となっています。

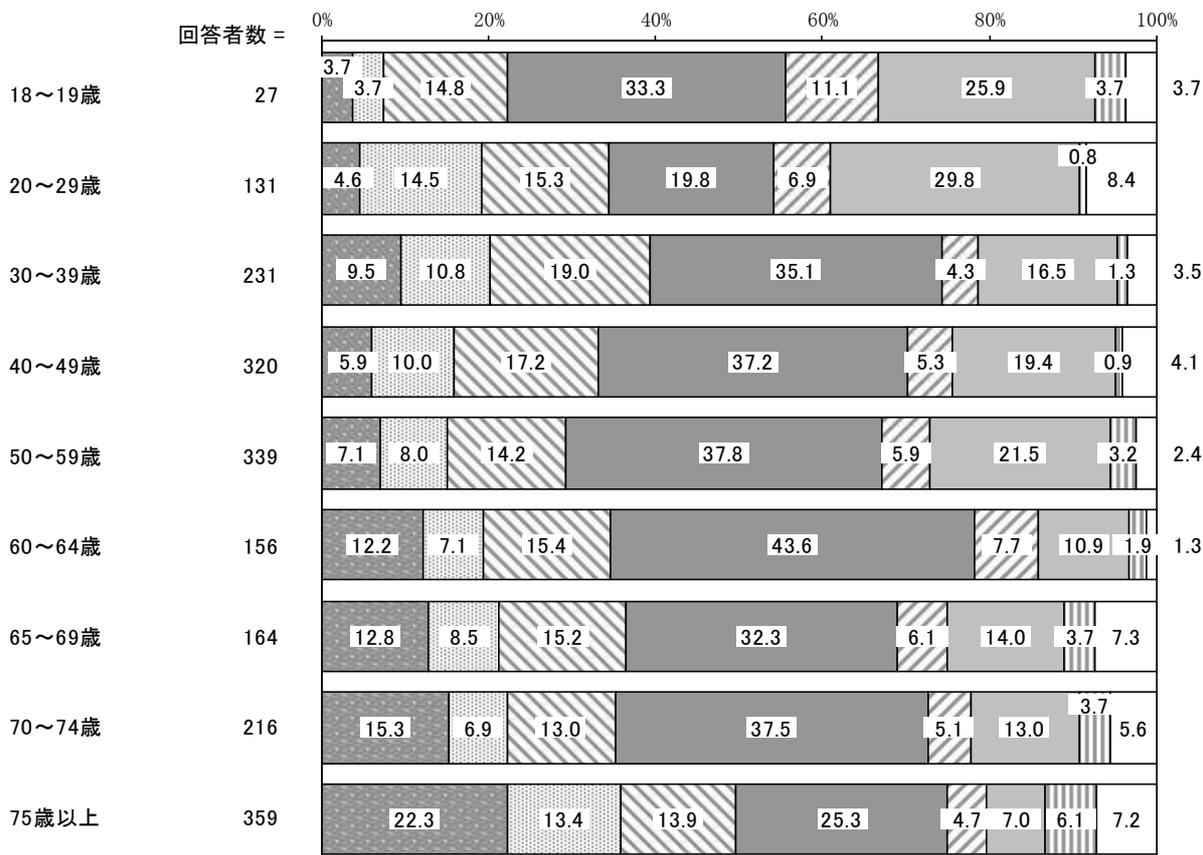


主なその他意見

- ・ 西宮北口駅の周辺
- ・ 西宮、神戸、宝塚
- ・ 徒歩圏内 など

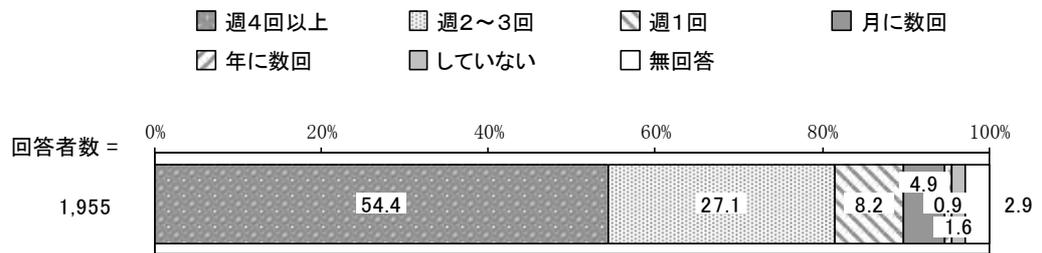
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「自治会・町内会の範囲」の割合が高くなる傾向がみられます。一方、年齢が低くなるほど「西宮市を超えた範囲」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、20～29歳で「小学校区の範囲」の割合が、60～64歳で「西宮市の半分ぐらいの範囲」の割合が高くなっています。



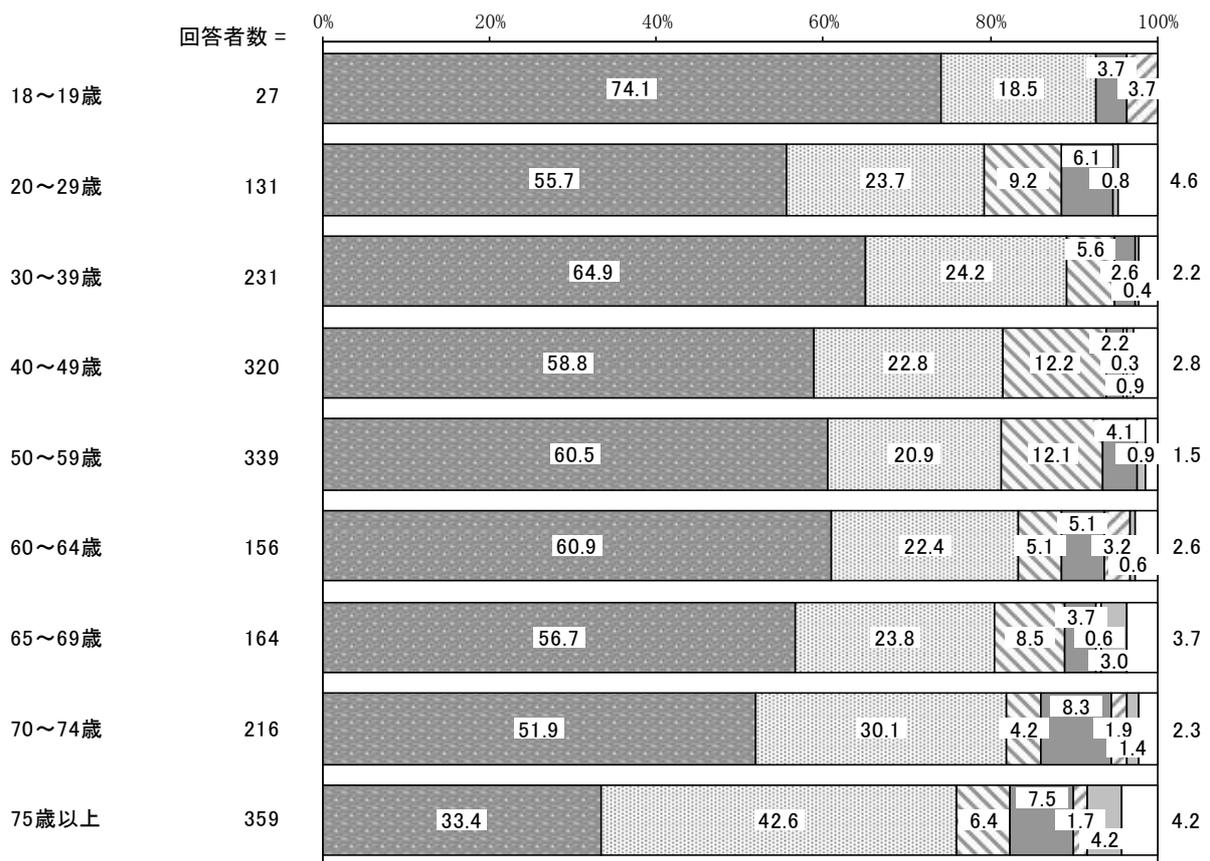
問 12 あなたが外出する頻度はどのくらいですか。(〇は1つだけ)

「週4回以上」の割合が54.4%と最も高く、次いで「週2～3回」の割合が27.1%となっています。



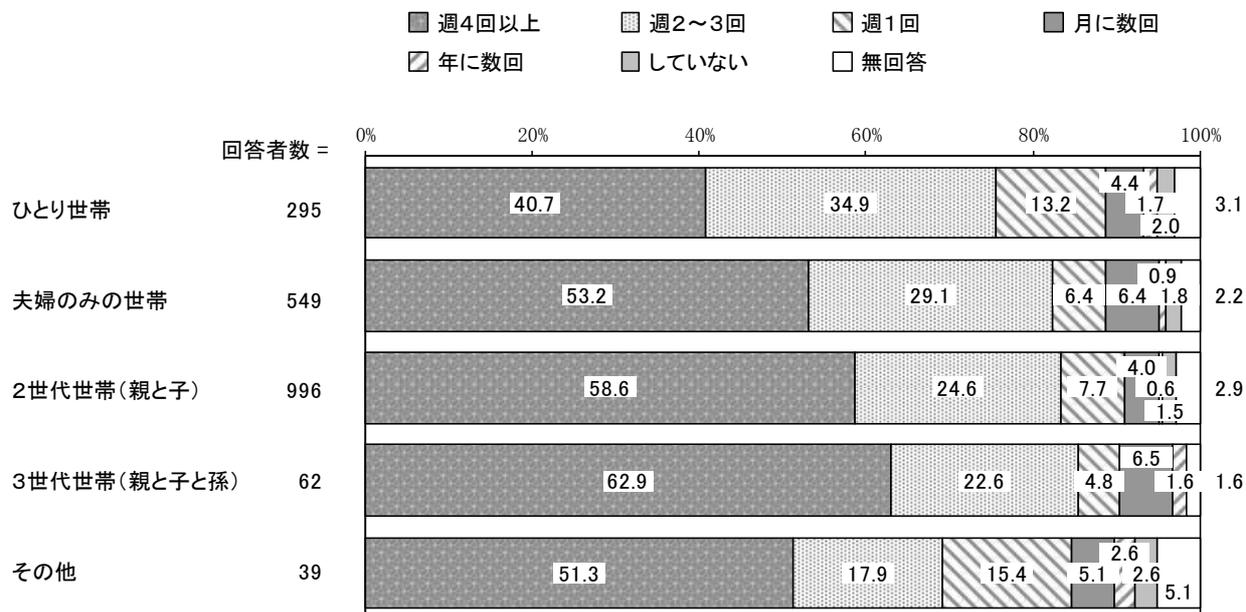
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるほど「週4回以上」の割合が高くなる傾向がみられます。一方、年齢が高くなるにつれて「週2～3回」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、40～49歳、50～59歳で「週1回」の割合が高くなっています。



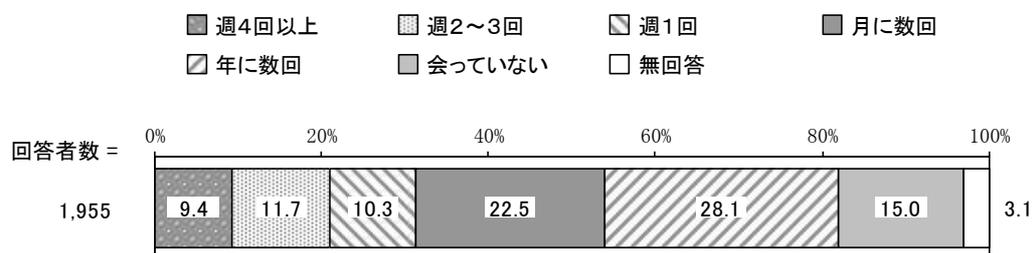
【世帯構成別】

世帯構成別で見ると、世代数が増えるほど「週4回以上」の割合が高くなる傾向がみられます。一方、世代数が少なくなるにつれて「週2～3回」の割合が高くなる傾向がみられます。



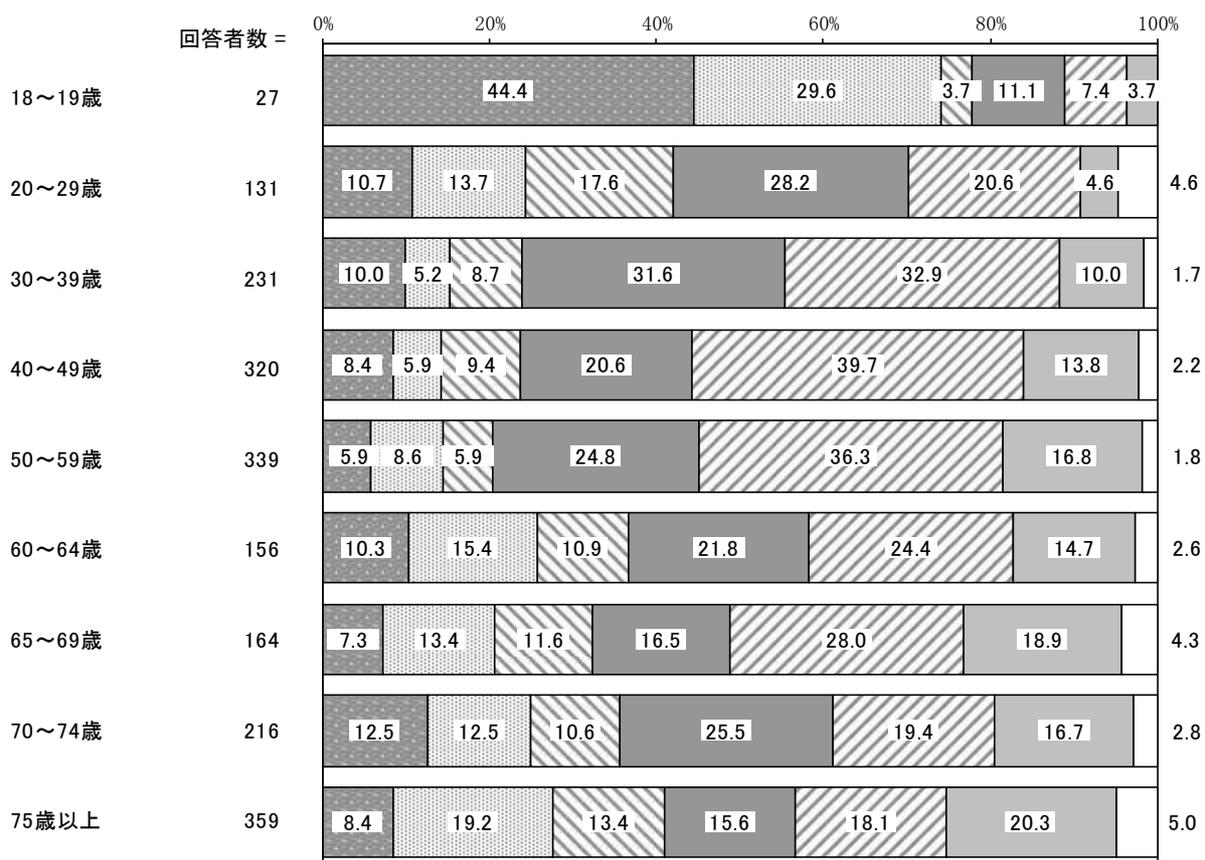
問 13 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(〇は1つだけ)

「年に数回」の割合が28.1%と最も高く、次いで「月に数回」の割合が22.5%、「会っていない」の割合が15.0%となっています。



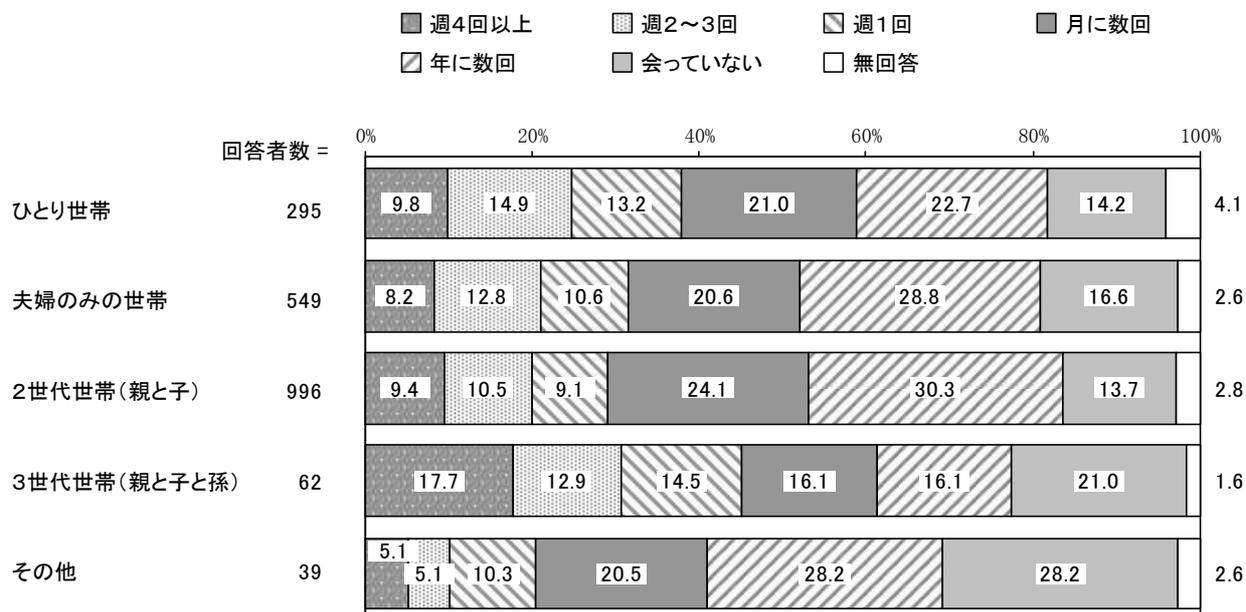
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18~19歳で「週4回以上」「週2~3回」の割合が高くなっています。また、他に比べ、20~29歳で「週1回」の割合が、30~39歳で「月に数回」の割合が、40~49歳で「年に数回」の割合が、75歳以上で「会っていない」の割合が高くなっています。



【世帯構成別】

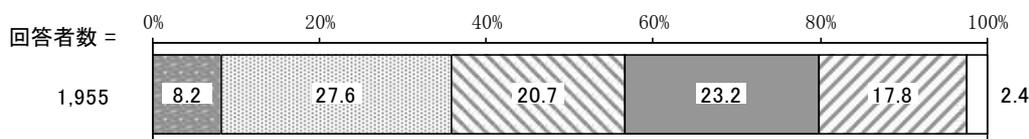
世帯構成別で見ると、他に比べ、3世代世帯（親と子と孫）で「週4回以上」「会っていない」の割合が高くなっています。また、他に比べ、2世代世帯（親と子）で「月に数回」「年に数回」の割合が高くなっています。



**問 14 隣近所（歩いて行ける程度の範囲）にどの程度のおつきあいの人がいますか。
（○は1つだけ）**

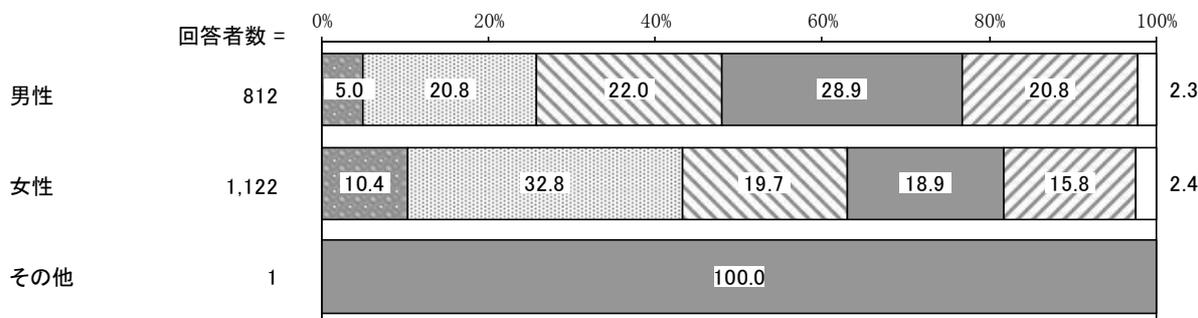
「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる」の割合が 27.6%と最も高く、次いで「世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいらる」の割合が 23.2%、「助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいらる」の割合が 20.7%となっています。

- 何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいる
- ▨ なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる
- ▧ 助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいらる
- 世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいらる
- ▨ ほとんど近所つきあいはない
- 無回答



【性別】

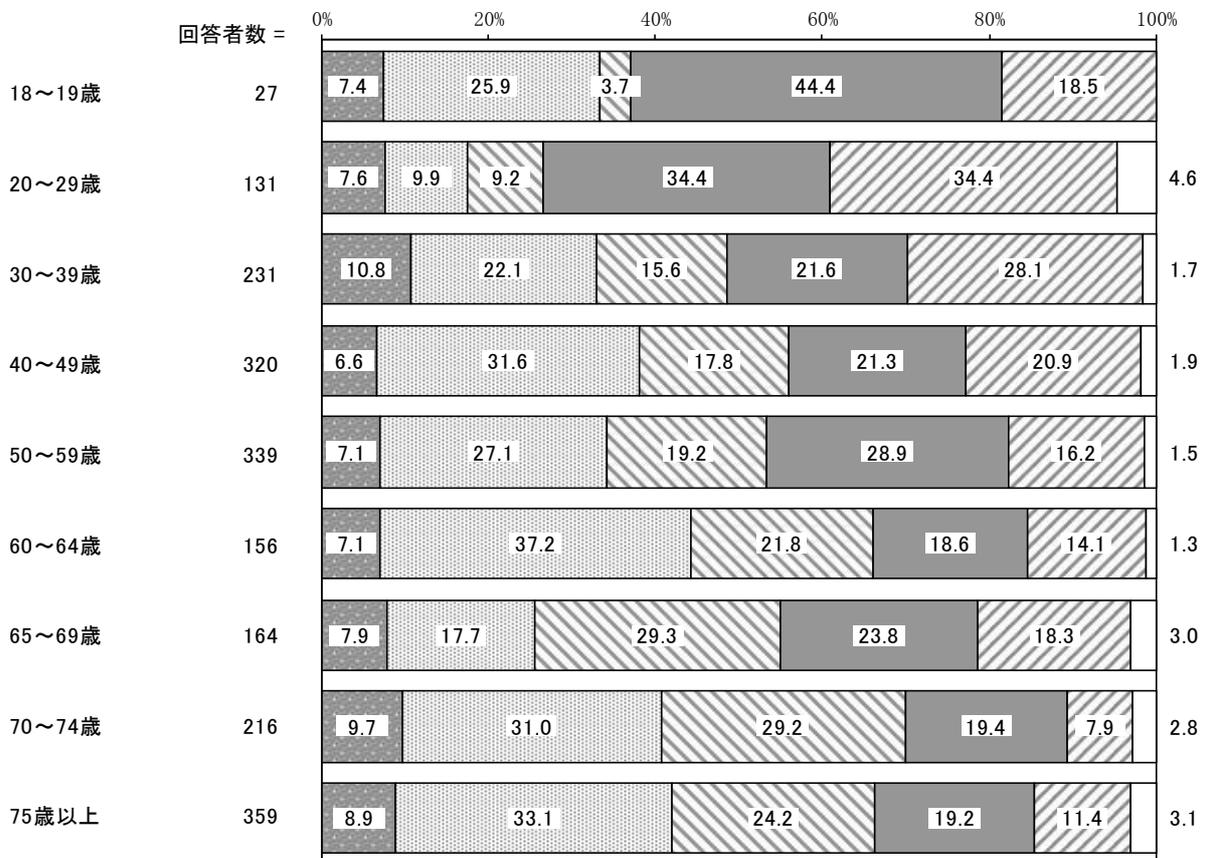
性別でみると、男性に比べ、女性で「何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいる」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいらる」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60～64歳で「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる」の割合が高くなっています。また、他に比べ、65～69歳、70～74歳で「助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいる」の割合が高くなっています。また、年齢が低くなるほど、「世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいる」「ほとんど近所づきあいはない」の割合が高くなる傾向がみられます。

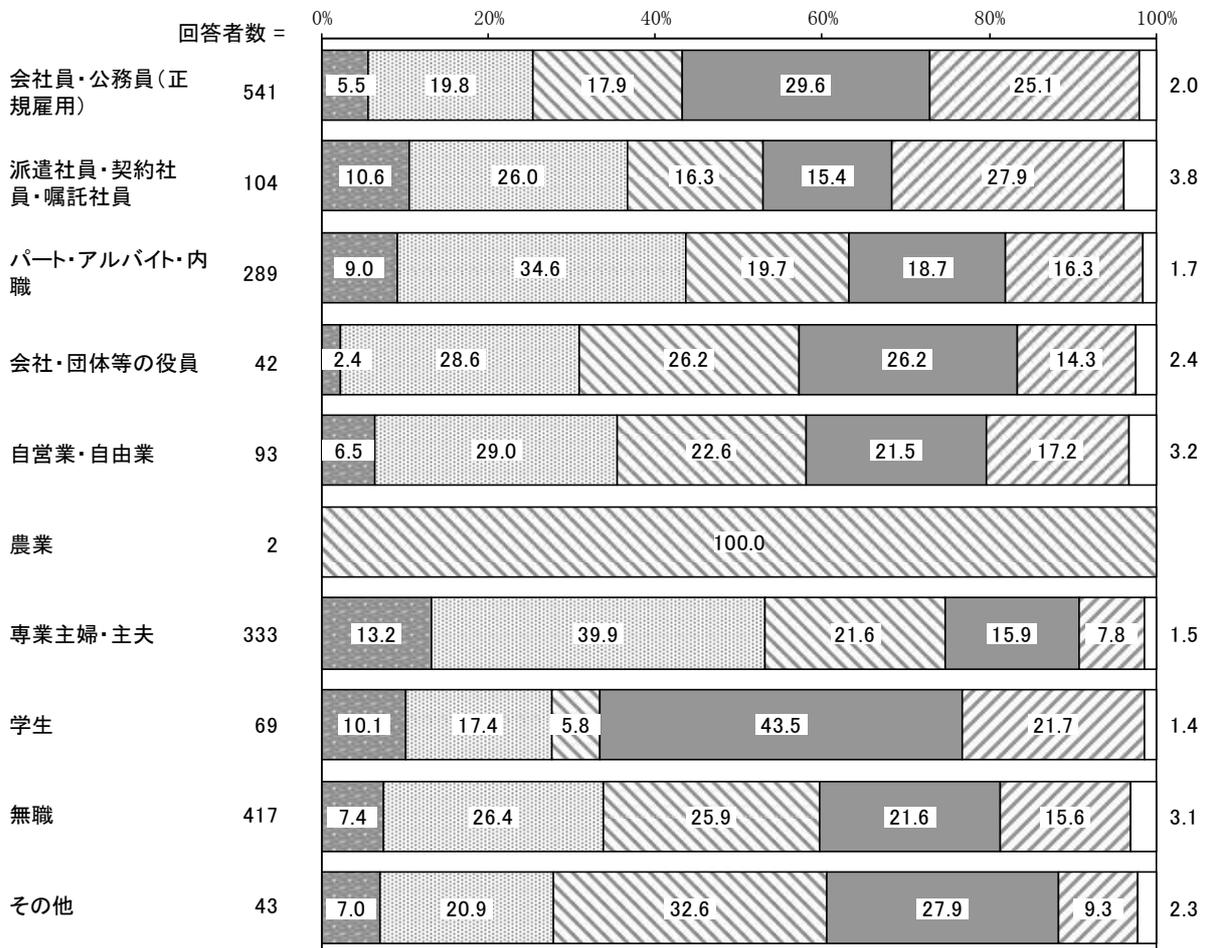
- 何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいる
- ▨ なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる
- ▩ 助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいる
- 世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいる
- ▨ ほとんど近所づきあいはない
- 無回答



【職業別】

職業別でみると、他に比べ、専業主婦・主夫で「何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がある」「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がある」の割合が高くなっています。また、他に比べ、会社・団体等の役員で「助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいる」の割合が、学生で「世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいる」の割合が、派遣社員・契約社員・嘱託社員で「ほとんど近所づきあいはない」の割合が高くなっています。

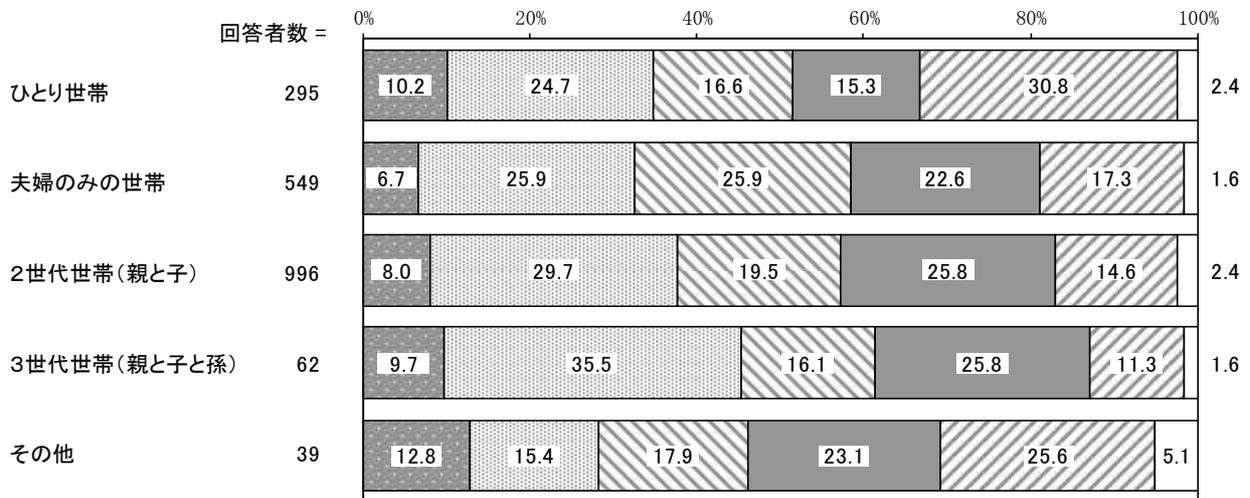
- 何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がある
- ▨ なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がある
- ▧ 助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいる
- 世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいる
- ▨ ほとんど近所づきあいはない
- 無回答



【世帯構成別】

世帯構成別でみると、他に比べ、3世代世帯（親と子と孫）で「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がある」「世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はある」の割合が高くなっています。また、他に比べ、夫婦のみの世帯で「助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はある」の割合が、2世代世帯（親と子）で「世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はある」の割合が、ひとり世帯で「ほとんど近所づきあいはない」の割合が高くなっています。

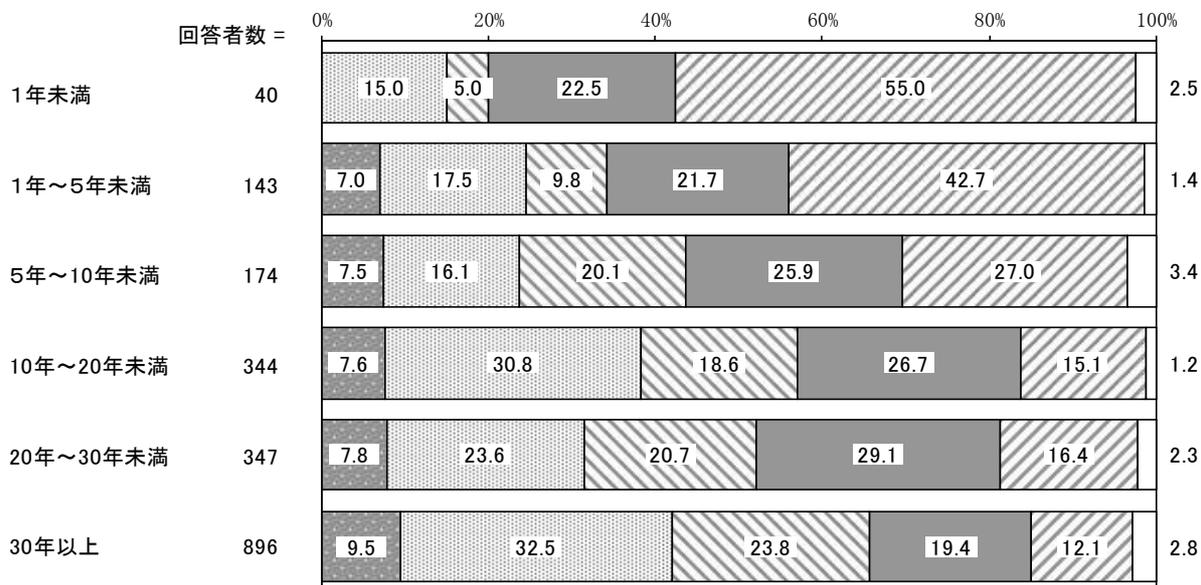
- 何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がある
- ▨ なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がある
- ▧ 助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はある
- 世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はある
- ▨ ほとんど近所づきあいはない
- 無回答



【居住年数別】

居住年数別でみると、居住年数が長くなるにつれて「なんでも相談し助け合える人まではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる」「助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいる」の割合が高くなる傾向がみられます。一方、居住年数が短くなるほど「ほとんど近所づきあいはない」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、20年～30年未満で「世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいる」の割合が高くなっています。

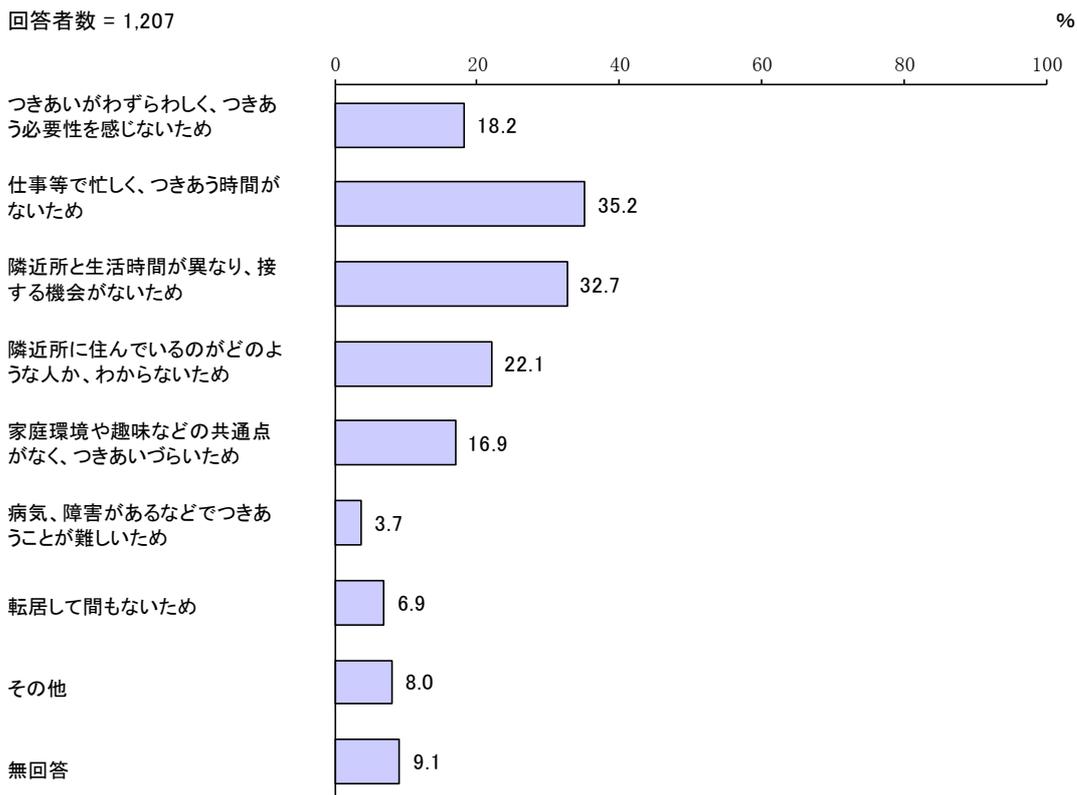
- 何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいる
- ▨ なんでも相談し助け合える人まではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる
- ▧ 助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいる
- 世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいる
- ▨ ほとんど近所づきあいはない
- 無回答



問 14 で「3. 助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいる」「4. 世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいる」「5. ほとんど近所づきあいはない」のいずれかにお答えの方に伺います

問 14-1 近所づきあいがあまりないのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

「仕事等で忙しく、つきあう時間がないため」の割合が 35.2%と最も高く、次いで「隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため」の割合が 32.7%、「隣近所に住んでいるのがどのような人か、わからないため」の割合が 22.1%となっています。



主なその他意見

- ・ きっかけがないため
- ・ コロナのため
- ・ 施設にいるため
- ・ 同年代がいないから
- ・ 配偶者が付き合いをしてくれているから など

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、65～69歳で「つきあいがわずらわしく、つきあう必要性を感じないため」「家庭環境や趣味などの共通点がなく、つきあいつらいため」の割合が高くなっています。また、他に比べ、40～49歳、50～59歳で「仕事等で忙しく、つきあう時間がないため」の割合が、18～19歳で「隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため」の割合が、30～39歳で「隣近所に住んでいるのがどのような人か、わからないため」「転居して間もないため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	つきあいがわずらわしく、つきあう必要性を感じないため	つきあいがわずらわしく、つきあう時間がないため	仕事等で忙しく、つきあう時間がないため	隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため	隣近所に住んでいるのがどのような人か、わからないため	家庭環境や趣味などの共通点がなく、つきあいつらいため	病気、障害があるなどでつきあうことが難しいため	転居して間もないため	その他	無回答
18～19歳	18	5.6	11.1	44.4	5.6	11.1	5.6	11.1	11.1	16.7	
20～29歳	102	17.6	33.3	33.3	26.5	12.7	2.0	13.7	4.9	11.8	
30～39歳	151	15.9	49.7	31.8	34.4	10.6	2.0	17.2	8.6	8.6	
40～49歳	192	20.8	54.2	34.9	22.9	21.4	2.1	3.1	6.3	4.7	
50～59歳	218	15.1	54.1	35.8	20.6	16.1	2.3	6.4	4.6	6.0	
60～64歳	85	12.9	43.5	37.6	20.0	12.9	4.7	3.5	5.9	8.2	
65～69歳	117	26.5	23.9	30.8	23.9	23.9	—	3.4	6.8	12.0	
70～74歳	122	24.6	13.1	27.9	22.1	17.2	4.1	1.6	10.7	13.1	
75歳以上	197	15.7	4.1	28.4	12.7	18.3	10.7	5.6	14.7	11.7	

【職業別】

職業別でみると、他に比べ、専業主婦・主夫で「つきあいがわずらわしく、つきあう必要性を感じないため」「家庭環境や趣味などの共通点がなく、つきあいつらいため」の割合が高くなっています。また、他に比べ、会社員・公務員（正規雇用）で「仕事等で忙しく、つきあう時間がないため」の割合が、パート・アルバイト・内職で「隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため」「転居して間もないため」の割合が、派遣社員・契約社員・嘱託社員で「隣近所に住んでいるのがどのような人か、わからないため」の割合が、無職で「病気、障害があるなどでつきあうことが難しいため」の割合が高くなっています。

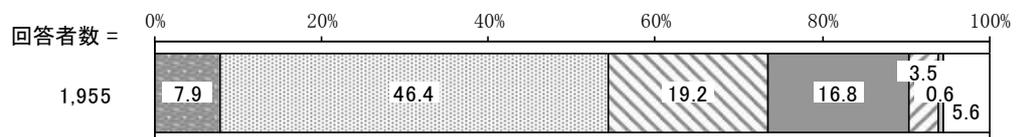
単位：%

区分	有効回答数（件）	つきあいがわずらわしく、つきあう必要性を感じないため	仕事等で忙しく、つきあう時間がないため	隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため	隣近所に住んでいるのがどのような人か、わからないため	家庭環境や趣味などの共通点がなく、つきあいつらいため	病気、障害があるなどでつきあうことが難しいため	転居して間もないため	その他	無回答
会社員・公務員（正規雇用）	393	18.3	62.6	33.8	26.2	13.5	0.3	9.4	4.8	7.4
派遣社員・契約社員・嘱託社員	62	17.7	50.0	30.6	27.4	21.0	—	9.7	6.5	12.9
パート・アルバイト・内職	158	19.0	41.8	35.4	25.9	22.8	0.6	10.1	8.9	4.4
会社・団体等の役員	28	—	60.7	28.6	7.1	10.7	—	3.6	—	10.7
自営業・自由業	57	14.0	40.4	31.6	14.0	14.0	—	3.5	8.8	8.8
農業	2	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—
専業主婦・主夫	151	23.2	6.6	37.7	18.5	23.2	4.6	5.3	10.6	11.9
学生	49	14.3	16.3	34.7	14.3	4.1	—	2.0	10.2	16.3
無職	263	20.9	2.7	27.8	21.3	18.3	11.4	4.6	10.6	10.3
その他	30	3.3	36.7	33.3	6.7	16.7	16.7	—	13.3	6.7

問 15 あなたにとって、隣近所の人との理想の付き合い方はどれですか。(○は1つだけ)

「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える関係」の割合が46.4%と最も高く、次いで「立ち入った助け合いや相談事はしないが、世間話をする関係」の割合が19.2%、「世間話などはしないが、挨拶をする程度の関係」の割合が16.8%となっています。

- 何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える関係
- ▨ なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える関係
- ▩ 立ち入った助け合いや相談事はしないが、世間話をする関係
- 世間話などはしないが、挨拶をする程度の関係
- ▨ 交流は特に必要ない
- その他
- 無回答



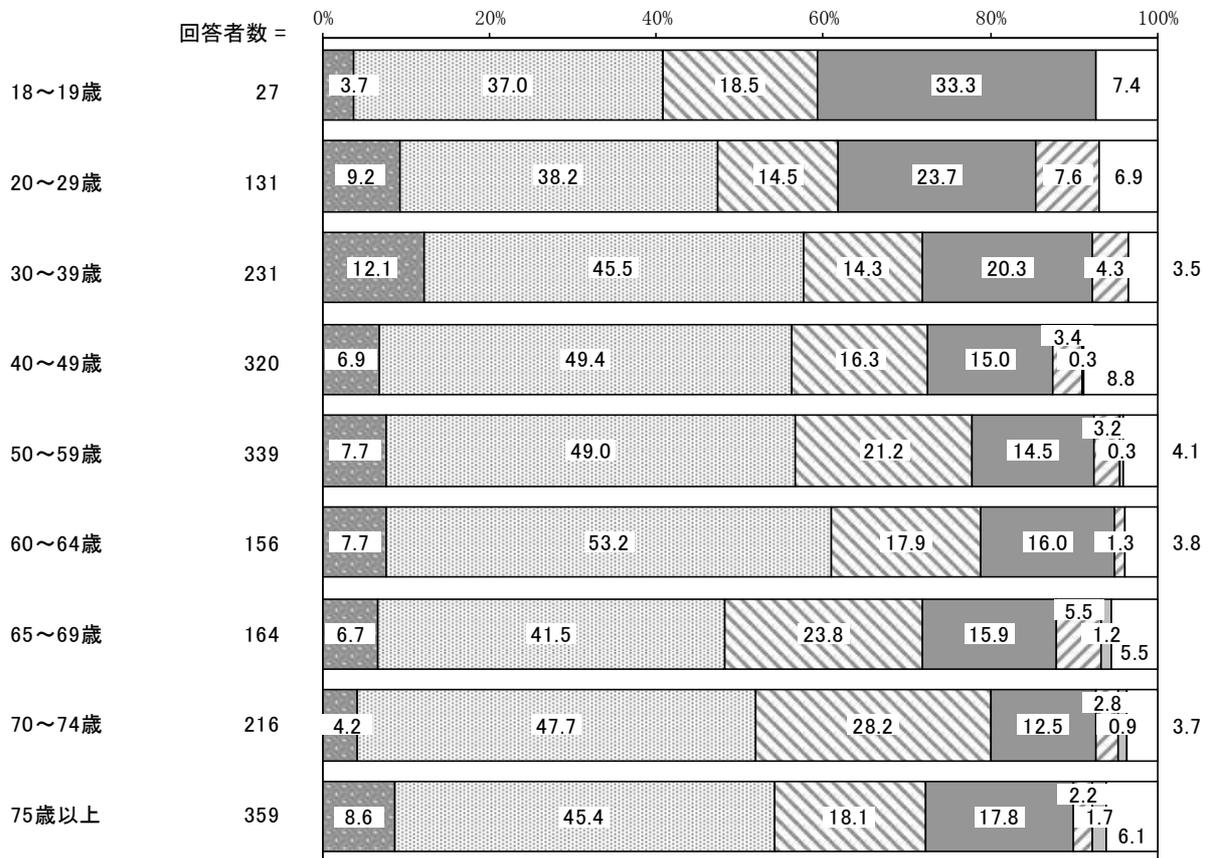
主なその他意見

- ・ (1・2・3) まんべんなく
- ・ 困った時はそっと手助けする方が多いので私もそうありたい など

【年齢別】

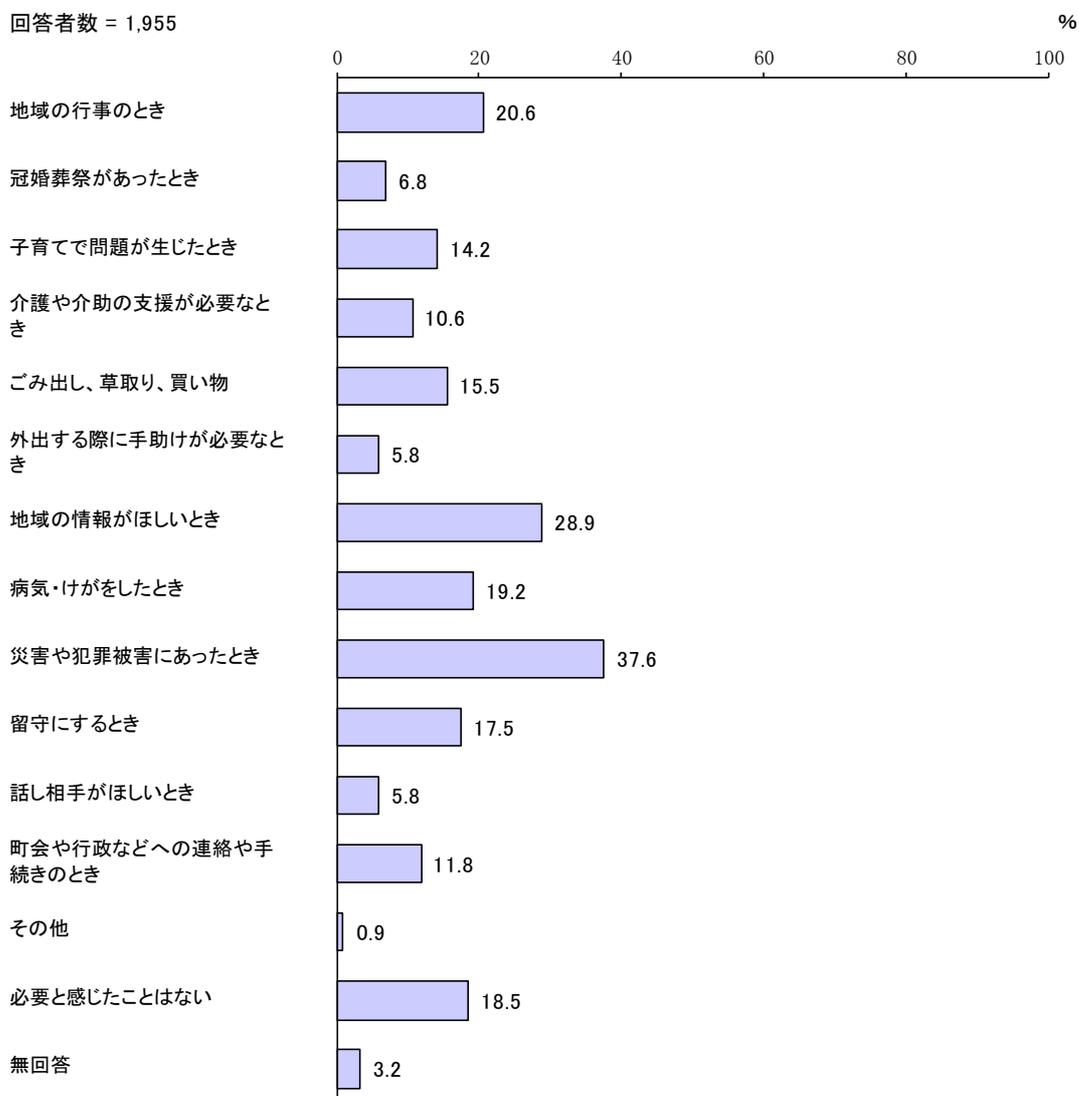
年齢別でみると、他に比べ、30～39歳で「何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える関係」の割合が高くなっています。また、他に比べ、60～64歳で「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える関係」の割合が、70～74歳で「立ち入った助け合いや相談事はしないが、世間話をする関係」の割合が高くなっています。また、年齢が低くなるほど「世間話などはしないが、挨拶をする程度関係」の割合が高くなる傾向がみられます。

- 何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える関係
- なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える関係
- 立ち入った助け合いや相談事はしないが、世間話をする関係
- 世間話などはしないが、挨拶をする程度関係
- 交流は特に必要ない
- その他
- 無回答



問 16 これまでに、どのようなときに、隣近所に助け合える人がいればよかったですか。あるいは、どのようなときに隣近所の助けが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「災害や犯罪被害にあったとき」の割合が 37.6%と最も高く、次いで「地域の情報がほしいとき」の割合が 28.9%、「地域の行事のとき」の割合が 20.6%となっています。



主なその他意見

- ・ 警報で急に学校が休みになったとき
- ・ 医療の情報・評判がほしいとき
- ・ 自治会での活動
- ・ 家屋の修理が必要とき など

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70～74歳で「地域の行事のとき」「冠婚葬祭があったとき」「留守にするとき」「町会や行政などへの連絡や手続きのとき」の割合が高くなっています。また、他に比べ、30～39歳で「子育てで問題が生じたとき」の割合が、60～64歳で「介護や介助の支援が必要なとき」「外出する際に手助けが必要なとき」「地域の情報がほしいとき」「災害や犯罪被害にあったとき」の割合が、75歳以上で「ごみ出し、草取り、買い物」「病気・けがをしたとき」の割合が、65～69歳で「留守にするとき」の割合が、20～29歳で「必要と感じたことはない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	地域の行事のとき	冠婚葬祭があったとき	子育てで問題が生じたとき	介護や介助の支援が必要なとき	ごみ出し、草取り、買い物	外出する際に手助けが必要なとき	地域の情報がほしいとき
18～19歳	27	14.8	—	—	—	3.7	—	33.3
20～29歳	131	19.8	2.3	9.2	1.5	12.2	3.1	20.6
30～39歳	231	20.8	1.7	31.6	3.9	10.0	6.5	31.6
40～49歳	320	21.9	4.7	30.9	8.8	10.6	5.6	33.4
50～59歳	339	20.9	5.6	17.1	10.9	18.0	6.8	30.4
60～64歳	156	16.7	5.8	12.2	17.3	15.4	10.3	39.7
65～69歳	164	15.2	7.9	3.0	9.8	17.7	4.3	27.4
70～74歳	216	25.0	12.5	3.7	12.0	14.8	5.1	28.7
75歳以上	359	21.7	11.4	0.8	17.5	22.8	5.0	20.9

区分	病気・けがをしたとき	災害や犯罪被害にあったとき	留守にするとき	話し相手がほしいとき	町会や行政などへの連絡や手続きのとき	その他	必要と感じたことはない	無回答
18～19歳	18.5	29.6	7.4	—	—	—	29.6	7.4
20～29歳	9.9	35.9	11.5	5.3	6.1	—	35.1	0.8
30～39歳	16.0	37.2	10.0	8.7	8.2	0.9	21.6	0.9
40～49歳	20.9	40.9	17.5	6.9	9.1	0.9	15.9	0.6
50～59歳	20.1	41.3	18.6	6.2	10.6	1.5	17.7	1.5
60～64歳	18.6	46.2	17.3	5.1	16.0	—	14.7	1.9
65～69歳	19.5	32.3	22.0	4.3	14.0	0.6	22.6	3.0
70～74歳	17.6	38.4	22.7	4.2	17.1	0.5	14.4	5.6
75歳以上	23.7	31.8	19.8	5.3	14.8	1.7	14.2	7.8

【世帯構成別】

世帯構成別でみると、他に比べ、3世代世帯（親と子と孫）で「地域の行事のとき」「ごみ出し、草取り、買い物」「地域の情報がほしいとき」「町会や行政などへの連絡や手続きのとき」の割合が高くなっています。また、他に比べ、2世代世帯（親と子）で「子育てで問題が生じたとき」の割合が、ひとり世帯で「留守にするとき」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	地域の行事のとき	冠婚葬祭があつたとき	子育てで問題が生じたとき	介護や介助の支援が必要なとき	ごみ出し、草取り、買い物	外出する際に手助けが必要なとき	地域の情報がほしいとき
ひとり世帯	295	13.6	8.1	2.4	12.5	12.5	6.1	23.1
夫婦のみの世帯	549	18.9	8.4	6.2	12.0	17.1	4.7	25.3
2世代世帯(親と子)	996	23.2	5.4	22.4	9.3	14.9	6.1	32.5
3世代世帯(親と子と孫)	62	35.5	6.5	21.0	8.1	27.4	6.5	37.1
その他	39	15.4	7.7	—	17.9	15.4	10.3	20.5

区分	病気・けがをしたとき	災害や犯罪被害にあつたとき	留守にするとき	話し相手がほしいとき	町会や行政などへの連絡や手続きのとき	その他	必要と感じたことはない	無回答
ひとり世帯	26.8	33.2	20.7	6.8	8.5	0.3	18.3	6.1
夫婦のみの世帯	17.1	37.9	19.1	4.4	12.9	1.1	20.2	3.3
2世代世帯(親と子)	18.9	39.4	16.3	6.6	11.5	0.7	17.3	2.0
3世代世帯(親と子と孫)	14.5	33.9	14.5	4.8	19.4	—	16.1	1.6
その他	10.3	33.3	15.4	—	15.4	10.3	28.2	2.6

【居住地域別】

居住地域別でみると、他に比べ、東山台地区で「地域の行事のとき」「話し相手がほしいとき」の割合が、名塩地区で「冠婚葬祭があったとき」の割合が、甲陽園地区で「子育てで問題が生じたとき」の割合が、鳴尾西地区、小松地区で「介護や介助の支援が必要なとき」の割合が、大社地区で「ごみ出し、草取り、買い物」の割合が、西宮浜地区、山口地区で「外出する際に手助けが必要なとき」「病気・けがをしたとき」の割合が、用海地区で「地域の情報がほしいとき」の割合が、段上西地区で「災害や犯罪被害にあったとき」の割合が、北六甲台地区で「留守にするとき」の割合が、生瀬地区で「町会や行政などへの連絡や手続きのとき」の割合が、平木地区で「必要と感じたことはない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	地域の行事のとき	冠婚葬祭があったとき	子育てで問題が生じたとき	介護や介助の支援が必要なとき	ごみ出し、草取り、買い物	外出する際に手助けが必要なとき	地域の情報がほしいとき	病気・けがをしたとき	災害や犯罪被害にあったとき	留守にするとき	話し相手がほしいとき	町会や行政などへの連絡や手続きのとき	その他	必要と感じたことはない	無回答
浜脇地区	68	14.7	5.9	5.9	10.3	16.2	10.3	30.9	17.6	32.4	10.3	2.9	11.8	—	25.0	4.4
香櫨園地区	58	17.2	1.7	12.1	5.2	19.0	3.4	24.1	13.8	37.9	10.3	5.2	8.6	—	20.7	1.7
安井地区	49	24.5	2.0	14.3	10.2	8.2	2.0	24.5	30.6	38.8	12.2	12.2	12.2	2.0	22.4	6.1
用海地区	46	23.9	6.5	21.7	13.0	17.4	6.5	50.0	30.4	32.6	21.7	8.7	10.9	—	13.0	2.2
西宮浜地区	27	11.1	14.8	14.8	7.4	11.1	14.8	37.0	33.3	25.9	11.1	11.1	14.8	7.4	14.8	—
今津地区	62	22.6	14.5	9.7	9.7	11.3	4.8	21.0	29.0	29.0	16.1	6.5	12.9	—	25.8	1.6
春風地区	59	18.6	8.5	8.5	10.2	16.9	6.8	20.3	18.6	39.0	22.0	1.7	10.2	—	16.9	1.7
津門地区	55	21.8	7.3	9.1	12.7	20.0	3.6	27.3	9.1	36.4	20.0	3.6	16.4	—	23.6	—
芦原地区	23	13.0	—	17.4	4.3	4.3	—	34.8	26.1	34.8	30.4	17.4	8.7	—	8.7	4.3
広田地区	69	14.5	7.2	13.0	11.6	8.7	7.2	24.6	21.7	34.8	11.6	5.8	10.1	—	18.8	1.4
平木地区	29	20.7	—	20.7	10.3	13.8	—	31.0	20.7	41.4	10.3	6.9	10.3	3.4	27.6	3.4
大社地区	73	17.8	8.2	13.7	8.2	26.0	4.1	30.1	11.0	41.1	17.8	5.5	13.7	1.4	19.2	2.7
神原地区	30	13.3	6.7	10.0	6.7	6.7	6.7	23.3	10.0	40.0	20.0	10.0	3.3	3.3	20.0	3.3
甲陽園地区	67	32.8	7.5	23.9	9.0	20.9	4.5	38.8	20.9	40.3	29.9	1.5	19.4	—	10.4	1.5
夙川地区	72	15.3	4.2	19.4	9.7	18.1	5.6	25.0	22.2	47.2	15.3	5.6	13.9	—	19.4	5.6
北夙川・苦楽園地区	66	21.2	7.6	19.7	13.6	15.2	4.5	30.3	18.2	34.8	21.2	7.6	9.1	1.5	15.2	7.6
鳴尾西地区	33	18.2	6.1	9.1	18.2	15.2	9.1	30.3	12.1	30.3	12.1	3.0	9.1	—	24.2	3.0
鳴尾北地区	88	25.0	4.5	14.8	8.0	19.3	3.4	28.4	18.2	42.0	19.3	3.4	15.9	—	14.8	2.3

単位：％

区分	有効回答数(件)	地域の行事のとき	冠婚葬祭があったとき	子育てで問題が生じたとき	介護や介助の支援が必要なとき	ごみ出し、草取り、買い物	外出する際に手助けが必要なとき	地域の情報がほしいとき	病気・けがをしたとき	災害や犯罪被害にあったとき	留守にするとき	話し相手がほしいとき	町会や行政などへの連絡や手続きのとき	その他	必要と感じたことはない	無回答
小松地区	50	16.0	4.0	12.0	18.0	16.0	—	20.0	14.0	32.0	16.0	—	12.0	—	22.0	6.0
鳴尾東地区	42	33.3	9.5	16.7	9.5	21.4	9.5	28.6	16.7	23.8	14.3	7.1	7.1	2.4	21.4	—
高須地区	74	18.9	4.1	14.9	9.5	5.4	9.5	32.4	23.0	40.5	13.5	8.1	8.1	—	24.3	6.8
甲子園浜地区	41	14.6	9.8	9.8	14.6	7.3	7.3	26.8	14.6	36.6	19.5	4.9	14.6	—	17.1	7.3
南甲子園地区	61	16.4	8.2	18.0	14.8	21.3	6.6	29.5	19.7	37.7	16.4	9.8	9.8	—	11.5	3.3
上甲子園地区	59	15.3	3.4	13.6	11.9	20.3	10.2	22.0	13.6	35.6	15.3	3.4	6.8	1.7	25.4	3.4
瓦木地区	99	17.2	3.0	14.1	14.1	9.1	7.1	24.2	24.2	35.4	19.2	3.0	7.1	—	22.2	4.0
高木地区	75	21.3	9.3	21.3	8.0	13.3	4.0	34.7	22.7	38.7	13.3	5.3	5.3	1.3	16.0	1.3
甲東地区	68	19.1	4.4	14.7	11.8	20.6	5.9	32.4	14.7	45.6	19.1	10.3	17.6	1.5	23.5	—
段上地区	42	33.3	7.1	19.0	9.5	19.0	2.4	40.5	16.7	40.5	19.0	4.8	19.0	2.4	19.0	2.4
段上西地区	49	16.3	8.2	16.3	10.2	16.3	4.1	32.7	20.4	65.3	20.4	8.2	6.1	2.0	4.1	—
樋ノ口地区	41	22.0	7.3	7.3	9.8	19.5	9.8	24.4	14.6	43.9	22.0	4.9	7.3	—	17.1	7.3
上ヶ原地区	79	16.5	5.1	11.4	10.1	13.9	5.1	25.3	16.5	41.8	13.9	2.5	16.5	5.1	15.2	3.8
生瀬地区	40	32.5	10.0	2.5	7.5	22.5	7.5	37.5	15.0	45.0	15.0	5.0	20.0	—	22.5	2.5
名塩地区	41	29.3	17.1	12.2	4.9	17.1	2.4	34.1	9.8	24.4	24.4	2.4	14.6	—	22.0	2.4
東山台地区	29	34.5	6.9	20.7	17.2	13.8	10.3	34.5	31.0	34.5	24.1	20.7	17.2	—	6.9	3.4
山口地区	21	28.6	14.3	9.5	9.5	14.3	14.3	19.0	33.3	38.1	23.8	—	9.5	—	9.5	4.8
北六甲台地区	21	33.3	14.3	9.5	9.5	14.3	—	28.6	14.3	23.8	42.9	4.8	19.0	—	9.5	—

【近所の方とのおつきあいの程度別】

近所の方とのおつきあいの程度別でみると、他に比べ、なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいるで「地域の行事のとき」「介護や介助の支援が必要なとき」「ごみ出し、草取り、買い物」「地域の情報がほしいとき」「災害や犯罪被害にあったとき」「留守にするとき」「町会や行政などへの連絡や手続きのとき」の割合が、何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいるで「冠婚葬祭があったとき」「介護や介助の支援が必要なとき」「病気・けがをしたとき」「話し相手がほしいとき」「町会や行政などへの連絡や手続きのとき」の割合が、助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいらるで「町会や行政などへの連絡や手続きのとき」の割合が、ほとんど近所づきあいはないで「必要と感じたことはない」の割合が高くなっています。

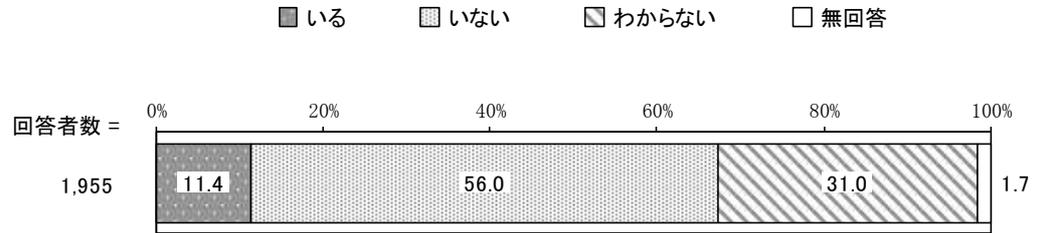
単位：%

区分	有効回答数(件)	地域の行事のとき	冠婚葬祭があったとき	子育てで問題が生じたとき	介護や介助の支援が必要なとき	ごみ出し、草取り、買い物	外出する際に手助けが必要なとき	地域の情報がほしいとき
何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいる	161	29.2	11.2	21.7	14.9	14.9	9.9	31.1
なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる	540	30.6	10.6	23.0	14.8	21.7	8.5	38.5
助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいらる	405	22.2	7.2	12.1	10.4	16.5	4.4	29.1
世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいらる	454	15.9	4.6	10.1	8.4	12.6	3.3	27.5
ほとんど近所づきあいはない	348	6.9	1.4	5.2	5.5	7.2	4.0	14.1

区分	病気・けがをしたとき	災害や犯罪被害にあったとき	留守にするとき	話し相手がほしいとき	町会や行政などへの連絡や手続きのとき	その他	必要と感じたことはない	無回答
何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいる	35.4	43.5	21.7	12.4	15.5	0.6	5.6	6.2
なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる	26.5	45.6	25.4	9.8	15.4	0.4	5.4	2.2
助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいらる	15.6	36.8	16.8	4.9	15.8	0.7	16.3	2.5
世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいらる	13.9	33.5	15.4	2.0	9.5	1.5	24.9	3.1
ほとんど近所づきあいはない	11.2	29.9	6.6	2.6	2.6	1.1	38.8	3.2

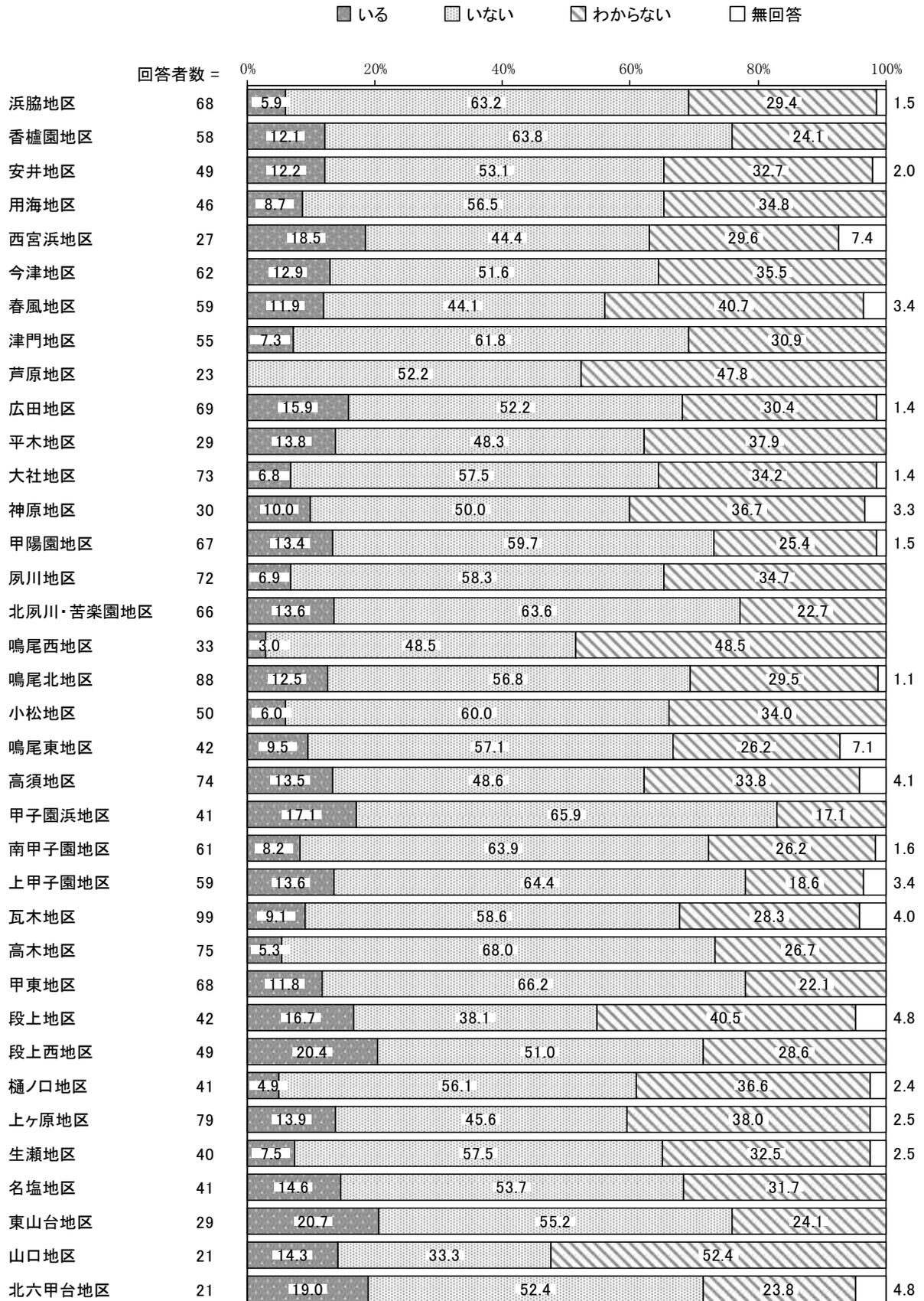
問 17 あなたの隣近所には、「ちょっと心配だな…」と気にかかる人はいますか。(○は1つだけ)

「いない」の割合が56.0%と最も高く、次いで「わからない」の割合が31.0%、「いる」の割合が11.4%となっています。



【居住地域別】

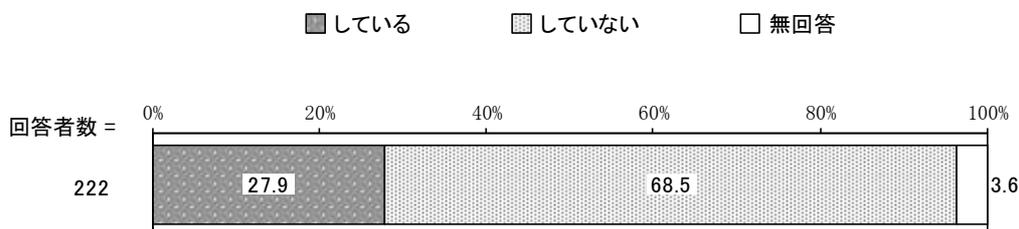
居住地域別でみると、他に比べ、段上西地区、東山台地区で「いる」の割合が、高木地区で「いない」の割合が、山口地区で「わからない」の割合が高くなっています。



問 17 で「1. いる」とお答えの方に伺います

問 17-1 あなたは、気にかかる人に手助けをしていますか。(○は1つだけ)

「している」の割合が 27.9%、「していない」の割合が 68.5%となっています。



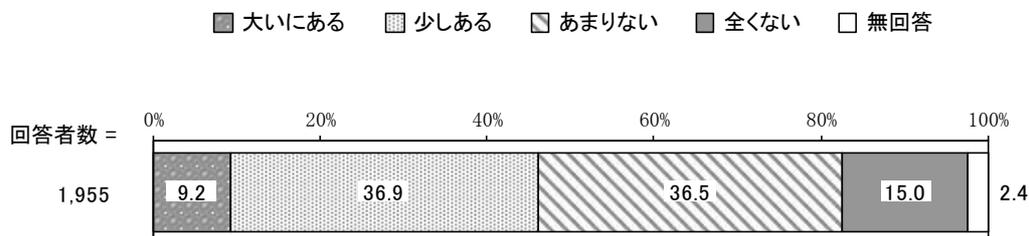
問 17-2 気にかかる人はどのような方ですか。可能な範囲でご記入ください。(自由記述)

主な意見

- ・ 一人暮らしの高齢者
- ・ 認知症のある人
- ・ 独居の方
- ・ ひきこもりの人
- ・ 高齢のご夫婦のみで生活されている方
- ・ 障害のある方
- ・ 小さな子供がいる家庭 など

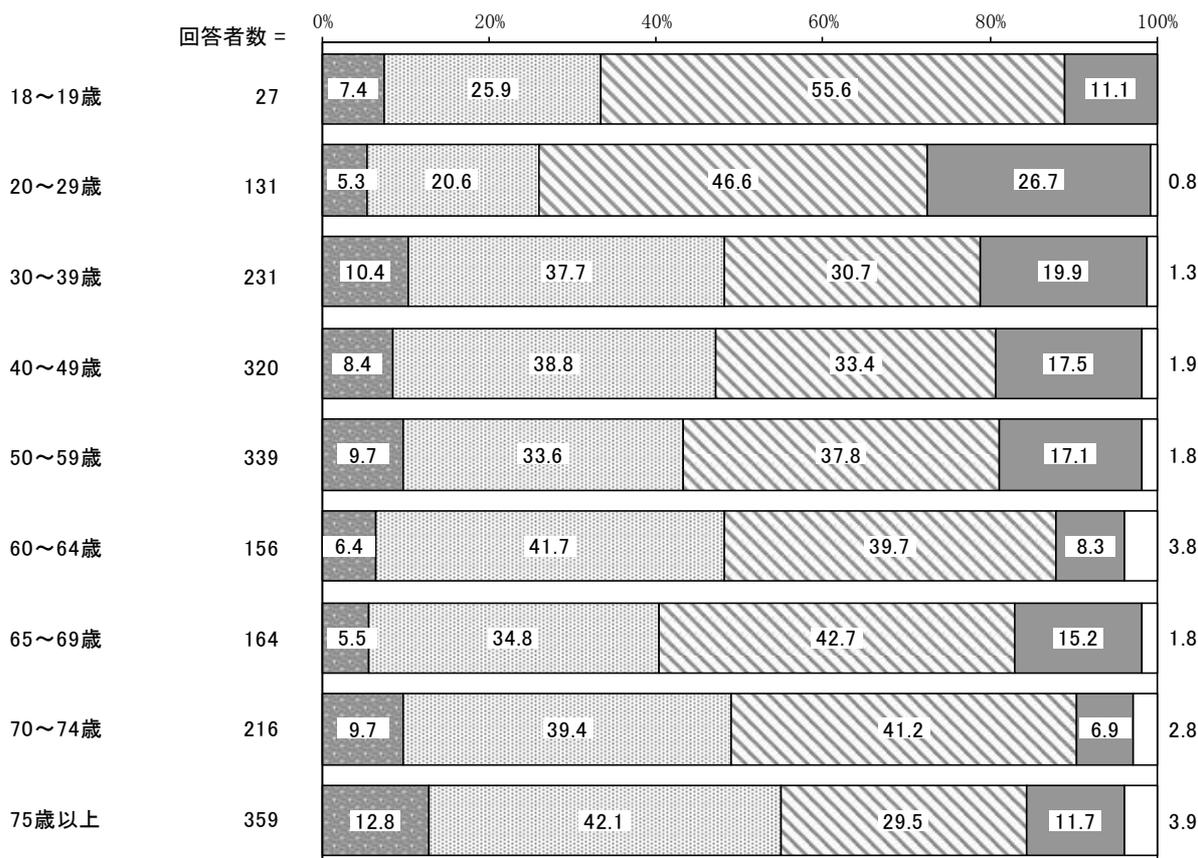
問 18 あなたは、現在生活している中で、地域の人との関わりにより支えられていると感じることがありますか。(○は1つだけ)

「大いにある」と「少しある」を合わせた“ある”の割合が46.1%、「あまりない」と「全くない」を合わせた“ない”の割合が51.5%となっています。



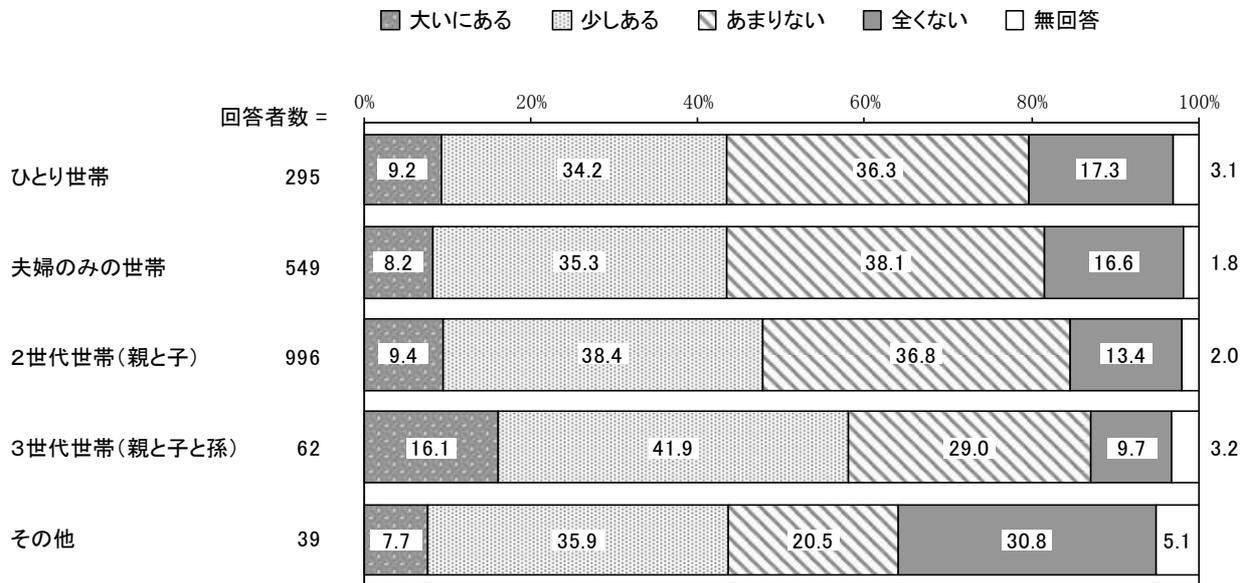
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、75歳以上で「大いにある」と「少しある」を合わせた“ある”の割合が高くなっています。また、他に比べ、18～19歳、20～29歳で「あまりない」と「全くない」を合わせた“ない”の割合が高くなっています。



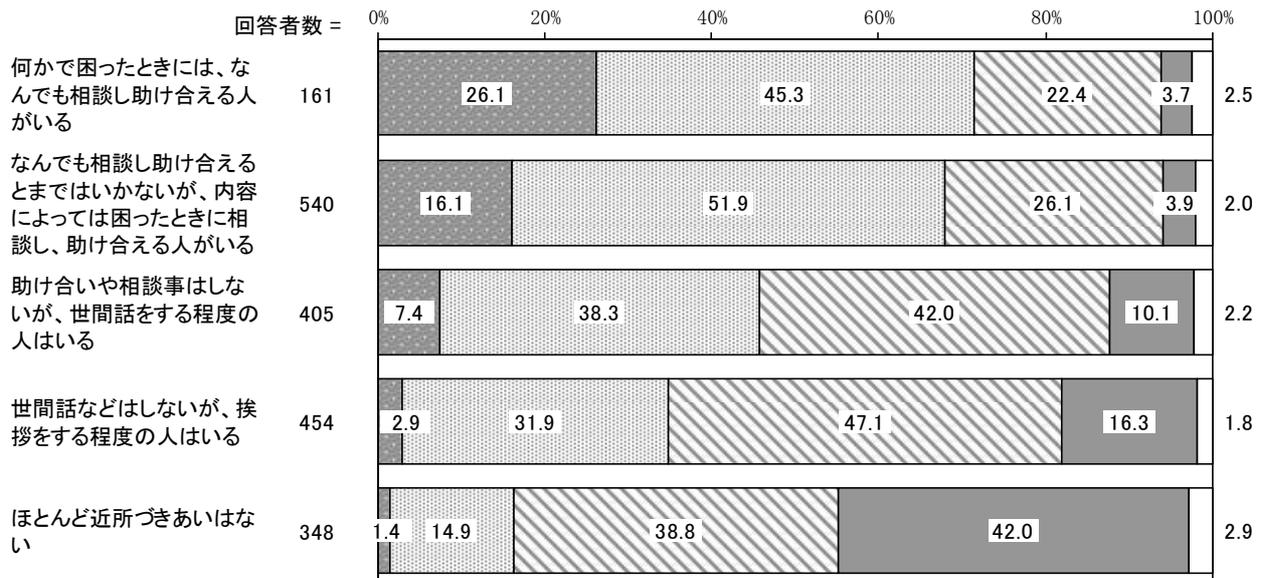
【世帯構成別】

世帯構成別でみると、他に比べ、3世代世帯（親と子と孫）で「大いにある」と「少しある」を合わせた“ある”の割合が高くなっています。また、他に比べ、ひとり世帯、夫婦のみの世帯で「あまりない」と「全くない」を合わせた“ない”の割合が高くなっています。



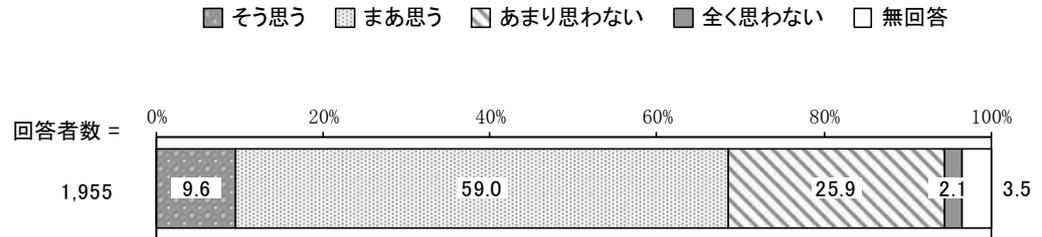
【近所の方とのおつきあいの程度別】

近所の方とのおつきあいの程度別でみると、おつきあいの程度が高くなるほど「大いにある」と「少しある」を合わせた“ある”の割合が高くなる傾向がみられます。一方、おつきあいの程度が低くなるほど「あまりない」と「全くない」を合わせた“ない”の割合が高くなる傾向がみられます。



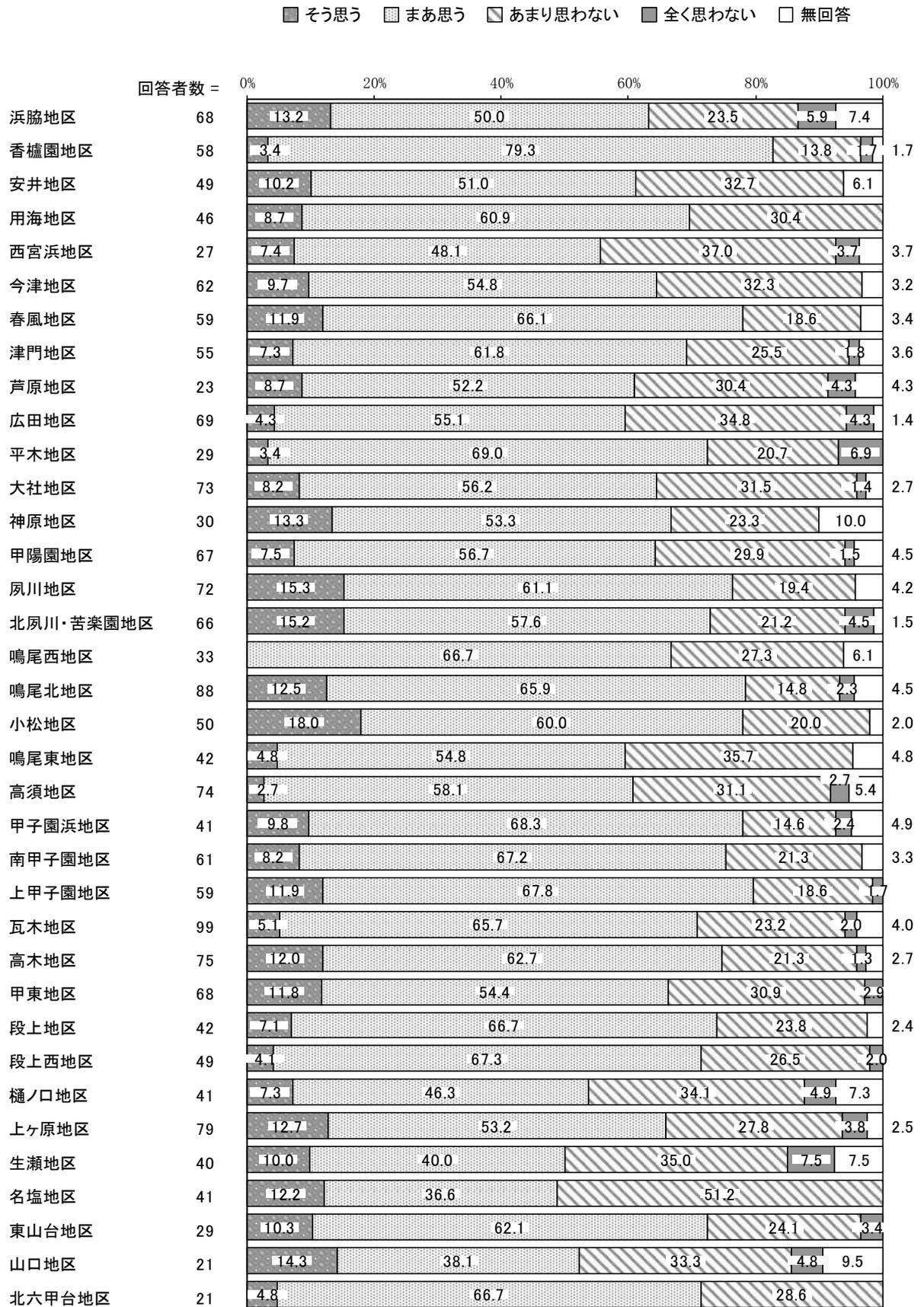
問 19 お住まいの地域は、支援が必要な方（障害のある方や高齢者、子育てをしている方）にとって、安心して生活できる環境だと思いますか。（○は1つだけ）

「そう思う」と「まあ思う」を合わせた“思う”の割合が 68.6%、「あまり思わない」と「全く思わない」を合わせた“思わない”の割合が 28.0%となっています。



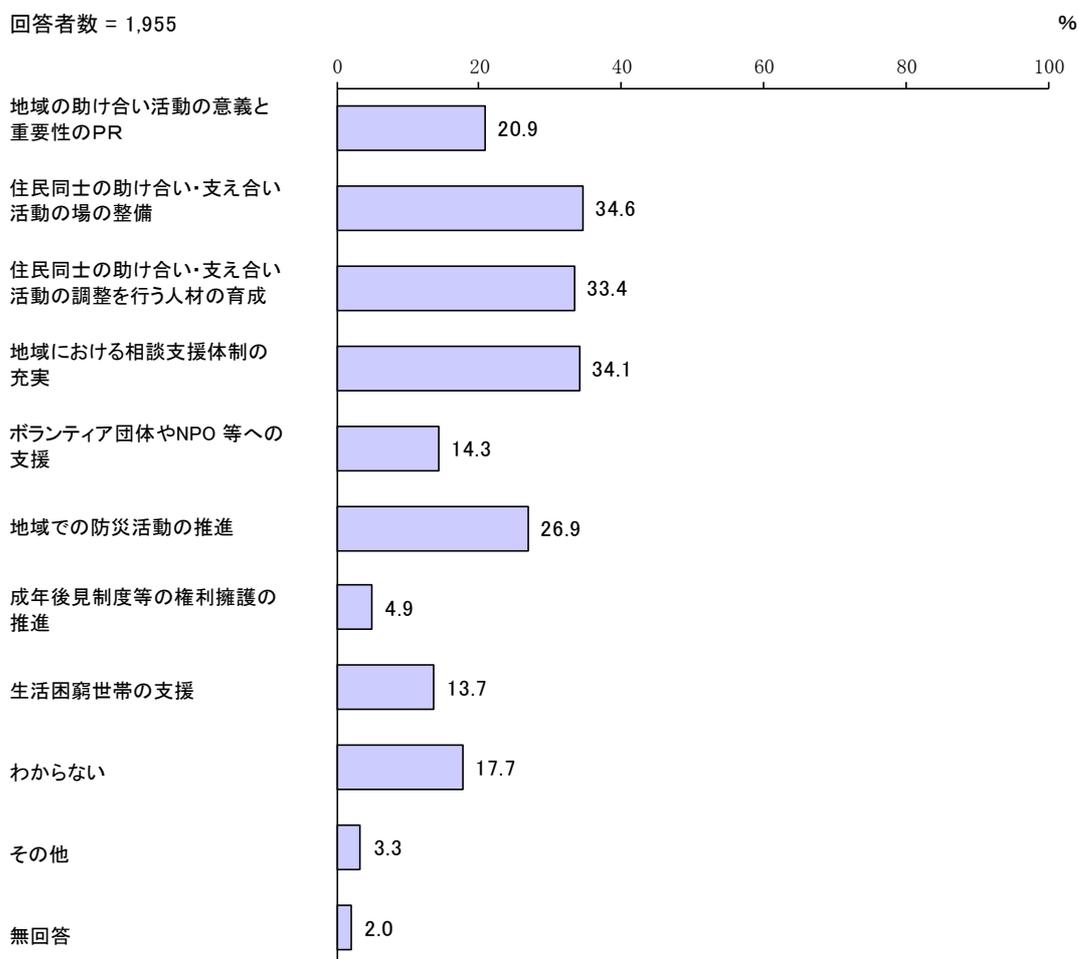
【居住地域別】

居住地域別でみると、他に比べ、小松地区で「そう思う」の割合が、香櫨園地区で「まあ思う」の割合が、名塩地区で「あまり思わない」の割合が高くなっています。



問 20 あなたは、身近な地域における住民同士の助け合い、支え合いを推進していくためには、どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「住民同士の助け合い・支え合い活動の場の整備」の割合が 34.6%と最も高く、次いで「地域における相談支援体制の充実」の割合が 34.1%、「住民同士の助け合い・支え合い活動の調整を行う人材の育成」の割合が 33.4%となっています。



主なその他意見

- ・ 一人住まいの人に対しての定期的な声かけ
- ・ 障害者への支援
- ・ 自治会活動
- ・ 行政の対応
- ・ 地域行事の開催 など

【近所の方とのおつきあいの程度別】

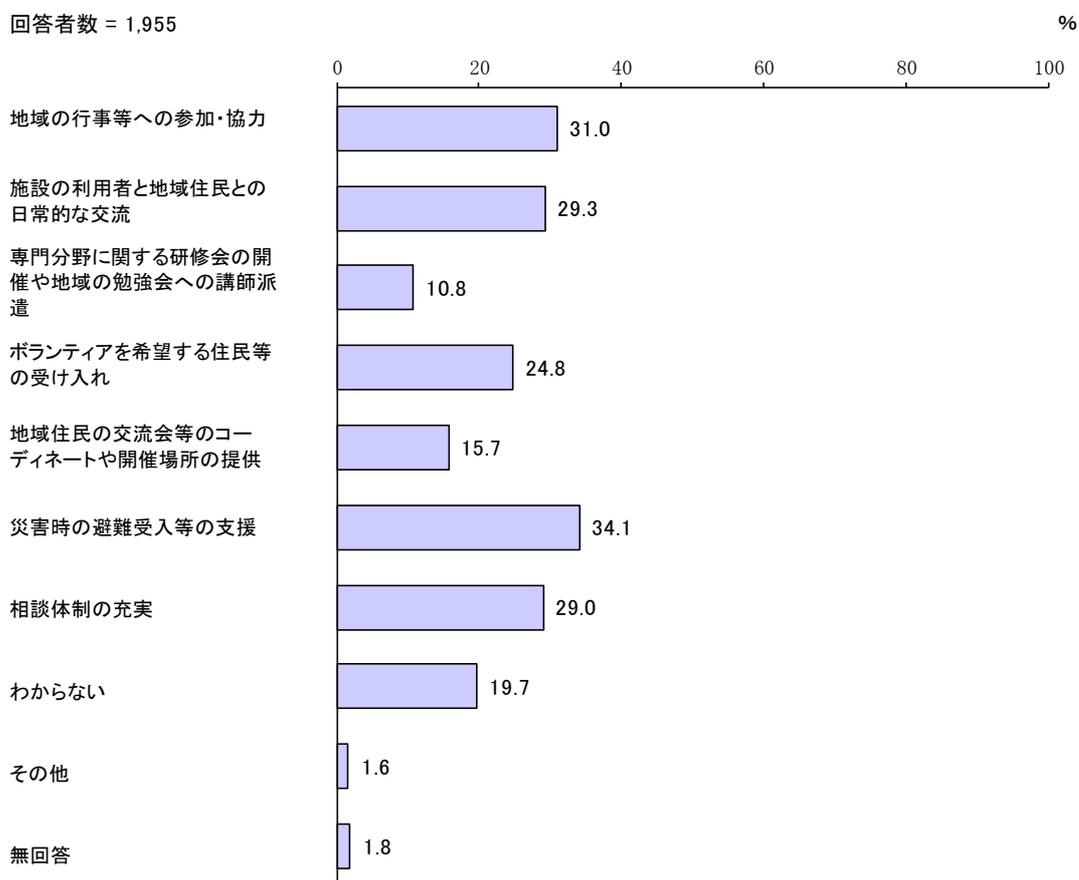
近所の方とのおつきあいの程度別でみると、他に比べ、何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいるで「地域の助け合い活動の意義と重要性のPR」の割合が、なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいるで「住民同士の助け合い・支え合い活動の場の整備」「住民同士の助け合い・支え合い活動の調整を行う人材の育成」「地域での防災活動の推進」の割合が、助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいらで「地域における相談支援体制の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	地域の助け合い活動の意義と重要性のPR	住民同士の助け合い・支え合い活動の場の整備	住民同士の助け合い・支え合い活動の調整を行う人材の育成	住民同士の助け合い・支え合い活動の調整を行う人材の育成	地域における相談支援体制の充実	ボランティア団体やNPO等への支援	地域での防災活動の推進	成年後見制度等の権利擁護の推進	生活困窮世帯の支援	わからない	その他	無回答
何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいる	161	28.6	35.4	31.7	29.2	12.4	29.2	5.6	13.7	16.8	1.9	3.7	
なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる	540	26.3	42.6	42.6	38.5	15.7	32.0	4.1	12.4	11.9	2.4	1.5	
助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいらる	405	23.2	33.8	36.0	39.3	12.3	24.0	4.7	15.1	14.6	3.5	2.7	
世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいらる	454	15.0	32.6	29.7	32.8	16.7	30.0	5.3	12.3	19.2	4.2	0.9	
ほとんど近所づきあいはない	348	14.9	25.9	22.4	25.9	12.6	18.4	5.2	14.9	29.0	4.0	1.7	

問 21 あなたは、地域にある社会福祉施設（老人福祉施設、保育所等）は地域とどのように関わってほしいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「災害時の避難受入等の支援」の割合が 34.1%と最も高く、次いで「地域の行事等への参加・協力」の割合が 31.0%、「施設の利用者と地域住民との日常的な交流」の割合が 29.3%となっています。



主なその他意見

- ・ 情報の発信
- ・ 若者と高齢者がふれ合えるような場、機会の増進
- ・ 施設の職員に負担を増大させてはいけない
- ・ 急に日常的な交流などはむずかしいだろうから、ちょっとしたキッカケ、「介助の仕方教室」「防災の時の避難の仕方」「人工呼吸のやり方」、小さなキッカケが興味の窓口につながればよいと思う
- ・ 一人住まいの人に対しての定期的な声かけ など

【居住地域別】

居住地域別でみると、他に比べ、平木地区で「地域の行事等への参加・協力」「地域住民の交流会等のコーディネーターや開催場所の提供」の割合が、西宮浜地区、東山台地区で「施設の利用者と地域住民との日常的な交流」の割合が、山口地区で「専門分野に関する研修会の開催や地域の勉強会への講師派遣」の割合が、段上西地区で「ボランティアを希望する住民等の受け入れ」「地域住民の交流会等のコーディネーターや開催場所の提供」の割合が、香櫨園地区、鳴尾北地区で「災害時の避難受入等の支援」の割合が、北六甲台地区で「相談体制の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	地域の行事等への参加・協力	施設の利用者と地域住民との日常的な交流	専門分野に関する研修会の開催や地域の勉強会への講師派遣	ボランティアを希望する住民等の受け入れ	地域住民の交流会等のコーディネーターや開催場所の提供	災害時の避難受入等の支援	相談体制の充実	わからない	その他	無回答
浜脇地区	68	29.4	26.5	16.2	29.4	13.2	38.2	22.1	20.6	1.5	7.4
香櫨園地区	58	29.3	31.0	10.3	24.1	13.8	44.8	25.9	8.6	3.4	—
安井地区	49	34.7	26.5	10.2	24.5	12.2	28.6	36.7	12.2	2.0	6.1
用海地区	46	41.3	45.7	13.0	26.1	19.6	30.4	30.4	23.9	—	—
西宮浜地区	27	22.2	51.9	3.7	29.6	7.4	33.3	33.3	22.2	—	—
今津地区	62	29.0	33.9	12.9	19.4	17.7	33.9	30.6	22.6	1.6	1.6
春風地区	59	32.2	28.8	1.7	13.6	13.6	28.8	33.9	23.7	1.7	1.7
津門地区	55	29.1	23.6	9.1	20.0	20.0	41.8	29.1	20.0	—	—
芦原地区	23	26.1	26.1	4.3	21.7	17.4	26.1	17.4	30.4	—	8.7
広田地区	69	27.5	20.3	7.2	20.3	13.0	27.5	27.5	24.6	1.4	2.9
平木地区	29	48.3	34.5	3.4	20.7	24.1	41.4	34.5	20.7	3.4	—
大社地区	73	28.8	30.1	12.3	23.3	16.4	37.0	27.4	24.7	—	—
神原地区	30	26.7	33.3	6.7	23.3	10.0	40.0	33.3	23.3	—	3.3
甲陽園地区	67	35.8	29.9	14.9	22.4	22.4	41.8	25.4	17.9	—	1.5
夙川地区	72	22.2	20.8	12.5	25.0	18.1	30.6	36.1	20.8	1.4	2.8
北夙川・苦楽園地区	66	27.3	34.8	12.1	22.7	18.2	40.9	25.8	15.2	1.5	1.5
鳴尾西地区	33	33.3	39.4	15.2	33.3	12.1	27.3	30.3	18.2	—	—
鳴尾北地区	88	31.8	27.3	19.3	35.2	20.5	44.3	30.7	17.0	—	3.4

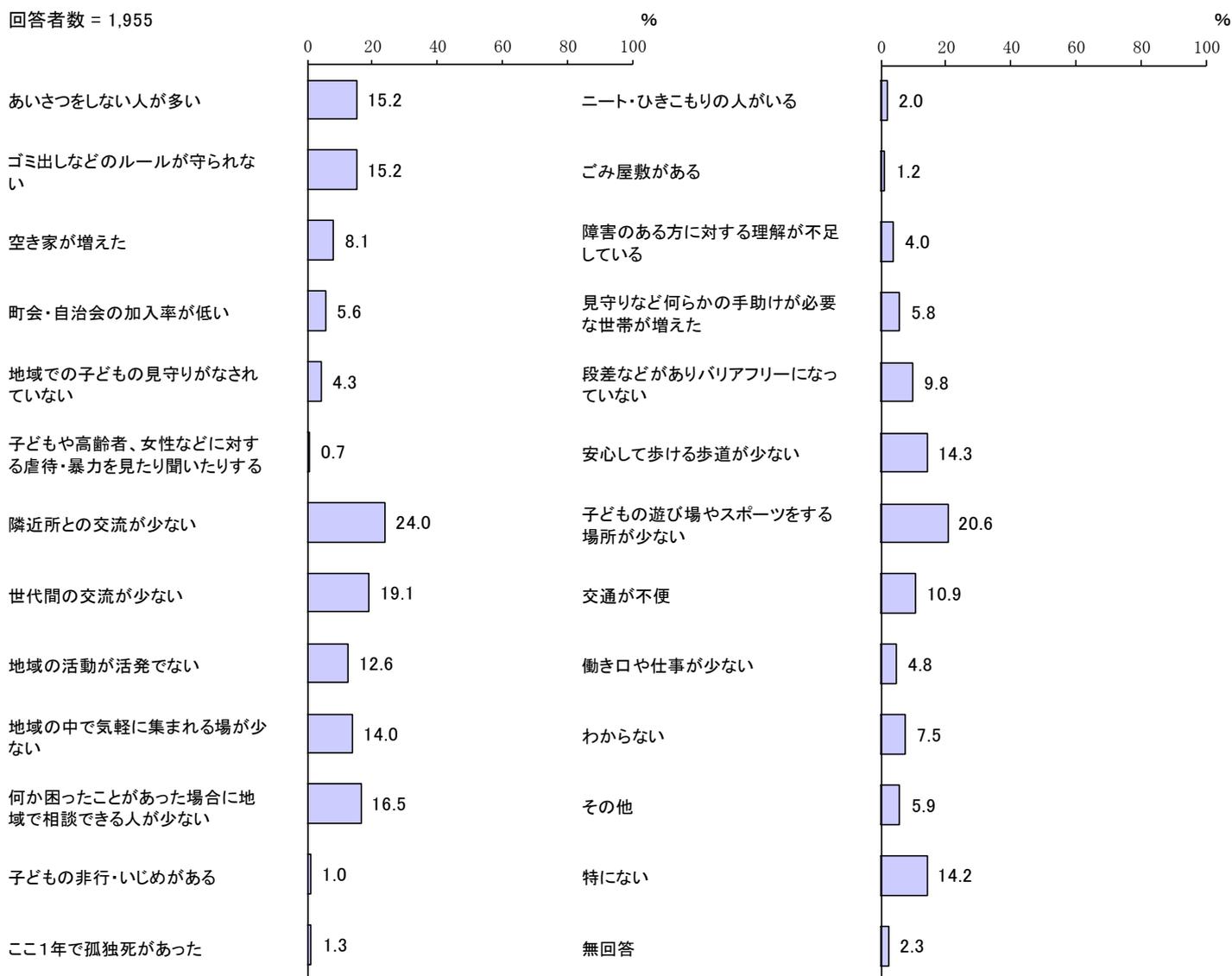
単位：%

区分	有効回答数(件)	地域の行事等への参加・協力	施設の利用者と地域住民との日常的な交流	専門分野に関する研修会の開催や地域の勉強会への講師派遣	ボランティアを希望する住民等の受け入れ	地域住民の交流会等のコーディネートや開催場所の提供	災害時の避難受入等の支援	相談体制の充実	わからない	その他	無回答
小松地区	50	30.0	18.0	18.0	24.0	20.0	36.0	26.0	24.0	—	—
鳴尾東地区	42	23.8	33.3	4.8	21.4	11.9	26.2	11.9	26.2	2.4	4.8
高須地区	74	25.7	32.4	9.5	23.0	17.6	28.4	33.8	18.9	4.1	2.7
甲子園浜地区	41	24.4	31.7	9.8	24.4	7.3	41.5	31.7	26.8	2.4	—
南甲子園地区	61	36.1	26.2	13.1	32.8	14.8	24.6	36.1	14.8	—	—
上甲子園地区	59	32.2	28.8	15.3	20.3	13.6	25.4	40.7	16.9	1.7	—
瓦木地区	99	29.3	33.3	6.1	27.3	13.1	33.3	31.3	13.1	4.0	2.0
高木地区	75	29.3	26.7	4.0	25.3	14.7	40.0	28.0	21.3	1.3	—
甲東地区	68	29.4	32.4	11.8	27.9	10.3	23.5	26.5	19.1	1.5	2.9
段上地区	42	38.1	28.6	14.3	23.8	21.4	42.9	23.8	21.4	4.8	—
段上西地区	49	42.9	26.5	20.4	38.8	24.5	40.8	26.5	18.4	4.1	—
樋ノ口地区	41	31.7	22.0	—	26.8	12.2	39.0	26.8	17.1	—	2.4
上ヶ原地区	79	32.9	30.4	10.1	25.3	17.7	35.4	26.6	19.0	3.8	1.3
生瀬地区	40	30.0	25.0	5.0	22.5	12.5	40.0	22.5	25.0	—	—
名塩地区	41	17.1	14.6	4.9	29.3	17.1	22.0	17.1	22.0	—	4.9
東山台地区	29	44.8	51.7	17.2	27.6	20.7	41.4	31.0	10.3	3.4	3.4
山口地区	21	38.1	23.8	23.8	4.8	—	19.0	28.6	28.6	9.5	—
北六甲台地区	21	47.6	14.3	19.0	23.8	9.5	23.8	47.6	9.5	—	—

問 22 現在、あなたの住んでいる地域の中での問題点・不足していると思うものは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「隣近所との交流が少ない」の割合が 24.0%と最も高く、次いで「子どもの遊び場やスポーツをする場所が少ない」の割合が 20.6%、「世代間の交流が少ない」の割合が 19.1%となっています。

回答者数 = 1,955



主なその他意見

- ・ 買い物をする所、飲食店が少ない、デリバリーが来ない
- ・ ゴミの日のカラス。カラスが多すぎる。
- ・ 防犯カメラ等の数
- ・ 子どもを預かってくれる施設の数
- ・ 犬の散歩中のフンを始末せず、そのままにしている人がいる。道路に常に犬のフンがいくつも落ちている
- ・ 路上駐車、スピードの出しすぎなど車のマナーが悪い など

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70～74歳で「あいさつをしない人が多い」「空き家が増えた」「地域の活動が活発でない」の割合が、60～64歳で「ゴミ出しなどのルールが守られない」「町会・自治会の加入率が低い」「世代間の交流が少ない」「地域の中で気軽に集まれる場が少ない」「段差などがありバリアフリーになっていない」の割合が、65～69歳で「空き家が増えた」「何か困ったことがあった場合に地域で相談できる人が少ない」の割合が、30～39歳で「安心して歩ける歩道が少ない」の割合が、40～49歳で「子どもの遊び場やスポーツをする場所が少ない」の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「隣近所との交流が少ない」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：%

区分	有効回答数(件)	あいさつをしない人が多い	ゴミ出しなどのルールが守られない	空き家が増えた	町会・自治会の加入率が低い	地域での子どもの見守りがなされていない	子どもや高齢者、女性などに対する虐待・暴力を見たり聞いたりする	隣近所との交流が少ない	世代間の交流が少ない	地域の活動が活発でない	い	地域の中で気軽に集まれる場が少ない	何か困ったことがあった場合に地域で相談できる人が少ない	子どもの非行・いじめがある	ここ1年で孤独死があった
18～19歳	27	7.4	7.4	—	—	3.7	—	7.4	14.8	14.8	14.8	7.4	7.4	—	
20～29歳	131	8.4	17.6	5.3	3.1	3.8	2.3	21.4	16.8	8.4	10.7	13.0	0.8	—	
30～39歳	231	11.3	14.7	4.8	3.0	6.1	0.9	17.7	16.5	11.7	15.6	13.4	1.7	0.4	
40～49歳	320	14.1	15.9	5.3	4.4	6.6	0.6	17.2	15.3	10.9	13.8	15.9	1.6	1.6	
50～59歳	339	16.2	16.8	8.0	5.3	5.0	0.9	26.8	20.1	12.1	14.2	16.8	1.2	0.9	
60～64歳	156	14.1	19.2	6.4	10.3	3.2	—	23.7	25.6	11.5	17.9	17.9	—	1.3	
65～69歳	164	16.5	18.3	12.2	6.7	2.4	1.2	28.7	15.2	14.0	8.5	20.1	0.6	1.2	
70～74歳	216	19.0	14.8	12.0	8.8	3.7	—	26.9	24.5	16.2	12.0	16.2	0.5	3.2	
75歳以上	359	18.7	10.6	11.4	5.6	2.5	0.3	30.6	20.3	14.5	16.4	18.7	0.3	1.7	

単位：%

区分	ニート・ひきこもりの人 がいる	ごみ屋敷がある	障害のある方に対する理 解が不足している	見守りなど何らかの手助 けが必要な世帯が増えた	段差などがありバリアフ リーになっていない	安心して歩ける歩道が少 ない	子どもの遊び場やスポー ツをする場所が少ない	交通が不便	働き口や仕事が少ない	わからない	その他	特にな い	無回 答
18～19 歳	3.7	—	—	7.4	7.4	11.1	18.5	11.1	7.4	18.5	11.1	11.1	—
20～29 歳	—	1.5	3.1	3.1	8.4	11.5	26.0	10.7	3.1	9.2	5.3	17.6	—
30～39 歳	1.3	0.9	3.0	2.6	11.7	22.5	28.1	9.1	6.5	6.9	10.8	15.2	1.3
40～49 歳	3.1	2.5	5.0	3.4	8.1	17.8	31.3	13.1	6.3	4.4	7.8	14.7	0.9
50～59 歳	2.1	0.9	5.0	5.6	12.4	15.6	20.6	11.5	7.7	8.3	7.1	13.0	1.5
60～64 歳	0.6	—	6.4	8.3	15.4	11.5	17.3	11.5	4.5	4.5	5.8	14.1	1.9
65～69 歳	4.3	0.6	1.2	8.5	6.7	10.4	13.4	11.6	5.5	7.9	4.9	14.6	3.0
70～74 歳	0.9	0.9	3.7	6.5	9.7	11.6	15.7	9.3	1.4	6.9	1.9	14.4	1.9
75 歳以上	2.5	1.4	3.9	8.6	7.8	11.1	12.0	10.0	1.9	9.7	2.8	12.8	5.6

【世帯構成別】

世帯構成別でみると、他に比べ、夫婦のみの世帯で「隣近所との交流が少ない」「世代間の交流が少ない」の割合が、2世代世帯（親と子）で「子どもの遊び場やスポーツをする場所が少ない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	あいさつをしない人が多い	ゴミ出しなどのルールが守られない	空き家が増えた	町会・自治会の加入率が低い	地域での子どもの見守りがなされていない	子どもや高齢者、女性などに対する虐待・暴力を見たり聞いたりする	隣近所との交流が少ない	世代間の交流が少ない	地域の活動が活発でない	い	地域の中で気軽に集まれる場が少ない	何か困ったことがあった場合に地域で相談できる人が少ない	子どもの非行・いじめがある	ここ1年で孤独死があった
ひとり世帯	295	18.0	11.2	8.5	3.4	1.7	0.7	26.8	12.5	11.2	12.9	20.0	0.3	1.0	
夫婦のみの世帯	549	18.9	17.3	9.5	7.7	4.2	0.9	29.9	22.8	15.7	14.8	17.1	0.5	2.0	
2世代世帯（親と子）	996	12.1	16.0	7.3	4.9	5.1	0.6	20.5	19.5	11.4	13.6	15.3	1.5	1.0	
3世代世帯（親と子と孫）	62	14.5	14.5	9.7	8.1	8.1	—	24.2	16.1	12.9	19.4	16.1	—	1.6	
その他	39	25.6	5.1	7.7	7.7	—	—	17.9	17.9	15.4	17.9	20.5	—	2.6	

区分	ニート・ひきこもりの人がいる	ごみ屋敷がある	障害のある方に対する理解が不足している	見守りなど何らかの手助けが必要な世帯が増えた	段差などがありバリアフリーになっていない	安心して歩ける歩道が少ない	子どもの遊び場やスポーツをする場所が少ない	交通が不便	働き口や仕事が少ない	わからない	その他	特になし	無回答
ひとり世帯	0.7	1.0	4.4	8.5	10.8	10.5	10.8	13.2	3.7	14.6	4.4	11.9	2.0
夫婦のみの世帯	2.7	0.9	3.1	4.9	9.1	12.4	14.9	8.6	3.1	6.7	4.7	15.5	2.9
2世代世帯（親と子）	2.1	1.3	4.1	5.4	9.9	16.9	26.7	11.0	6.1	5.6	6.6	14.1	1.4
3世代世帯（親と子と孫）	3.2	3.2	8.1	11.3	12.9	14.5	22.6	14.5	3.2	8.1	6.5	17.7	3.2
その他	—	—	5.1	2.6	7.7	10.3	15.4	17.9	5.1	10.3	10.3	12.8	7.7

【居住地域別】

居住地域別でみると、他に比べ、甲子園浜地区で「あいさつをしない人が多い」「空き家が増えた」の割合が、西宮浜地区で「ゴミ出しなどのルールが守られない」「地域での子どもの見守りがなされていない」「隣近所との交流が少ない」「何か困ったことがあった場合に地域で相談できる人が少ない」の割合が、東山台地区で「町会・自治会の加入率が低い」「段差などがありバリアフリーになっていない」「働き口や仕事が少ない」の割合が、芦原地区で「世代間の交流が少ない」「特にない」の割合が、大社地区、甲陽園地区、夙川地区で「地域の活動が活発でない」の割合が、神原地区で「地域の活動が活発でない」「安心して歩ける歩道が少ない」の割合が、甲東地区で「地域の中で気軽に集まれる場が少ない」「子どもの遊び場やスポーツをする場所が少ない」の割合が、山口地区で「見守りなど何らかの手助けが必要な世帯が増えた」「交通が不便」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	あいさつをしない人が多い	ゴミ出しなどのルールが守られない	空き家が増えた	町会・自治会の加入率が低い	地域での子どもの見守りがなされていない	子どもや高齢者、女性などに対する虐待・暴力を見たり聞いたりする	隣近所との交流が少ない	世代間の交流が少ない	地域の活動が活発でない	地域の中で気軽に集まれる場が少ない	何か困ったことがあった場合に地域で相談できる人が少ない	子どもの非行・いじめがある	ここ1年で孤独死があった
浜脇地区	68	13.2	11.8	2.9	10.3	4.4	—	30.9	19.1	11.8	13.2	16.2	—	1.5
香櫨園地区	58	15.5	5.2	1.7	3.4	5.2	—	19.0	17.2	6.9	15.5	12.1	—	—
安井地区	49	16.3	14.3	4.1	6.1	6.1	—	22.4	14.3	6.1	12.2	12.2	—	—
用海地区	46	10.9	15.2	6.5	4.3	4.3	—	23.9	28.3	8.7	10.9	13.0	—	2.2
西宮浜地区	27	7.4	33.3	7.4	—	11.1	—	48.1	25.9	22.2	14.8	29.6	—	—
今津地区	62	27.4	14.5	6.5	8.1	3.2	3.2	17.7	27.4	14.5	16.1	22.6	1.6	1.6
春風地区	59	8.5	13.6	3.4	6.8	1.7	—	18.6	20.3	6.8	6.8	13.6	1.7	1.7
津門地区	55	9.1	20.0	3.6	7.3	1.8	—	32.7	16.4	12.7	16.4	20.0	—	—
芦原地区	23	4.3	4.3	4.3	—	—	4.3	17.4	34.8	17.4	21.7	21.7	—	8.7
広田地区	69	10.1	15.9	7.2	1.4	5.8	1.4	23.2	13.0	15.9	14.5	15.9	1.4	—
平木地区	29	6.9	24.1	3.4	6.9	6.9	—	24.1	31.0	20.7	24.1	24.1	3.4	3.4
大社地区	73	13.7	13.7	2.7	5.5	2.7	1.4	27.4	20.5	23.3	23.3	13.7	1.4	1.4
神原地区	30	23.3	3.3	10.0	16.7	3.3	—	30.0	20.0	23.3	20.0	16.7	—	—
甲陽園地区	67	16.4	13.4	25.4	—	7.5	1.5	23.9	25.4	23.9	16.4	25.4	1.5	—
夙川地区	72	6.9	6.9	5.6	1.4	5.6	—	25.0	27.8	23.6	16.7	20.8	—	—
北夙川・苦楽園地区	66	16.7	10.6	4.5	6.1	7.6	—	21.2	10.6	12.1	9.1	18.2	1.5	—
鳴尾西地区	33	9.1	21.2	6.1	9.1	—	—	24.2	21.2	9.1	21.2	6.1	—	3.0
鳴尾北地区	88	15.9	18.2	8.0	4.5	2.3	1.1	22.7	15.9	6.8	6.8	17.0	1.1	—

単位：％

区分	有効回答数(件)	あいさつをしない人が多い	ゴミ出しなどのルールが守られない	空き家が増えた	町会・自治会の加入率が低い	地域での子どもの見守りがなされていない	子どもや高齢者、女性などに対する虐待・暴力を見たり聞いたりする	隣近所との交流が少ない	世代間の交流が少ない	地域の活動が活発でない	地域の中で気軽に集まれる場がない	何か困ったことがあった場合に地域で相談できる人が少ない	子どもの非行・いじめがある	ここ1年で孤独死があった
小松地区	50	14.0	16.0	12.0	4.0	4.0	2.0	28.0	12.0	14.0	12.0	16.0	—	—
鳴尾東地区	42	9.5	16.7	11.9	2.4	7.1	2.4	16.7	16.7	7.1	21.4	21.4	—	—
高須地区	74	33.8	31.1	6.8	2.7	4.1	—	39.2	25.7	10.8	10.8	24.3	5.4	1.4
甲子園浜地区	41	31.7	29.3	29.3	17.1	2.4	—	24.4	19.5	12.2	12.2	12.2	—	7.3
南甲子園地区	61	18.0	16.4	8.2	11.5	4.9	—	26.2	19.7	8.2	9.8	18.0	—	3.3
上甲子園地区	59	13.6	15.3	5.1	1.7	1.7	—	20.3	13.6	8.5	11.9	11.9	3.4	—
瓦木地区	99	13.1	17.2	5.1	1.0	2.0	—	25.3	15.2	5.1	14.1	17.2	1.0	1.0
高木地区	75	21.3	8.0	2.7	5.3	6.7	1.3	24.0	21.3	10.7	8.0	14.7	1.3	—
甲東地区	68	10.3	17.6	11.8	2.9	4.4	1.5	22.1	25.0	13.2	27.9	14.7	1.5	—
段上地区	42	21.4	16.7	7.1	7.1	4.8	—	9.5	9.5	7.1	14.3	14.3	2.4	2.4
段上西地区	49	12.2	14.3	6.1	4.1	8.2	2.0	22.4	22.4	18.4	18.4	12.2	—	—
樋ノ口地区	41	22.0	9.8	2.4	7.3	2.4	—	24.4	9.8	12.2	7.3	14.6	—	—
上ヶ原地区	79	19.0	21.5	12.7	1.3	5.1	—	24.1	17.7	17.7	12.7	17.7	—	6.3
生瀬地区	40	17.5	5.0	12.5	15.0	—	—	20.0	17.5	5.0	12.5	10.0	—	5.0
名塩地区	41	7.3	7.3	22.0	4.9	4.9	—	22.0	4.9	12.2	12.2	7.3	—	—
東山台地区	29	17.2	17.2	10.3	20.7	6.9	—	31.0	31.0	13.8	24.1	24.1	3.4	—
山口地区	21	14.3	4.8	9.5	9.5	4.8	—	19.0	14.3	9.5	4.8	23.8	—	—
北六甲台地区	21	14.3	14.3	42.9	9.5	—	—	14.3	19.0	4.8	4.8	9.5	—	—

単位：%

区分	二ト・ひきこもりの人 がいる	ごみ屋敷がある	障害のある方に対する理 解が不足している	見守りなど何らかの手助 けが必要な世帯が増えた	段差などがありバリアフ リーになっていない	安心して歩ける歩道が少 ない	子どもの遊び場やスポー ツをする場所が少ない	交通が不便	働き口や仕事が少ない	わからない	その他	特 に ない	無 回 答
浜脇地区	1.5	—	4.4	8.8	10.3	13.2	19.1	1.5	1.5	14.7	5.9	16.2	5.9
香櫨園地区	—	—	5.2	—	6.9	13.8	17.2	5.2	—	5.2	10.3	19.0	—
安井地区	2.0	2.0	—	6.1	6.1	22.4	20.4	4.1	2.0	12.2	6.1	22.4	2.0
用海地区	4.3	—	—	4.3	8.7	10.9	21.7	8.7	—	8.7	8.7	6.5	—
西宮浜地区	3.7	3.7	7.4	3.7	—	3.7	11.1	33.3	7.4	7.4	—	14.8	—
今津地区	—	—	8.1	8.1	14.5	11.3	8.1	11.3	3.2	9.7	4.8	16.1	1.6
春風地区	1.7	—	1.7	5.1	8.5	6.8	10.2	1.7	1.7	13.6	1.7	25.4	6.8
津門地区	—	3.6	1.8	7.3	9.1	9.1	20.0	—	5.5	10.9	7.3	10.9	—
芦原地区	8.7	—	4.3	4.3	13.0	21.7	21.7	—	8.7	4.3	4.3	26.1	—
広田地区	1.4	—	1.4	2.9	10.1	13.0	17.4	11.6	4.3	8.7	1.4	18.8	—
平木地区	—	—	3.4	13.8	6.9	10.3	27.6	—	—	13.8	3.4	13.8	—
大社地区	1.4	1.4	8.2	4.1	6.8	23.3	34.2	5.5	5.5	2.7	11.0	9.6	1.4
神原地区	3.3	—	6.7	6.7	16.7	26.7	26.7	3.3	—	6.7	3.3	3.3	3.3
甲陽園地区	3.0	4.5	1.5	7.5	16.4	22.4	23.9	26.9	4.5	—	4.5	7.5	3.0
夙川地区	1.4	1.4	1.4	6.9	11.1	8.3	20.8	5.6	—	6.9	4.2	15.3	2.8
北夙川・苦楽園地区	—	—	4.5	4.5	9.1	12.1	27.3	19.7	3.0	4.5	7.6	22.7	1.5
鳴尾西地区	3.0	—	9.1	6.1	15.2	18.2	24.2	—	3.0	6.1	3.0	12.1	—
鳴尾北地区	1.1	2.3	5.7	5.7	8.0	12.5	20.5	—	1.1	12.5	5.7	19.3	1.1

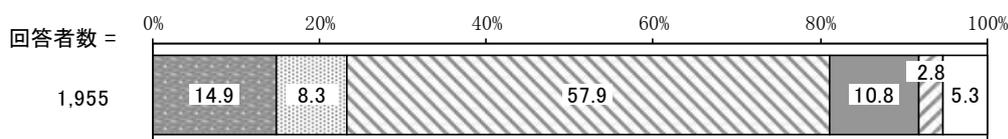
単位：%

区分	二ト・ひきこもりの人 がいる	ごみ屋敷がある	障害のある方に対する理 解が不足している	見守りなど何らかの手助 けが必要な世帯が増えた	段差などがありバリアフ リーになっていない	安心して歩ける歩道が少 ない	子どもの遊び場やスポー ツをする場所が少ない	交通が不便	働き口や仕事が少ない	わからない	その他	特 に な い	無 回 答
小松地区	—	—	6.0	4.0	4.0	6.0	22.0	2.0	6.0	8.0	—	22.0	2.0
鳴尾東地区	2.4	—	4.8	9.5	7.1	9.5	19.0	9.5	9.5	7.1	2.4	11.9	2.4
高須地区	5.4	1.4	8.1	6.8	13.5	12.2	13.5	16.2	10.8	5.4	8.1	6.8	1.4
甲子園浜地区	2.4	—	—	7.3	7.3	2.4	19.5	—	—	4.9	7.3	4.9	7.3
南甲子園地区	6.6	1.6	8.2	4.9	6.6	4.9	9.8	3.3	6.6	3.3	6.6	14.8	4.9
上甲子園地区	3.4	1.7	3.4	6.8	6.8	15.3	16.9	5.1	3.4	5.1	10.2	15.3	—
瓦木地区	1.0	1.0	3.0	5.1	10.1	17.2	21.2	2.0	4.0	7.1	5.1	19.2	1.0
高木地区	2.7	1.3	1.3	2.7	6.7	14.7	25.3	4.0	5.3	10.7	4.0	20.0	2.7
甲東地区	1.5	2.9	1.5	1.5	4.4	22.1	38.2	1.5	1.5	2.9	2.9	10.3	4.4
段上地区	2.4	4.8	2.4	—	4.8	19.0	19.0	19.0	7.1	9.5	7.1	14.3	—
段上西地区	2.0	—	4.1	12.2	10.2	18.4	36.7	6.1	10.2	8.2	4.1	8.2	2.0
樋ノ口地区	2.4	—	—	—	12.2	22.0	9.8	36.6	2.4	4.9	7.3	7.3	4.9
上ヶ原地区	1.3	1.3	5.1	5.1	15.2	24.1	22.8	25.3	5.1	5.1	11.4	12.7	2.5
生瀬地区	—	2.5	—	7.5	22.5	22.5	20.0	27.5	7.5	10.0	7.5	15.0	2.5
名塩地区	—	—	2.4	14.6	9.8	19.5	22.0	39.0	12.2	2.4	9.8	12.2	2.4
東山台地区	6.9	—	6.9	6.9	24.1	—	13.8	31.0	24.1	3.4	13.8	3.4	—
山口地区	—	—	4.8	19.0	4.8	19.0	9.5	61.9	23.8	9.5	9.5	4.8	4.8
北六甲台地区	—	—	—	4.8	4.8	—	9.5	42.9	9.5	9.5	4.8	4.8	—

問 23 今後、地域の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。（○は1つだけ）

「行政と住民が協力して、解決方法を考えていきたい」の割合が 57.9%と最も高く、次いで「自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい」の割合が 14.9%、「行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい」の割合が 10.8%となっています。

- 自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい
- 地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せておきたい
- 行政と住民が協力して、解決方法を考えていきたい
- 行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい
- その他
- 無回答



主なその他意見

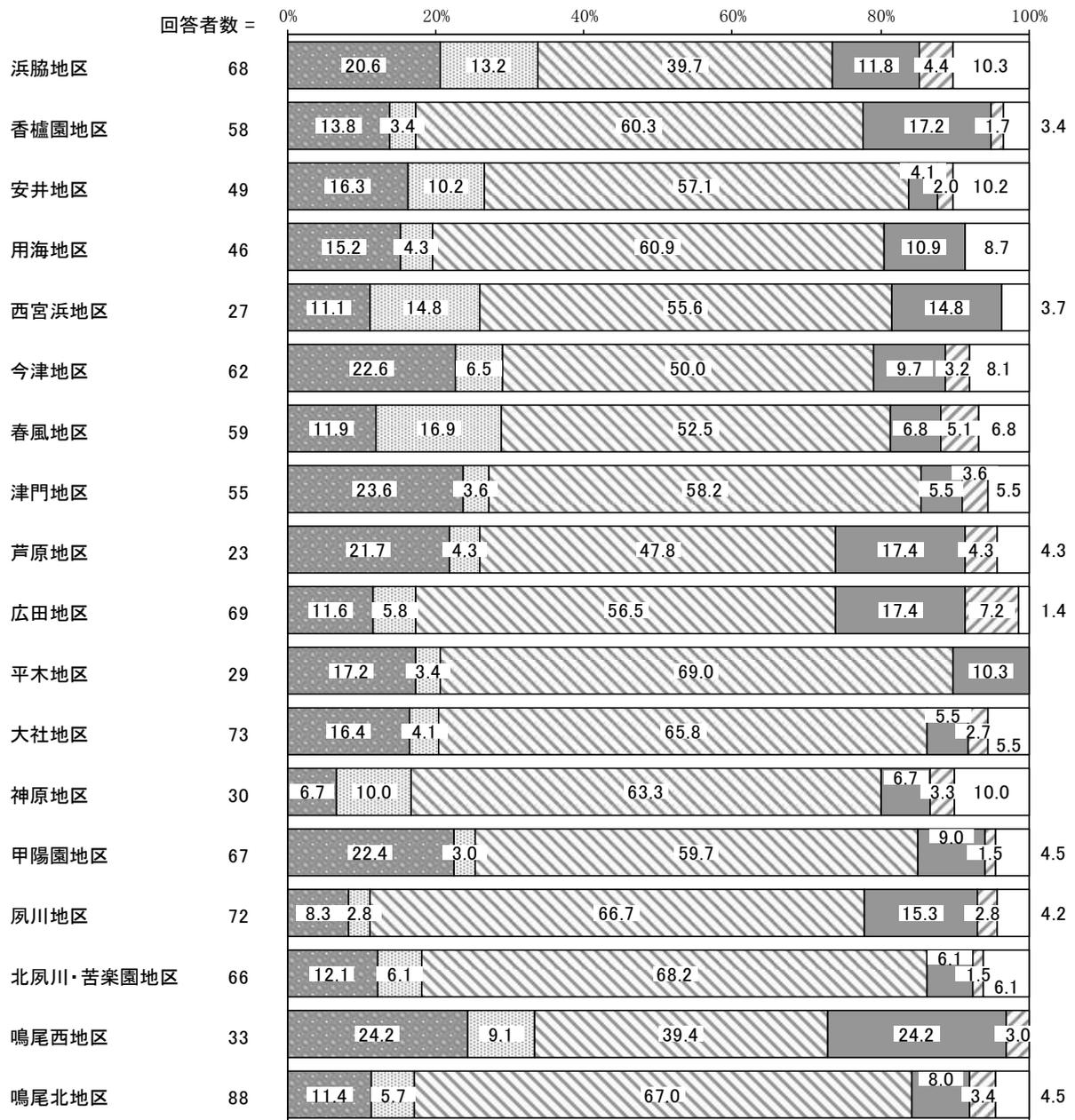
- ・ 解決すれば何でも良い
- ・ 行政主導 住民は各々利己的になりやすい
- ・ 他の地域、市、県などから教えてもらうべき
- ・ 住民同士だと、いざこざが起こった時後々まで、尾を引くのではないかと心配
- ・ 長いこと住むのだから、いざこざ時には、行政も上手く中に入ってもらいたい

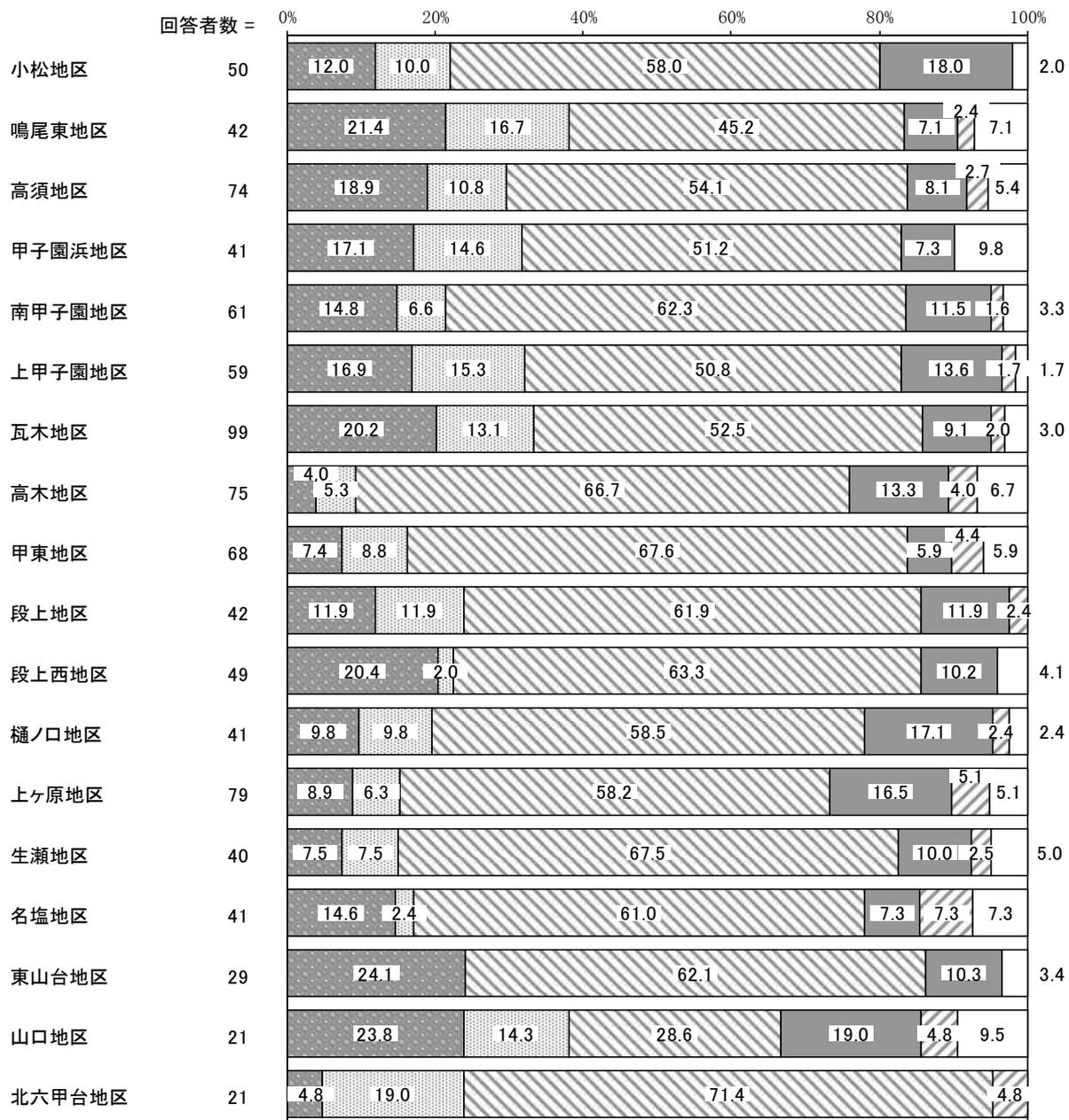
など

【居住地域別】

居住地域別でみると、他に比べ、鳴尾西地区で「自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい」「行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい」の割合が、東山台地区で、「自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい」の割合が、北六甲台地区で「地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せておきたい」「行政と住民が協力して、解決方法を考えていきたい」の割合が高くなっています。

- 自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい
- 地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せておきたい
- 行政と住民が協力して、解決方法を考えていきたい
- 行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい
- その他
- 無回答

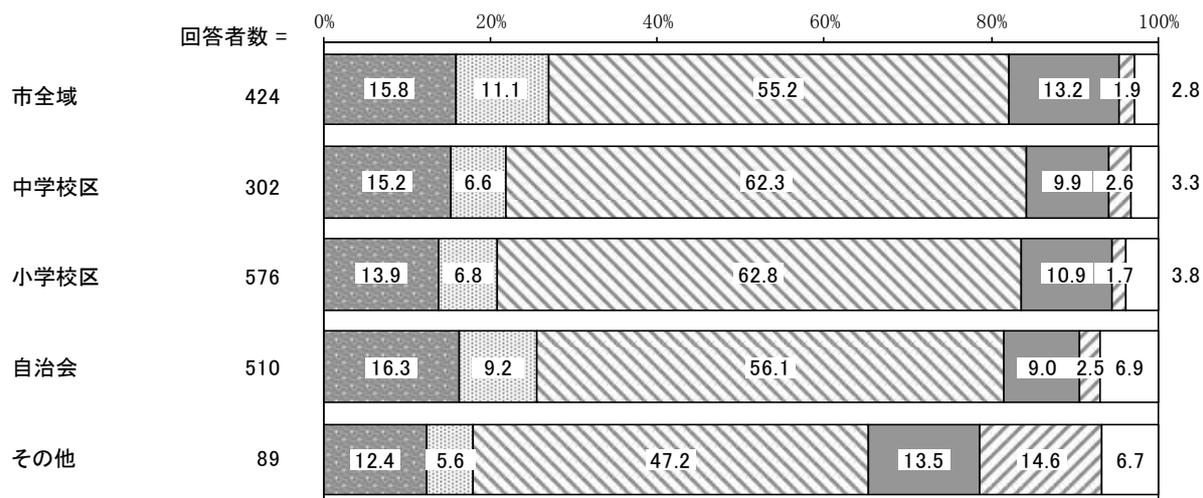




【「身近な地域」の考え別】

「身近な地域」の考え別でみると、他に比べ、中学校区、小学校区で「行政と住民が協力して、解決方法を考えていきたい」の割合が高くなっています。

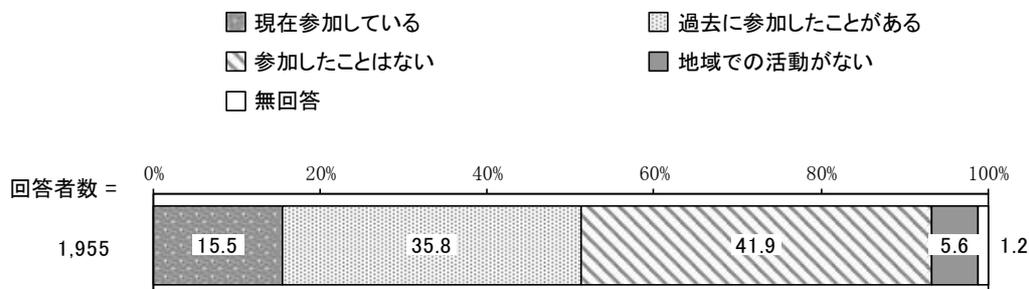
- 自分たちの生活に関わることから、できるだけ住民同士で協力して解決したい
- ▨ 地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せておきたい
- ▧ 行政と住民が協力して、解決方法を考えていきたい
- 行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい
- ▨ その他
- 無回答



(4) 地域での活動（町会・自治会やボランティア、市民活動等）について

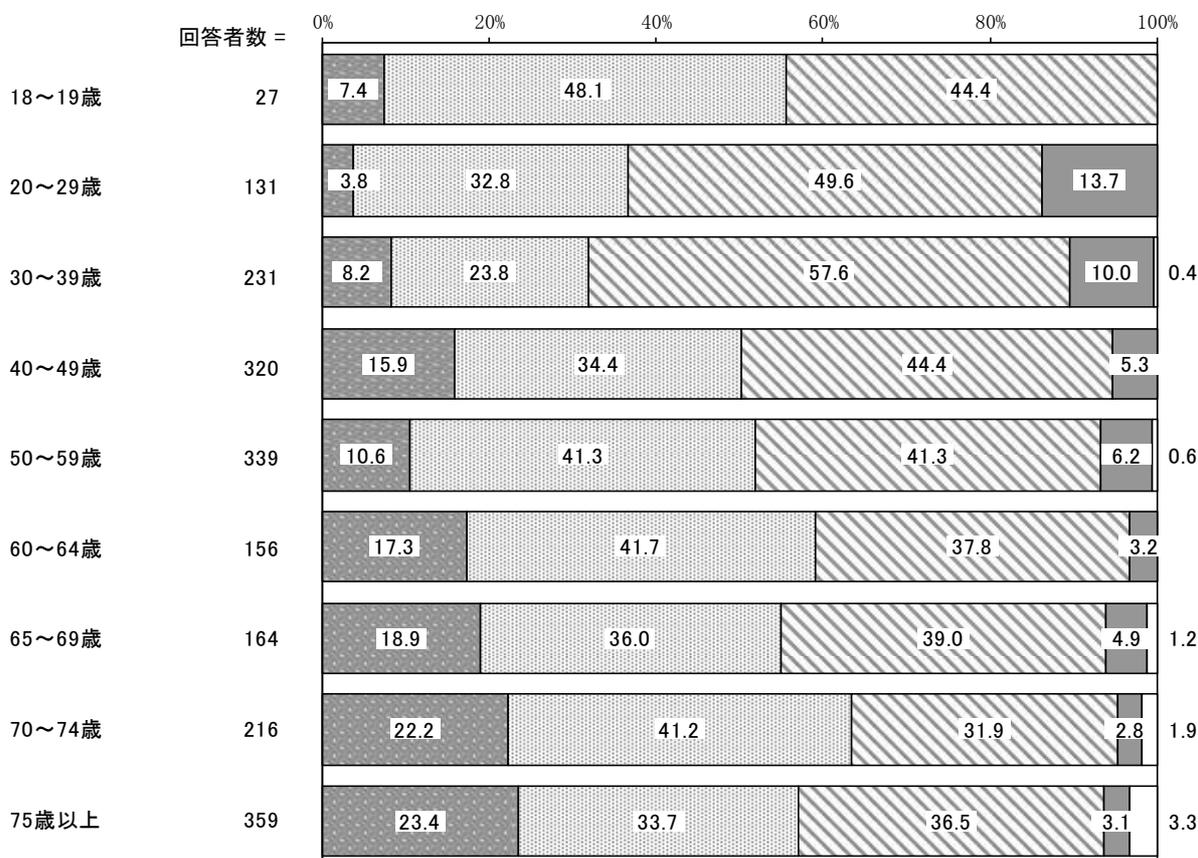
問 24 あなたは、地域での活動に参加していますか。または、したことがありますか。
（○は1つだけ）

「参加したことはない」の割合が41.9%と最も高く、次いで「過去に参加したことがある」の割合が35.8%、「現在参加している」の割合が15.5%となっています。



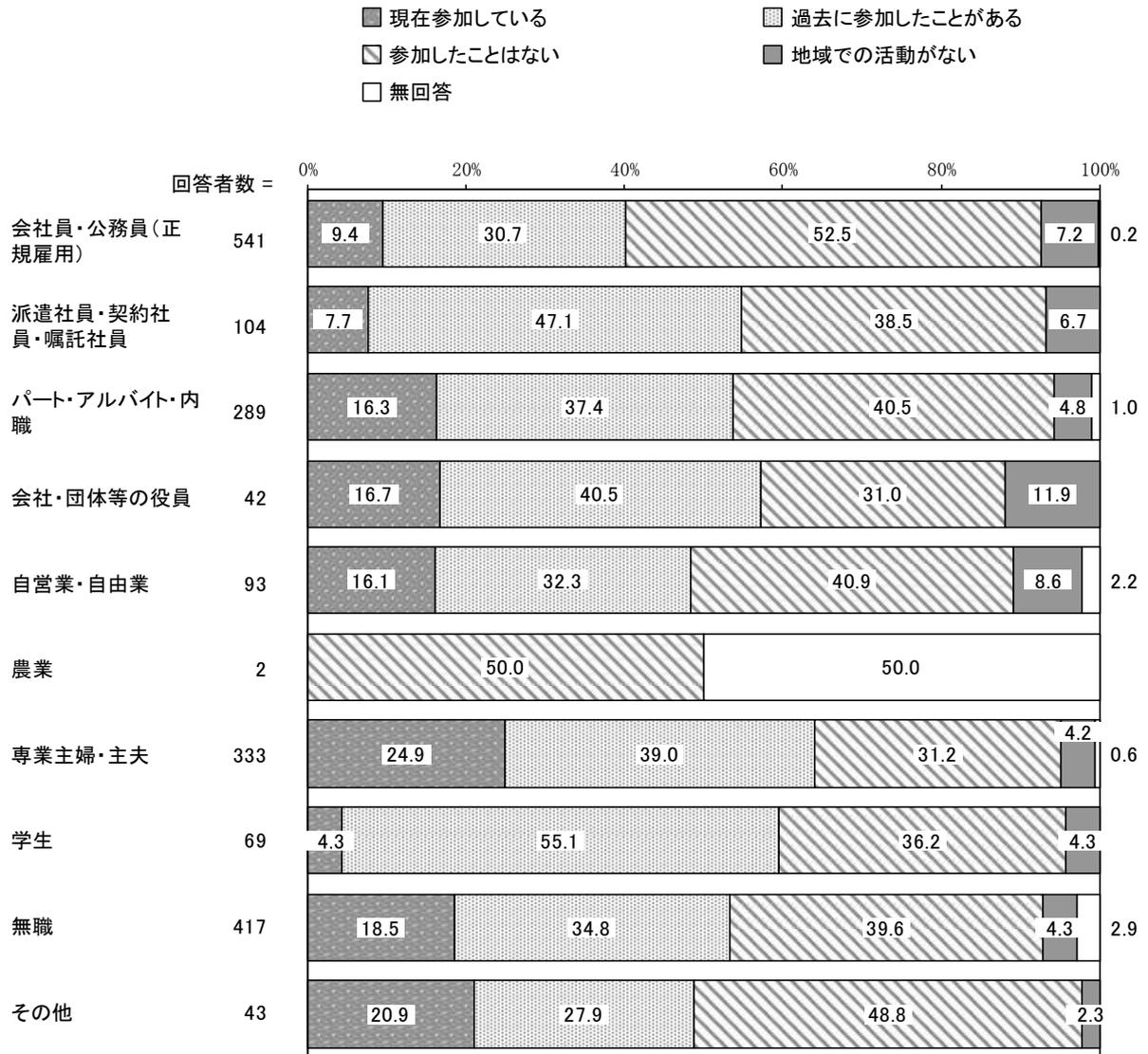
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「現在参加している」の割合が高くなる傾向がみられます。一方、年齢が低くなるほど「参加したことはない」「地域での活動がない」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、18～19歳で「過去に参加したことがある」の割合が高くなっています。



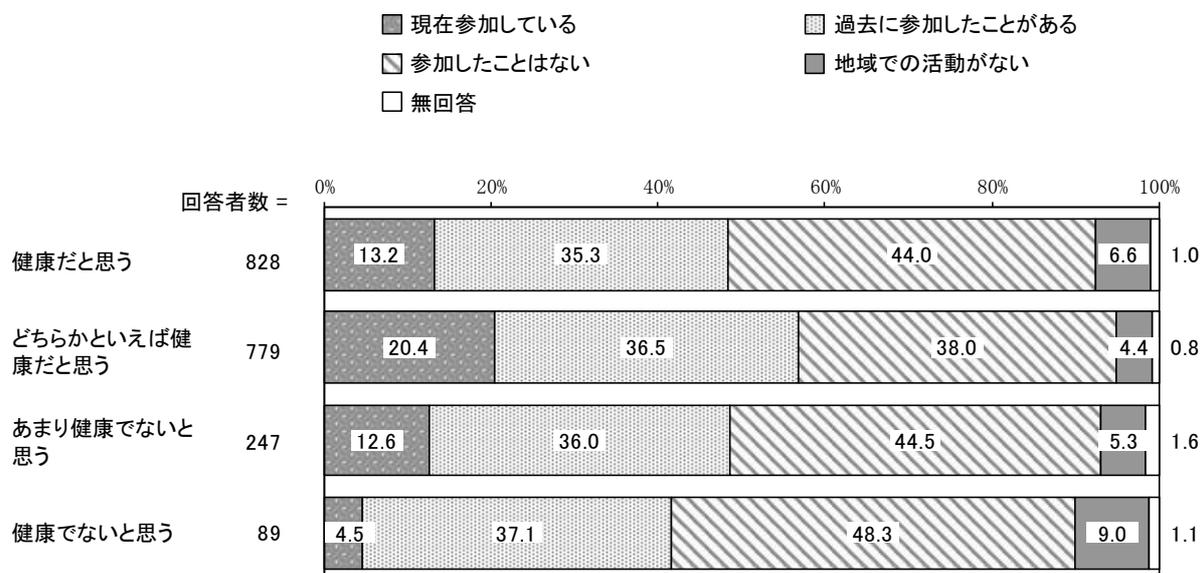
【職業別】

職業別でみると、他に比べ、専業主婦・主夫で「現在参加している」の割合が、学生で「過去に参加したことがある」の割合が、会社員・公務員（正規雇用）で「参加したことはない」の割合が、会社・団体等の役員で「地域での活動がない」の割合が高くなっています。



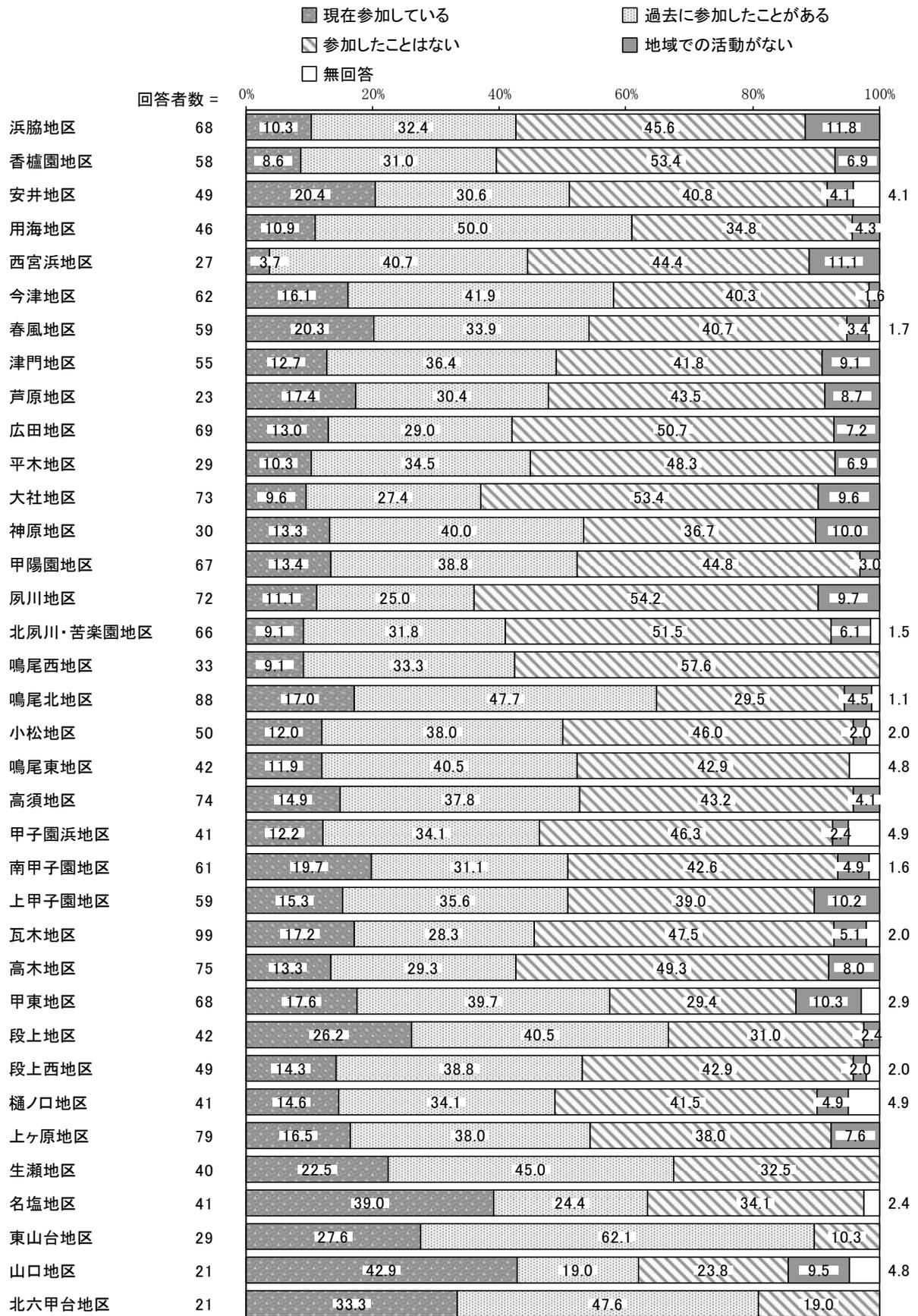
【健康状態別】

健康状態別で見ると、他に比べ、どちらかといえば健康だと思いで「現在参加している」の割合が、健康でないと思いで「参加したことはない」の割合が高くなっています。



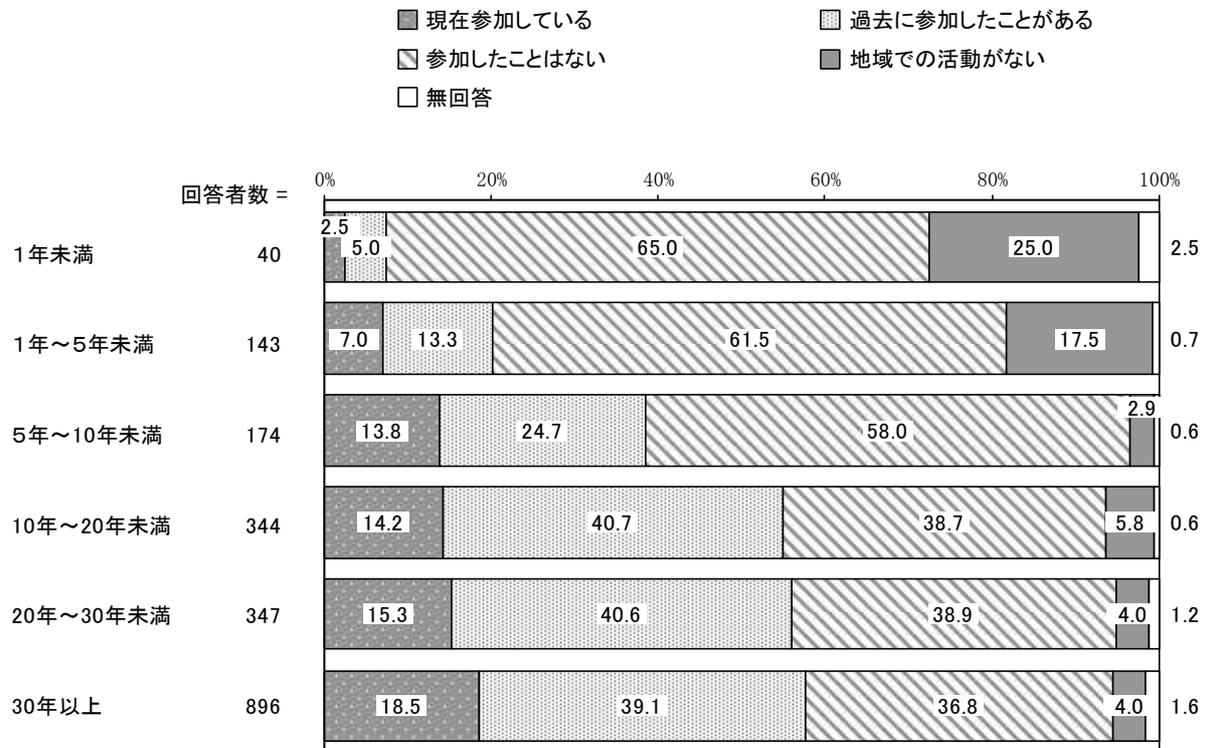
【居住地域別】

居住地域別でみると、他に比べ、山口地区で「現在参加している」の割合が、東山台地区で「過去に参加したことがある」の割合が、鳴尾西地区で「参加したことはない」の割合が、浜脇地区、西宮浜地区で「地域での活動がない」の割合が高くなっています。



【居住年数別】

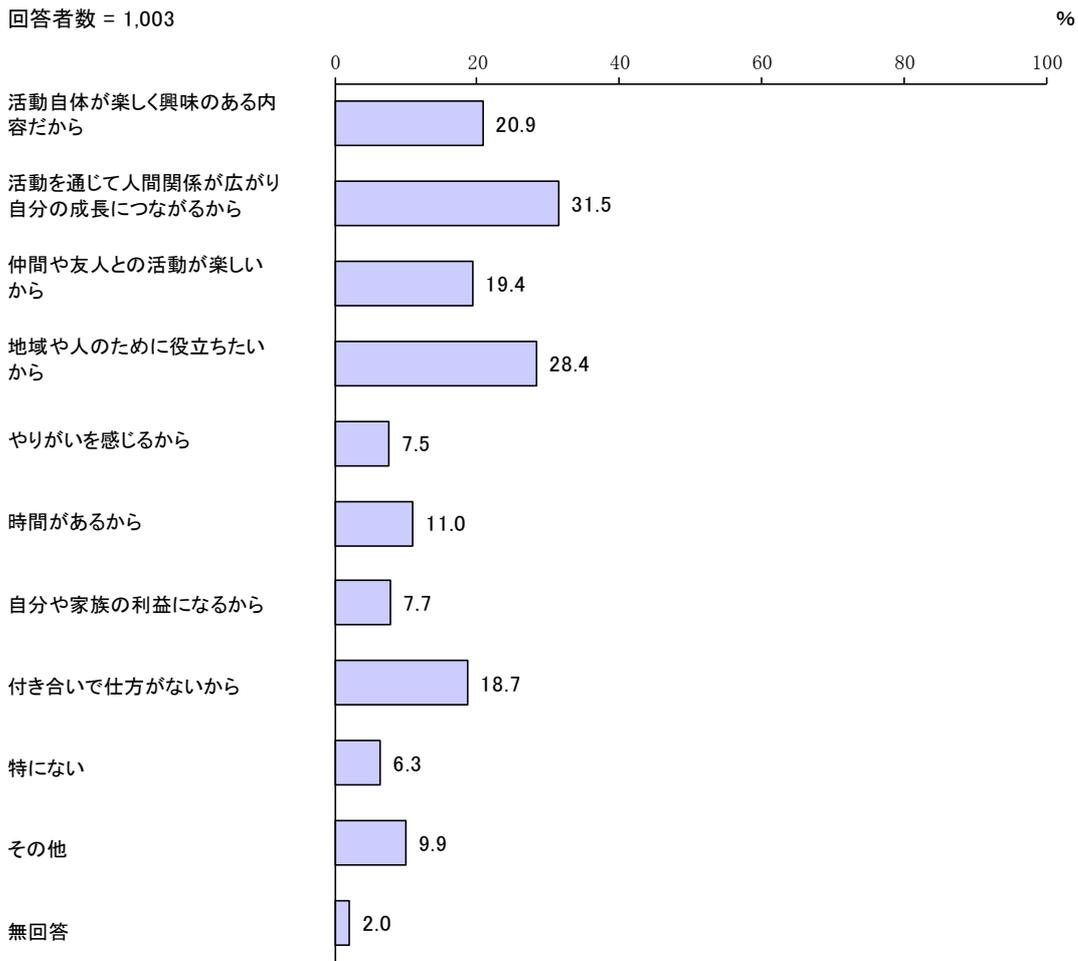
居住年数別でみると、居住年数が長くなるにつれて「現在参加している」「過去に参加したことがある」の割合が高くなる傾向がみられます。一方、居住年数が短くなるほど「参加したことはない」「地域での活動がない」の割合が高くなる傾向がみられます。



問 24 で「1. 現在参加している」「2. 過去に参加したことがある」のいずれかにお答えの方に伺います

問 24-1 地域での活動に現在参加しているまたは過去に参加していた理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「活動を通じて人間関係が広がり自分の成長につながるから」の割合が 31.5%と最も高く、次いで「地域や人のために役立ちたいから」の割合が 28.4%、「活動自体が楽しく興味のある内容だから」の割合が 20.9%となっています。



主なその他意見

- ・ 自治会の役員だったため
- ・ 健康のため
- ・ 順番で回ってくるので
- ・ 子供の PTA などの依頼
- ・ 子どもが成長したから
- ・ 利用する以上、美化に参加は当然 など

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「活動を通じて人間関係が広がり自分の成長につながるから」「地域や人のために役立ちたいから」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、20～29歳で「活動自体が楽しく興味のある内容だから」の割合が、18～19歳で「仲間や友人との活動が楽しいから」「時間があるから」「特にない」の割合が、75歳以上で「やりがいを感じるから」の割合が、40～49歳で「自分や家族の利益になるから」の割合が、65～69歳で「付き合いで仕方がないから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	活動自体が楽しく興味のある内容だから	活動を通じて人間関係が広がり自分の成長につながるから	仲間や友人との活動が楽しいから	地域や人のために役立ちたいから	やりがいを感じるから	時間があるから	自分や家族の利益になるから	付き合いで仕方がないから	特にない	その他	無回答
18～19歳	15	13.3	6.7	40.0	13.3	6.7	20.0	13.3	6.7	13.3	13.3	—
20～29歳	48	47.9	20.8	31.3	14.6	12.5	18.8	4.2	14.6	4.2	8.3	—
30～39歳	74	27.0	25.7	10.8	23.0	6.8	2.7	14.9	13.5	9.5	8.1	1.4
40～49歳	161	21.7	22.4	8.7	24.2	3.1	10.6	16.1	22.4	5.6	13.7	0.6
50～59歳	176	18.2	22.7	18.8	30.7	4.5	4.5	5.7	21.6	5.7	15.9	3.4
60～64歳	92	14.1	32.6	9.8	29.3	7.6	10.9	7.6	17.4	6.5	9.8	4.3
65～69歳	90	20.0	30.0	16.7	25.6	5.6	10.0	2.2	23.3	8.9	8.9	2.2
70～74歳	137	16.1	36.5	19.0	38.7	7.3	15.3	2.9	21.2	7.3	8.0	—
75歳以上	205	21.5	49.3	33.2	30.2	13.7	14.6	6.3	14.6	4.4	3.9	2.9

【職業別】

職業別でみると、他に比べ、学生で「活動自体が楽しく興味のある内容だから」「仲間や友人との活動が楽しいから」「やりがいを感じるから」「時間があるから」の割合が、会社・団体等の役員で「活動を通じて人間関係が広がり自分の成長につながるから」「地域や人のために役立ちたいから」の割合が、パート・アルバイト・内職で「自分や家族の利益になるから」「付き合いで仕方ないから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	活動自体が楽しく興味のある内容だから	活動を通じて人間関係が広がり自分の成長につながるから	仲間や友人との活動が楽しいから	地域や人のために役立ちたいから	やりがいを感じるから	時間があるから	自分や家族の利益になるから	付き合いで仕方ないから	特にない	その他	無回答
会社員・公務員(正規雇用)	217	22.6	22.6	12.9	29.0	5.1	7.4	10.6	17.5	7.8	13.4	2.3
派遣社員・契約社員・嘱託社員	57	19.3	14.0	8.8	28.1	3.5	7.0	5.3	21.1	5.3	14.0	3.5
パート・アルバイト・内職	155	21.3	30.3	18.7	24.5	5.2	7.7	11.0	25.8	3.9	10.3	1.3
会社・団体等の役員	24	16.7	58.3	29.2	45.8	12.5	4.2	—	20.8	4.2	—	8.3
自営業・自由業	45	33.3	37.8	20.0	37.8	6.7	11.1	8.9	15.6	6.7	4.4	—
農業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
専業主婦・主夫	213	16.9	33.3	22.5	27.2	7.0	11.7	5.2	18.3	5.6	11.3	2.8
学生	41	39.0	14.6	31.7	14.6	14.6	19.5	4.9	12.2	9.8	7.3	—
無職	222	17.6	42.8	21.2	30.6	10.8	14.0	6.8	18.0	7.2	5.4	1.4
その他	21	28.6	33.3	28.6	23.8	14.3	28.6	9.5	4.8	4.8	19.0	—

【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、5年～10年未満で「活動を通じて人間関係が広がり自分の成長につながるから」「自分や家族の利益になるから」の割合が、30年以上で「活動を通じて人間関係が広がり自分の成長につながるから」「仲間や友人との活動が楽しいから」の割合が、10年～20年未満で「地域や人のために役立ちたいから」の割合が、20年～30年未満で「付き合いで仕方がないから」の割合が高くなっています。

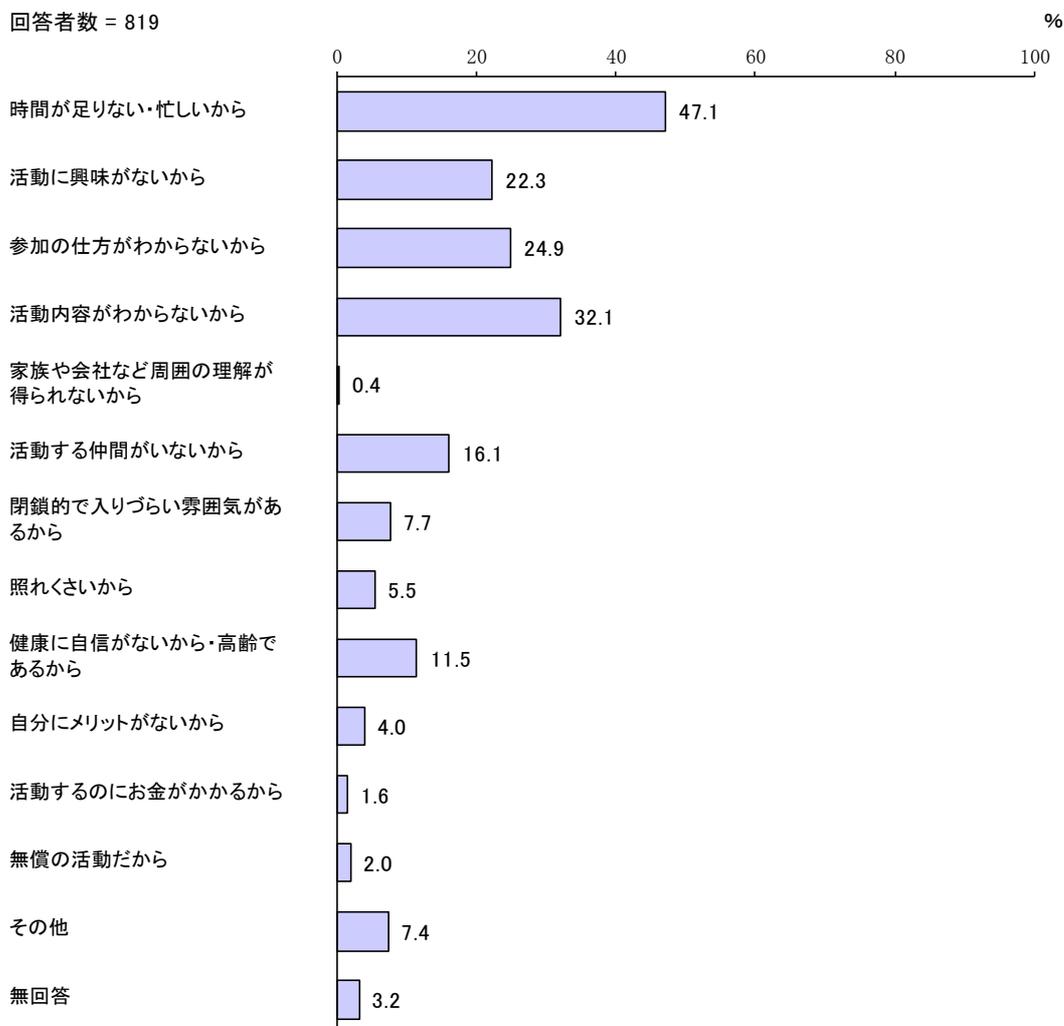
単位：％

区分	有効回答数(件)	活動自体が楽しく興味のある内容だから	活動を通じて人間関係が広がり自分の成長につながるから	仲間や友人との活動が楽しいから	地域や人のために役立ちたいから	やりがいを感じるから	時間があるから	自分や家族の利益になるから	付き合いで仕方がないから	特にない	その他	無回答
1年未満	3	33.3	33.3	—	33.3	—	—	—	—	—	—	—
1年～5年未満	29	20.7	27.6	13.8	13.8	13.8	13.8	6.9	13.8	13.8	10.3	3.4
5年～10年未満	67	22.4	37.3	13.4	25.4	10.4	13.4	13.4	13.4	6.0	9.0	—
10年～20年未満	189	19.0	21.7	18.5	29.1	5.3	10.1	10.6	16.4	5.3	13.2	2.6
20年～30年未満	194	23.7	23.7	17.5	27.8	4.6	10.8	7.7	21.6	5.2	12.9	0.5
30年以上	516	20.3	37.4	21.9	29.7	8.7	11.0	6.0	19.4	6.8	7.6	2.5

問 24 で「3. 参加したことはない」とお答えの方に伺います

問 24-2 地域での活動に参加したことがない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「時間が足りない・忙しいから」の割合が 47.1%と最も高く、次いで「活動内容がわからないから」の割合が 32.1%、「参加の仕方がわからないから」の割合が 24.9%となっています。



主なその他意見

- ・ 活動があると知らなかった
- ・ 家族が1人代表で出ているため
- ・ 仕事しているため
- ・ 障害があり難しい など

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、「時間が足りない・忙しいから」の割合が、60～64歳で「活動する仲間がないから」「照れくさいから」の割合が、18～19歳で「活動に興味がないから」「自分にメリットがないから」の割合が、30～39歳で「参加の仕方がわからないから」「活動内容がわからないから」「閉鎖的で入りづらい雰囲気があるから」の割合が、75歳以上で「健康に自信がないから・高齢であるから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	時間が足りない・忙しいから	活動に興味がないから	参加の仕方がわからないから	活動内容がわからないから	家族や会社など周囲の理解が得られないから	活動する仲間がないから	閉鎖的で入りづらい雰囲気があるから	照れくさいから	健康に自信がないから・高齢であるから	自分にメリットがないから	活動するのにお金がかかるから	無償の活動だから	その他	無回答
18～19歳	12	50.0	50.0	16.7	33.3	—	25.0	—	—	—	16.7	—	—	—	—
20～29歳	65	52.3	30.8	33.8	32.3	—	18.5	6.2	1.5	1.5	7.7	3.1	1.5	9.2	3.1
30～39歳	133	62.4	19.5	39.1	41.4	—	18.8	10.5	8.3	0.8	4.5	1.5	4.5	6.8	1.5
40～49歳	142	64.8	26.1	26.1	34.5	0.7	11.3	9.9	5.6	4.9	6.3	1.4	2.1	3.5	1.4
50～59歳	140	63.6	20.7	21.4	35.0	1.4	15.0	5.7	5.7	5.0	5.0	1.4	3.6	8.6	4.3
60～64歳	59	50.8	11.9	25.4	25.4	—	27.1	8.5	10.2	1.7	1.7	1.7	1.7	8.5	1.7
65～69歳	64	21.9	37.5	23.4	39.1	—	18.8	9.4	7.8	15.6	—	1.6	—	3.1	3.1
70～74歳	69	21.7	15.9	23.2	30.4	—	17.4	5.8	4.3	8.7	2.9	2.9	—	11.6	5.8
75歳以上	131	14.5	16.8	11.5	18.3	—	11.5	6.1	2.3	46.6	0.8	0.8	—	10.7	5.3

【職業別】

職業別でみると、他に比べ、会社員・公務員（正規雇用）で「時間が足りない・忙しいから」「活動内容がわからないから」の割合が、会社・団体等の役員で「活動に興味がないから」の割合が、パート・アルバイト・内職で「参加の仕方がわからないから」「活動内容がわからないから」の割合が、学生で「参加の仕方がわからないから」「活動する仲間がいないから」の割合が、無職で「健康に自信がないから・高齢であるから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	時間が足りない・忙しいから	活動に興味がないから	参加の仕方がわからないから	活動内容がわからないから	家族や会社など周囲の理解が得られないから	活動する仲間がいないから	閉鎖的で入りづらい雰囲気があるから	照れくさいから	健康に自信がないから・高齢であるから	自分にメリットがないから	活動するのにお金がかかるから	無償の活動だから	その他	無回答
会社員・公務員 (正規雇用)	284	69.4	22.5	29.6	35.2	0.7	19.0	8.8	7.0	1.1	6.3	1.4	3.5	6.7	1.8
派遣社員・契約 社員・嘱託社員	40	62.5	27.5	22.5	32.5	—	17.5	2.5	2.5	2.5	5.0	—	5.0	5.0	2.5
パート・アルバイ ト・内職	117	49.6	23.1	32.5	35.9	0.9	18.8	8.5	5.1	6.8	3.4	3.4	1.7	5.1	4.3
会社・団体等の 役員	13	46.2	46.2	15.4	30.8	—	—	7.7	—	—	7.7	—	—	7.7	7.7
自営業・自由業	38	55.3	23.7	23.7	23.7	—	7.9	7.9	5.3	5.3	2.6	2.6	—	2.6	2.6
農業	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
専業主婦・主夫	104	30.8	20.2	14.4	30.8	—	14.4	6.7	6.7	21.2	1.9	—	—	6.7	3.8
学生	25	40.0	40.0	32.0	28.0	—	24.0	4.0	—	4.0	8.0	—	4.0	4.0	—
無職	165	12.7	19.4	19.4	27.3	—	13.9	8.5	5.5	30.3	1.8	2.4	0.6	13.3	4.2
その他	21	42.9	9.5	23.8	42.9	—	9.5	4.8	—	19.0	—	—	—	9.5	—

【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、5年～10年未満で「時間が足りない・忙しいから」「参加の仕方がわからないから」「活動する仲間がいないから」の割合が、20年～30年未満で「活動に興味がないから」の割合が、1年～5年未満で「参加の仕方がわからないから」「活動内容がわからないから」「閉鎖的で入りづらい雰囲気があるから」の割合が、30年以上で「健康に自信がないから・高齢であるから」の割合が高くなっています。

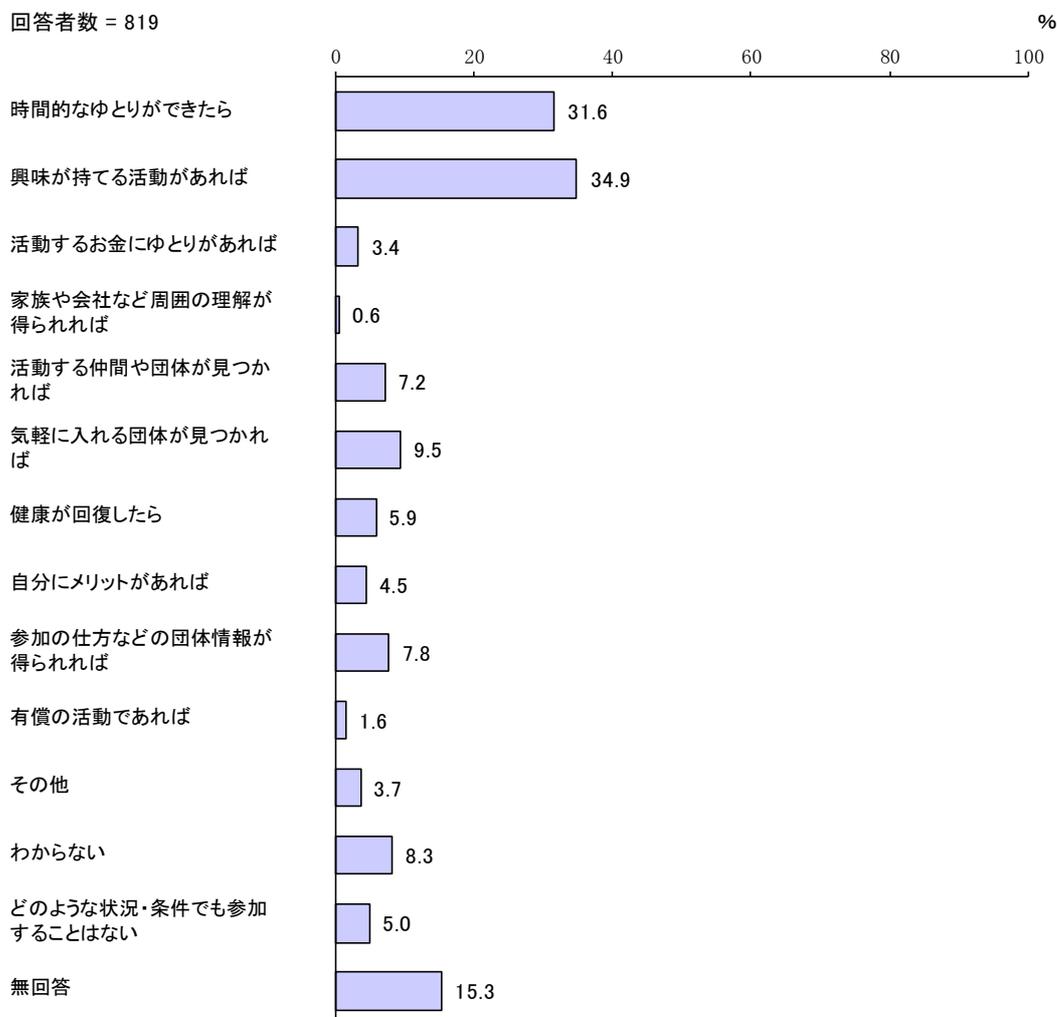
単位：％

区分	有効回答数(件)	時間が足りない・忙しいから	活動に興味がないから	参加の仕方がわからないから	活動内容がわからないから	家族や会社など周囲の理解が得られないから	活動する仲間がいないから	閉鎖的で入りづらい雰囲気があるから	照れくさいから	健康に自信がないから・高齢であるから	自分にメリットがないから	活動するのにお金がかかるから	無償の活動だから	その他	無回答
1年未満	26	42.3	11.5	30.8	26.9	—	7.7	3.8	7.7	3.8	3.8	—	3.8	26.9	7.7
1年～5年未満	88	46.6	17.0	36.4	42.0	1.1	17.0	12.5	5.7	2.3	4.5	2.3	1.1	2.3	5.7
5年～10年未満	101	62.4	20.8	36.6	40.6	—	21.8	5.9	6.9	6.9	5.0	2.0	1.0	5.0	1.0
10年～20年未満	133	56.4	24.8	27.1	30.1	—	15.8	9.0	9.0	7.5	3.8	0.8	2.3	11.3	0.8
20年～30年未満	135	50.4	28.1	20.0	33.3	—	14.1	3.7	4.4	8.9	5.2	1.5	3.7	6.7	4.4
30年以上	330	37.9	21.8	19.4	27.9	0.6	15.8	8.5	3.6	18.5	3.3	1.8	1.5	7.0	3.0

問 24 で「3. 参加したことはない」とお答えの方に伺います

問 24-3 どのような状況・条件になれば地域での活動に参加したいと思いますか。(〇は2つまで)

「興味が持てる活動があれば」の割合が 34.9%と最も高く、次いで「時間的なゆとりができたら」の割合が 31.6%となっています。



主なその他意見

- ・ 誘われたら
- ・ 定年後なら OK
- ・ コロナが落ち着いたら
- ・ 子育てがおちつけば など

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、50～59歳で「時間的なゆとりができれば」の割合が、65～69歳で「興味が持てる活動があれば」「参加の仕方などの団体情報が得られれば」の割合が、60～64歳で「活動する仲間や団体が見つければ」の割合が、70～74歳で「気軽に入れる団体が見つければ」の割合が、75歳以上で「健康が回復したら」「どのような状況・条件でも参加することはない」の割合が、20～29歳で「自分にメリットがあれば」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	時間的なゆとりができれば	興味が持てる活動があれば	活動するお金にゆとりがあれば	家族や会社など周囲の理解が得られれば	活動する仲間や団体が見つければ	気軽に入れる団体が見つければ	健康が回復したら	自分にメリットがあれば	参加の仕方などの団体情報が得られれば	有償の活動であれば	その他	わからない	どのような状況・条件でも参加することはない	無回答
18～19歳	12	16.7	25.0	—	—	8.3	8.3	—	8.3	8.3	—	—	16.7	8.3	16.7
20～29歳	65	30.8	32.3	1.5	—	7.7	6.2	4.6	10.8	9.2	3.1	3.1	1.5	6.2	15.4
30～39歳	133	34.6	36.8	3.0	0.8	4.5	7.5	—	8.3	6.8	1.5	3.8	4.5	3.0	25.6
40～49歳	142	39.4	40.1	6.3	—	7.0	7.0	2.8	4.9	8.5	1.4	3.5	7.0	4.2	15.5
50～59歳	140	51.4	34.3	3.6	0.7	5.7	9.3	1.4	5.0	7.1	2.1	3.6	7.1	2.9	11.4
60～64歳	59	42.4	27.1	5.1	—	11.9	10.2	3.4	—	11.9	—	—	10.2	3.4	15.3
65～69歳	64	18.8	45.3	4.7	1.6	9.4	9.4	7.8	1.6	15.6	1.6	1.6	7.8	6.3	14.1
70～74歳	69	21.7	39.1	2.9	1.4	8.7	21.7	10.1	2.9	8.7	1.4	2.9	11.6	1.4	10.1
75歳以上	131	6.9	26.7	0.8	0.8	7.6	9.2	19.1	0.8	2.3	0.8	7.6	15.3	10.7	12.2

【職業別】

職業別でみると、他に比べ、会社員・公務員（正規雇用）で「時間的なゆとりができたら」の割合が、専業主婦・主夫で「興味が持てる活動があれば」の割合が、パート・アルバイト・内職で「活動する仲間や団体が見つければ」の割合が、自営業・自由業で「気軽に入れる団体が見つければ」の割合が、無職で「健康が回復したら」の割合が、学生で「自分にメリットがあれば」の割合が、会社・団体等の役員で「参加の仕方などの団体情報が得られれば」「どのような状況・条件でも参加することはない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	時間的なゆとりが できたら	興味が持てる活動 があれば	活動するお金にゆ とりがあれば	家族や会社など周 囲の理解が得られ れば	活動する仲間や団 体が見つければ	気軽に入れる団 体が見つければ	健康が回復したら	自分にメリッ トがあれば	参加の仕方な どの団体情報が 得られれば	有償の活動であ れば	その他	わからない	どのような状況・ 条件でも参加す ることはない	無回答
会社員・公務員 (正規雇用)	284	42.3	35.2	3.2	0.4	7.0	7.4	0.4	7.0	7.0	2.1	3.5	4.6	3.2	19.4
派遣社員・契約 社員・嘱託社員	40	40.0	37.5	2.5	—	5.0	10.0	2.5	2.5	2.5	—	2.5	5.0	5.0	15.0
パート・アルバ イト・内職	117	40.2	32.5	7.7	1.7	11.1	6.8	1.7	4.3	12.0	0.9	0.9	8.5	3.4	17.9
会社・団体等 の役員	13	38.5	15.4	—	—	—	7.7	—	—	15.4	—	—	15.4	15.4	7.7
自営業・自由業	38	39.5	28.9	2.6	—	7.9	18.4	2.6	—	7.9	—	2.6	7.9	7.9	13.2
農業	1	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
専業主婦・主夫	104	25.0	46.2	3.8	1.0	5.8	7.7	10.6	3.8	5.8	2.9	2.9	9.6	5.8	10.6
学生	25	20.0	40.0	—	—	8.0	12.0	8.0	12.0	12.0	—	—	8.0	—	12.0
無職	165	7.3	30.9	2.4	0.6	7.3	13.9	16.4	2.4	9.1	1.2	5.5	14.5	7.9	11.5
その他	21	42.9	42.9	—	—	4.8	4.8	4.8	—	—	—	19.0	9.5	—	9.5

【居住年数別】

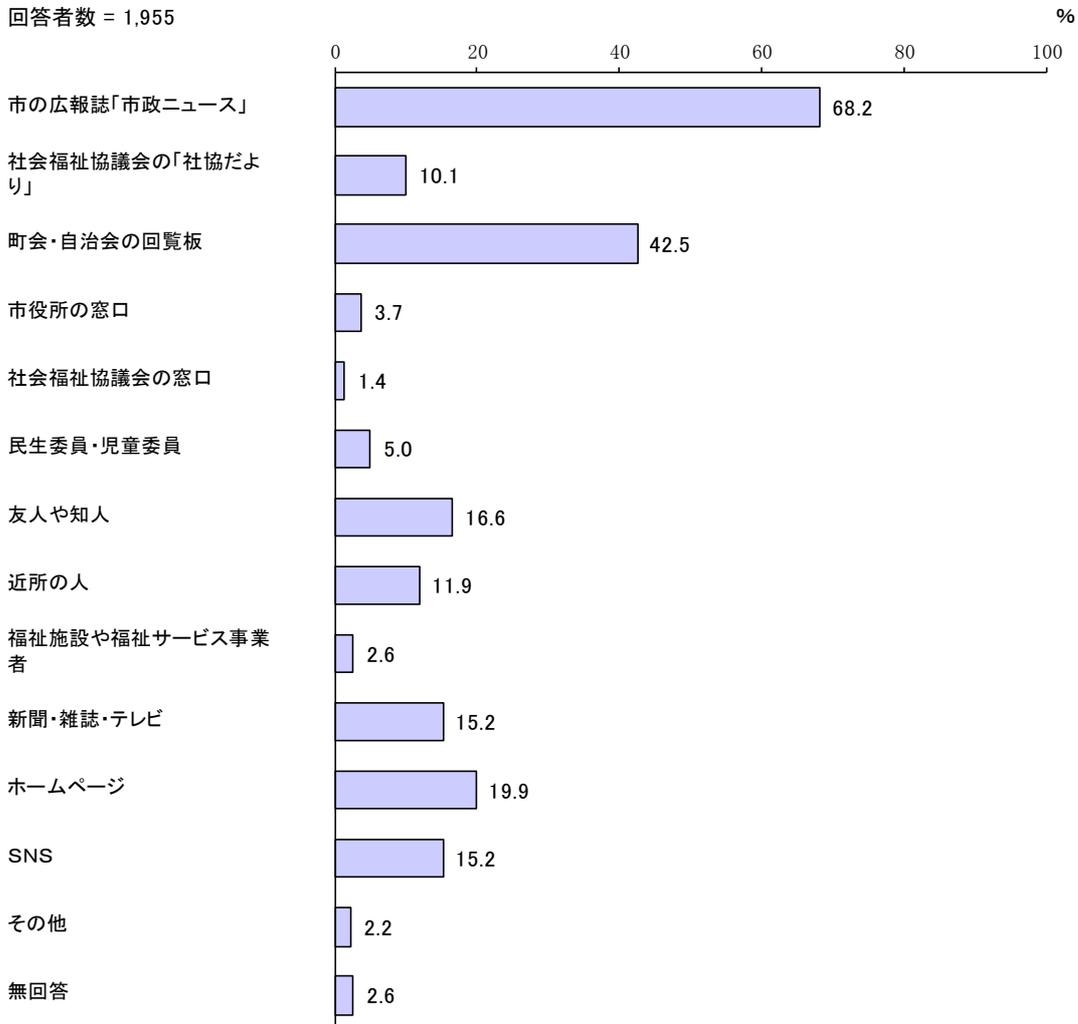
居住年数別でみると、他に比べ、20年～30年未満で「時間的なゆとりができたなら」「興味が持てる活動があれば」の割合が、1年未満で「自分にメリットがあれば」「参加の仕方などの団体情報が得られれば」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	時間的なゆとりができたなら	興味が持てる活動があれば	活動するお金にゆとりがあれば	家族や会社など周囲の理解が得られれば	活動する仲間や団体が見つければ	気軽に入れる団体が見つければ	健康が回復したら	自分にメリットがあれば	参加の仕方などの団体情報が得られれば	有償の活動であれば	その他	わからない	どのような状況・条件でも参加することはない	無回答
1年未満	26	26.9	19.2	7.7	—	7.7	7.7	—	11.5	11.5	3.8	3.8	11.5	3.8	11.5
1年～5年未満	88	29.5	36.4	1.1	—	9.1	11.4	1.1	5.7	6.8	1.1	3.4	4.5	8.0	22.7
5年～10年未満	101	38.6	37.6	3.0	—	6.9	8.9	4.0	4.0	5.0	—	4.0	5.9	3.0	19.8
10年～20年未満	133	33.8	34.6	3.0	0.8	6.8	9.0	6.0	5.3	7.5	1.5	2.3	7.5	3.8	18.8
20年～30年未満	135	39.3	40.7	4.4	0.7	5.9	7.4	3.7	6.7	7.4	2.2	3.7	7.4	3.0	11.9
30年以上	330	26.1	33.3	3.6	0.9	7.6	10.3	9.1	2.7	9.1	1.8	4.2	10.3	6.4	11.8

問 25 あなたは、ボランティアや市民活動の情報を誰（どこ）からなら入手しやすいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「市の広報誌「市政ニュース」」の割合が 68.2%と最も高く、次いで「町会・自治会の回覧板」の割合が 42.5%、「ホームページ」の割合が 19.9%となっています。



主なその他意見

- ・ 図書館
- ・ 団地の掲示板や駅のポスターなど
- ・ 宮っ子 など

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60～64歳で「市の広報誌「市政ニュース」」の割合が、75歳以上で「社会福祉協議会の「社協だより」」「民生委員・児童委員」の割合が、70～74歳で「近所の人」の割合が、50～59歳で「新聞・雑誌・テレビ」「ホームページ」の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「町会・自治会の回覧板」の割合が高くなる傾向がみられます。一方、年齢が低くなるほど「友人や知人」「SNS」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	市の広報誌「市政 ニュース」	社会福祉協議会の 「社協だより」	町会・自治会の回覧 板	市役所の窓口	社会福祉協議会の 窓口	民生委員・児童委員	友人や知人	近所の人	福祉施設や福祉サ ービス事業者	新聞・雑誌・テレビ	ホームページ	SNS	その他	無回答
18～19歳	27	40.7	7.4	33.3	—	—	—	33.3	11.1	—	3.7	29.6	33.3	—	—
20～29歳	131	41.2	3.1	32.1	0.8	0.8	4.6	24.4	13.7	3.8	13.0	19.1	40.5	1.5	—
30～39歳	231	62.3	4.3	30.7	1.7	—	3.0	15.2	10.8	1.7	12.6	25.1	31.2	4.3	1.7
40～49歳	320	68.1	7.2	37.8	2.8	0.9	2.5	15.9	10.0	2.2	15.0	30.9	25.0	2.8	0.9
50～59歳	339	75.8	9.1	41.6	6.5	1.8	3.8	11.2	7.4	3.2	18.6	31.3	16.2	1.2	1.8
60～64歳	156	81.4	10.3	41.0	1.9	0.6	1.9	19.9	10.9	3.2	16.7	23.1	7.1	0.6	—
65～69歳	164	68.3	14.0	45.1	5.5	1.8	2.4	17.1	11.0	0.6	13.4	15.9	6.7	2.4	1.8
70～74歳	216	78.7	12.5	55.6	5.1	—	7.4	18.5	16.7	1.9	15.7	7.9	1.9	1.9	2.8
75歳以上	359	66.0	16.7	51.0	3.9	3.9	11.1	16.2	15.6	3.9	15.9	3.3	0.8	2.2	7.5

【地域活動への参加の有無別】

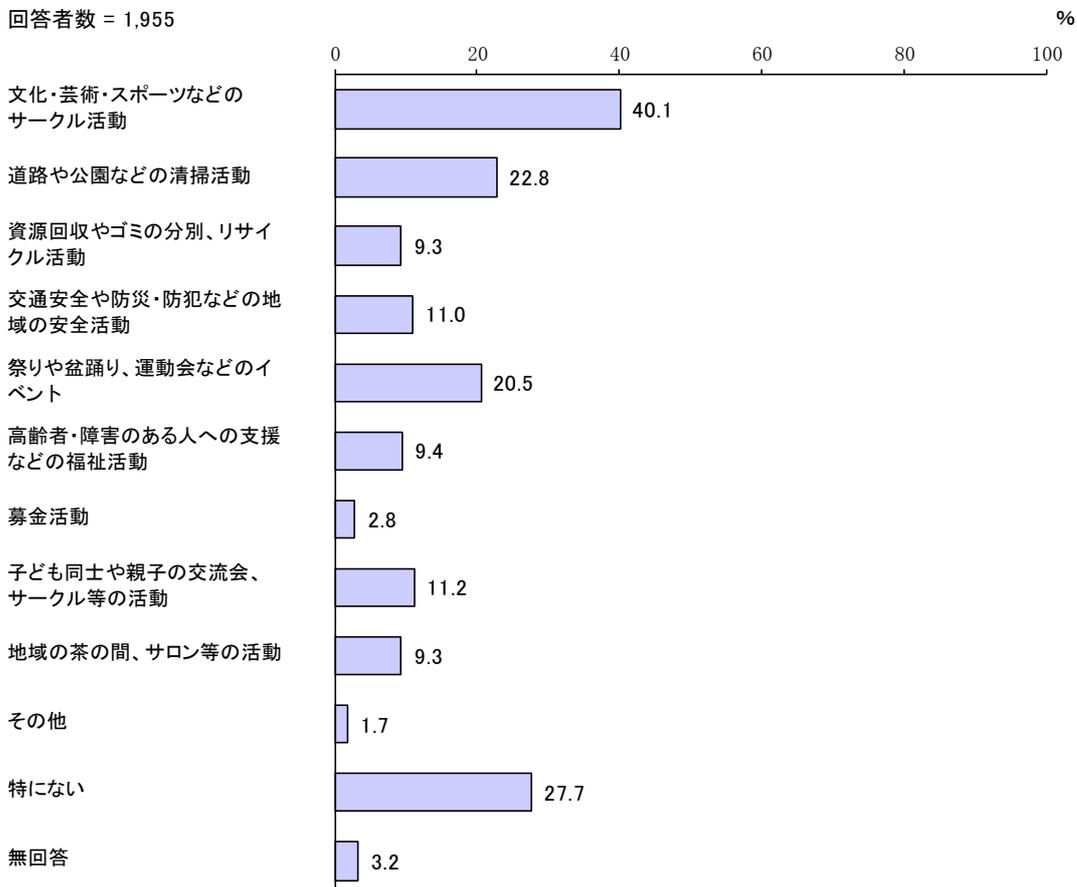
地域活動への参加の有無別でみると、他に比べ、現在参加しているで「市の広報誌「市政ニュース」「社会福祉協議会の「社協だより」「町会・自治会の回覧板」「民生委員・児童委員」「友人や知人」「近所の人」の割合が、参加したことはないで「ホームページ」「SNS」の割合が、地域での活動がないで「SNS」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	市の広報誌「市政ニュース」	社会福祉協議会の「社協だより」	町会・自治会の回覧板	市役所の窓口	社会福祉協議会の窓口	民生委員・児童委員	友人や知人	近所の人	福祉施設や福祉サービス事業者	新聞・雑誌・テレビ	ホームページ	SNS	その他	無回答
現在参加している	304	72.4	20.4	63.2	4.6	3.3	10.5	27.6	21.4	1.3	13.2	14.5	6.3	1.6	2.0
過去に参加したことがある	699	71.0	10.2	51.6	2.9	1.0	4.0	16.6	12.4	2.3	17.5	19.5	16.3	2.1	1.7
参加したことはない	819	66.5	6.7	30.9	3.9	0.6	3.7	13.2	8.9	2.7	14.7	22.6	17.8	2.0	2.2
地域での活動がない	110	61.8	8.2	19.1	6.4	5.5	4.5	12.7	4.5	7.3	12.7	21.8	17.3	4.5	3.6

問 26 あなたは、地域で行われている以下の活動の中で、機会があれば参加したいもの
 がありますか。(あてはまるものすべてに○)

「文化・芸術・スポーツなどのサークル活動」の割合が 40.1%と最も高く、次いで「特にない」の割合が 27.7%、「道路や公園などの清掃活動」の割合が 22.8%となっています。



主なその他意見

- ・ バザー、フリマ
- ・ ボランティア活動
- ・ 野良猫、野生鳥獣の保護活動
- ・ 子供の貧困を解決する為の市主導による活動
- ・ 自治会、甲防連の防犯、防災担当 など

【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	文化・芸術・スポーツなどのサークル活動	道路や公園などの清掃活動	資源回収やゴミの分別、リサイクル活動	交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動	祭りや盆踊り、運動会などのイベント	高齢者・障害のある人への支援などの福祉活動	募金活動	子ども同士や親子の交流会、サークル等の活動	地域の茶の間、サロン等の活動	その他	特にない	無回答
男性	812	40.4	25.6	10.0	15.3	22.0	7.0	3.2	10.2	5.7	1.6	28.8	2.7
女性	1122	40.1	20.9	8.7	7.9	19.4	11.0	2.5	12.1	11.9	1.7	27.0	3.4
その他	1	—	100.0	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18～19歳で「文化・芸術・スポーツなどのサークル活動」「祭りや盆踊り、運動会などのイベント」の割合が、60～64歳で「道路や公園などの清掃活動」の割合が、70～74歳で「資源回収やゴミの分別、リサイクル活動」「交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動」の割合が、50～59歳で「高齢者・障害のある人への支援などの福祉活動」の割合が、30～39歳で「子ども同士や親子の交流会、サークル等の活動」の割合が、75歳以上で「地域の茶の間、サロン等の活動」「特にない」の割合が、20～29歳で「特にない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	文化・芸術・スポーツなどのサークル活動	道路や公園などの清掃活動	資源回収やゴミの分別、リサイクル活動	交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動	祭りや盆踊り、運動会などのイベント	高齢者・障害のある人への支援などの福祉活動	募金活動	子ども同士や親子の交流会、サークル等の活動	地域の茶の間、サロン等の活動	その他	特にない	無回答
18～19歳	27	59.3	11.1	3.7	3.7	44.4	—	3.7	7.4	7.4	3.7	18.5	—
20～29歳	131	41.2	17.6	5.3	5.3	30.5	3.8	1.5	10.7	5.3	2.3	32.8	—
30～39歳	231	43.7	19.9	6.5	12.1	40.3	6.1	2.2	42.4	5.2	2.2	19.5	1.3
40～49歳	320	39.7	18.1	11.3	11.3	27.8	9.4	1.3	20.0	5.9	2.5	26.6	0.3
50～59歳	339	42.5	24.5	7.7	12.7	15.9	14.2	2.1	5.9	8.6	1.5	29.8	1.8
60～64歳	156	48.7	28.8	11.5	13.5	14.1	10.9	1.9	5.1	9.6	0.6	23.1	1.3
65～69歳	164	40.2	26.8	7.3	10.4	9.8	9.1	3.7	1.2	10.4	1.2	31.1	3.0
70～74歳	216	43.1	26.4	12.5	12.0	14.8	10.6	3.2	1.4	11.1	1.4	25.5	2.8
75歳以上	359	28.4	23.1	10.9	10.3	11.7	8.4	5.3	2.2	15.6	1.7	32.6	10.3

【職業別】

職業別でみると、他に比べ、派遣社員・契約社員・嘱託社員で「文化・芸術・スポーツなどのサークル活動」「高齢者・障害のある人への支援などの福祉活動」の割合が、会社・団体等の役員で「交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動」「地域の茶の間、サロン等の活動」の割合が、学生で「祭りや盆踊り、運動会などのイベント」の割合が、会社員・公務員（正規雇用）で「子ども同士や親子の交流会、サークル等の活動」の割合が、無職で「特にない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	文化・芸術・スポーツなどのサークル活動	道路や公園などの清掃活動	資源回収やゴミの分別、リサイクル活動	交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動	祭りや盆踊り、運動会などのイベント	高齢者・障害のある人への支援などの福祉活動	募金活動	子ども同士や親子の交流会、サークル等の活動	地域の茶の間、サロン等の活動	その他	特にない	無回答
会社員・公務員（正規雇用）	541	44.9	23.8	9.1	13.1	27.7	7.8	1.3	21.4	6.5	1.3	24.8	0.7
派遣社員・契約社員・嘱託社員	104	51.0	22.1	11.5	13.5	20.2	15.4	1.9	6.7	1.9	1.9	26.9	1.0
パート・アルバイト・内職	289	43.3	21.5	9.3	10.7	20.8	13.5	2.8	13.1	12.1	2.4	26.3	2.4
会社・団体等の役員	42	35.7	23.8	4.8	19.0	19.0	7.1	4.8	9.5	19.0	—	23.8	2.4
自営業・自由業	93	37.6	22.6	6.5	14.0	23.7	8.6	3.2	10.8	10.8	5.4	26.9	2.2
農業	2	—	50.0	—	—	50.0	—	—	—	—	—	50.0	—
専業主婦・主夫	333	37.5	22.2	9.3	7.5	17.4	10.2	4.2	9.9	12.3	0.9	28.2	3.6
学生	69	49.3	21.7	8.7	1.4	40.6	2.9	4.3	7.2	4.3	1.4	26.1	—
無職	417	30.7	22.5	9.8	10.6	9.1	7.4	2.9	1.0	10.3	1.7	33.1	7.4
その他	43	41.9	30.2	9.3	18.6	32.6	14.0	7.0	4.7	9.3	2.3	25.6	2.3

【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、10年～20年未満で「文化・芸術・スポーツなどのサークル活動」「道路や公園などの清掃活動」「交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動」の割合が、30年以上で「資源回収やゴミの分別、リサイクル活動」の割合が、5年～10年未満で「祭りや盆踊り、運動会などのイベント」「子ども同士や親子の交流会、サークル等の活動」の割合が、20年～30年未満で「特にない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	文化・芸術・スポーツなどのサークル活動	道路や公園などの清掃活動	資源回収やゴミの分別、リサイクル活動	交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動	祭りや盆踊り、運動会などのイベント	高齢者・障害のある人への支援などの福祉活動	募金活動	子ども同士や親子の交流会、サークル等の活動	地域の茶の間、サロン等の活動	その他	特にない	無回答
1年未満	40	45.0	5.0	—	5.0	30.0	7.5	2.5	27.5	7.5	—	25.0	2.5
1年～5年未満	143	37.8	21.0	5.6	11.2	27.3	4.2	1.4	29.4	7.7	1.4	29.4	1.4
5年～10年未満	174	45.4	23.6	7.5	12.1	32.8	8.6	1.7	31.0	6.3	2.3	24.7	1.7
10年～20年未満	344	47.7	24.7	9.3	13.7	25.9	9.0	2.0	14.0	8.4	1.7	20.1	1.7
20年～30年未満	347	39.8	20.7	8.1	8.1	19.6	8.1	2.0	7.5	6.3	2.9	33.1	1.7
30年以上	896	36.4	23.4	10.8	11.4	15.0	10.9	3.8	4.2	11.8	1.3	29.1	4.9

【地域活動への参加の有無別】

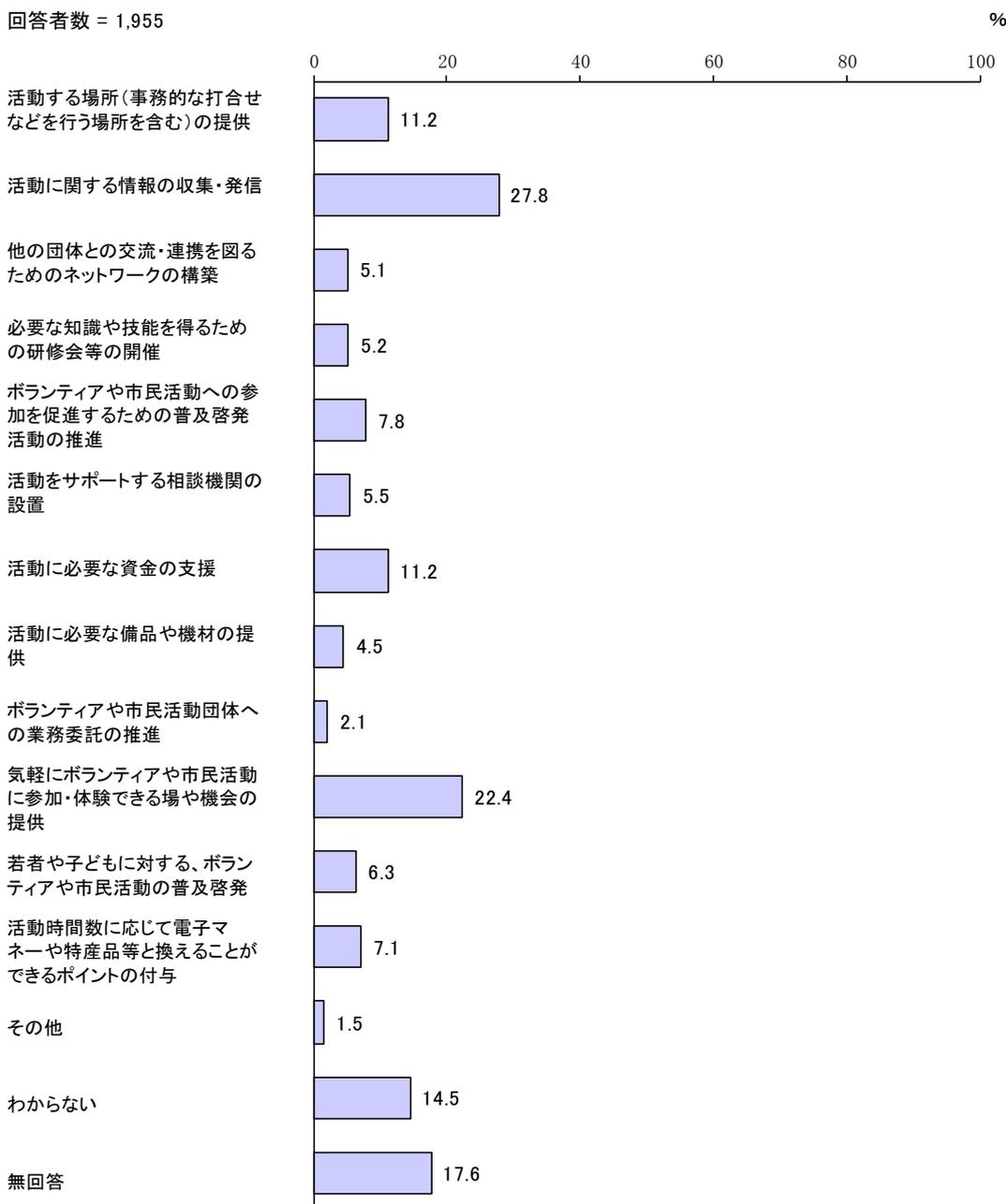
地域活動への参加の有無別でみると、他に比べ、現在参加しているで「文化・芸術・スポーツなどのサークル活動」「道路や公園などの清掃活動」「資源回収やゴミの分別、リサイクル活動」「交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動」「祭りや盆踊り、運動会などのイベント」「高齢者・障害のある人への支援などの福祉活動」「地域の茶の間、サロン等の活動」の割合が、地域での活動がないで「特にない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	文化・芸術・スポーツなどのサークル活動	道路や公園などの清掃活動	資源回収やゴミの分別、リサイクル活動	交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動	祭りや盆踊り、運動会などのイベント	高齢者・障害のある人への支援などの福祉活動	募金活動	子ども同士や親子の交流会、サークル等の活動	地域の茶の間、サロン等の活動	その他	特にない	無回答
現在参加している	304	48.0	37.2	17.1	15.8	32.2	15.8	7.6	14.8	15.1	0.7	16.1	3.6
過去に参加したことがある	699	42.5	24.3	9.3	12.6	24.2	10.2	2.0	9.4	11.3	2.0	22.7	2.9
参加したことはない	819	36.9	16.8	7.0	8.5	13.7	7.3	1.7	12.0	5.7	1.7	34.8	1.8
地域での活動がない	110	31.8	18.2	5.5	8.2	17.3	2.7	1.8	9.1	7.3	2.7	41.8	3.6

問 27 今後、ボランティアや市民活動をさらに活性化していくために、市はどのような施策を展開することが望ましいと思いますか。(〇は2つまで)

「活動に関する情報の収集・発信」の割合が27.8%と最も高く、次いで「気軽にボランティアや市民活動に参加・体験できる場や機会の提供」の割合が22.4%、「わからない」の割合が14.5%となっています。



主なその他意見

- ・ 市民を巻き込むための企画立案
- ・ リーダーの育成
- ・ 市が経済を回していくことだと思います (ボランティアに参加できる余裕が生まれるので人が増えるかもしれません) など

【地域活動への参加の有無別】

地域活動への参加の有無別でみると、他に比べ、現在参加しているで「活動する場所（事務的な打合せなどを行う場所を含む）の提供」「活動に必要な資金の支援」の割合が、参加したことはないで「活動に関する情報の収集・発信」の割合が、過去に参加したことがあるで「気軽にボランティアや市民活動に参加・体験できる場や機会の提供」の割合が、地域での活動がないで「活動時間数に応じて電子マネーや特産品等と換えることができるポイントの付与」の割合が高くなっています。

単位：％

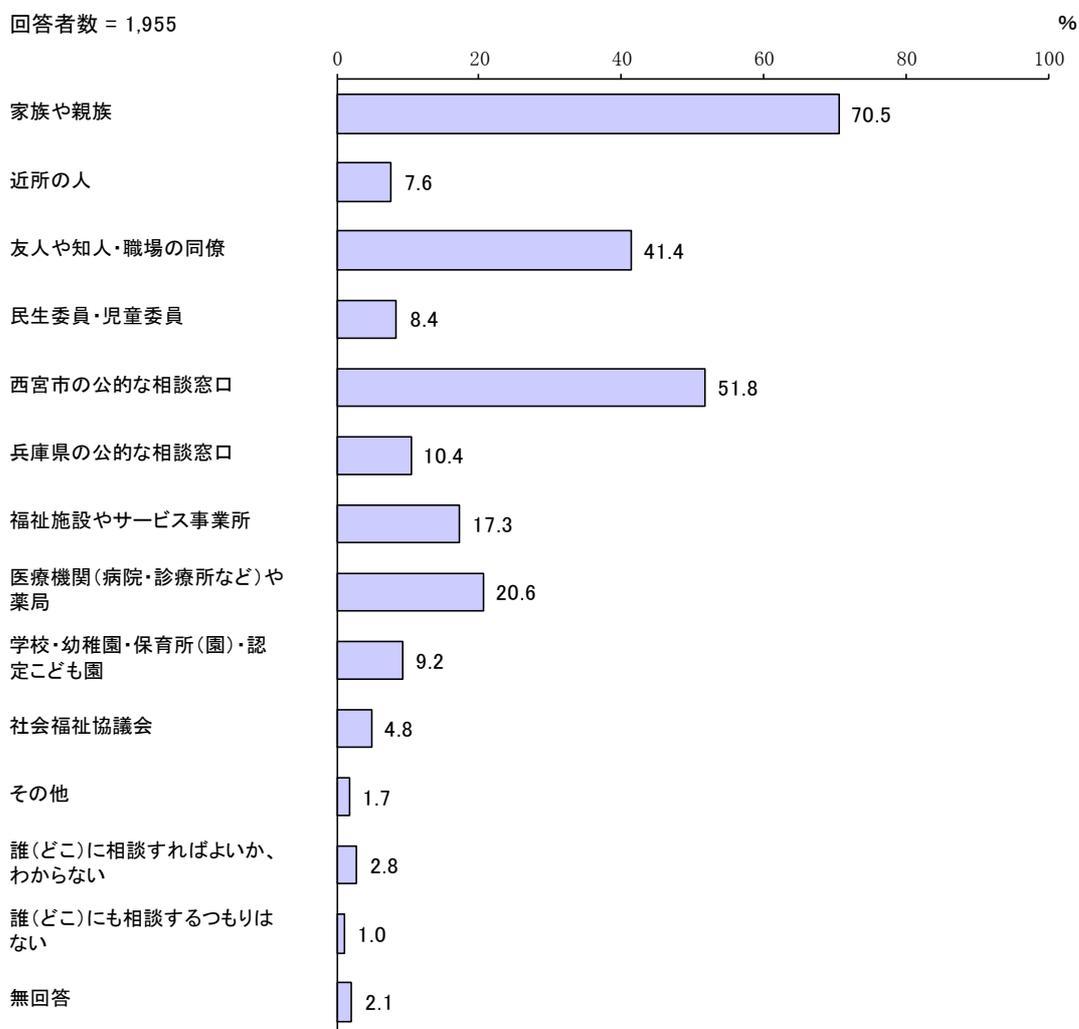
区分	有効回答数（件）	活動する場所（事務的な打合せなどを行う場所を含む）の提供	活動に関する情報の収集・発信	他の団体との交流・連携を図るためのネットワークの構築	必要な知識や技能を得るための研修会等の開催	ボランティアや市民活動への参加を促進するための普及啓発活動の推進	活動をサポートする相談機会の設置	活動に必要な資金の支援
現在参加している	304	16.1	24.7	6.6	6.6	8.6	4.6	17.1
過去に参加したことがある	699	12.2	27.9	5.9	6.2	6.9	5.6	11.3
参加したことはない	819	9.0	30.3	3.9	3.9	8.5	5.6	9.3
地域での活動がない	110	9.1	20.9	5.5	4.5	7.3	7.3	10.9

区分	活動に必要な備品や機材の提供	ボランティアや市民活動団体への業務委託の推進	気軽にボランティアや市民活動に参加・体験できる場や機会の提供	若者や子どもに対する、ボランティアや市民活動の普及啓発	活動時間数に応じて電子マネーや特産品等と換えることができるポイントの付与	その他	わからない	無回答
現在参加している	4.9	1.3	22.0	7.6	4.9	1.0	7.6	23.0
過去に参加したことがある	4.9	3.1	24.0	6.4	5.9	1.7	12.0	18.0
参加したことはない	3.8	1.7	22.1	5.9	8.8	1.6	18.6	14.3
地域での活動がない	6.4	0.9	17.3	6.4	10.0	0.9	20.0	16.4

(5) 悩みごとや福祉に関する相談先について

問 28 あなたは福祉、介護、子育てなどに関して困ったときに、誰（どこ）に相談しようと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「家族や親族」の割合が70.5%と最も高く、次いで「西宮市の公的な相談窓口」の割合が51.8%、「友人や知人・職場の同僚」の割合が41.4%となっています。



主なその他意見

- ・ ヘルパー ケアマネ
- ・ ネットの情報を参考にする
- ・ SNS など

【年齢別】

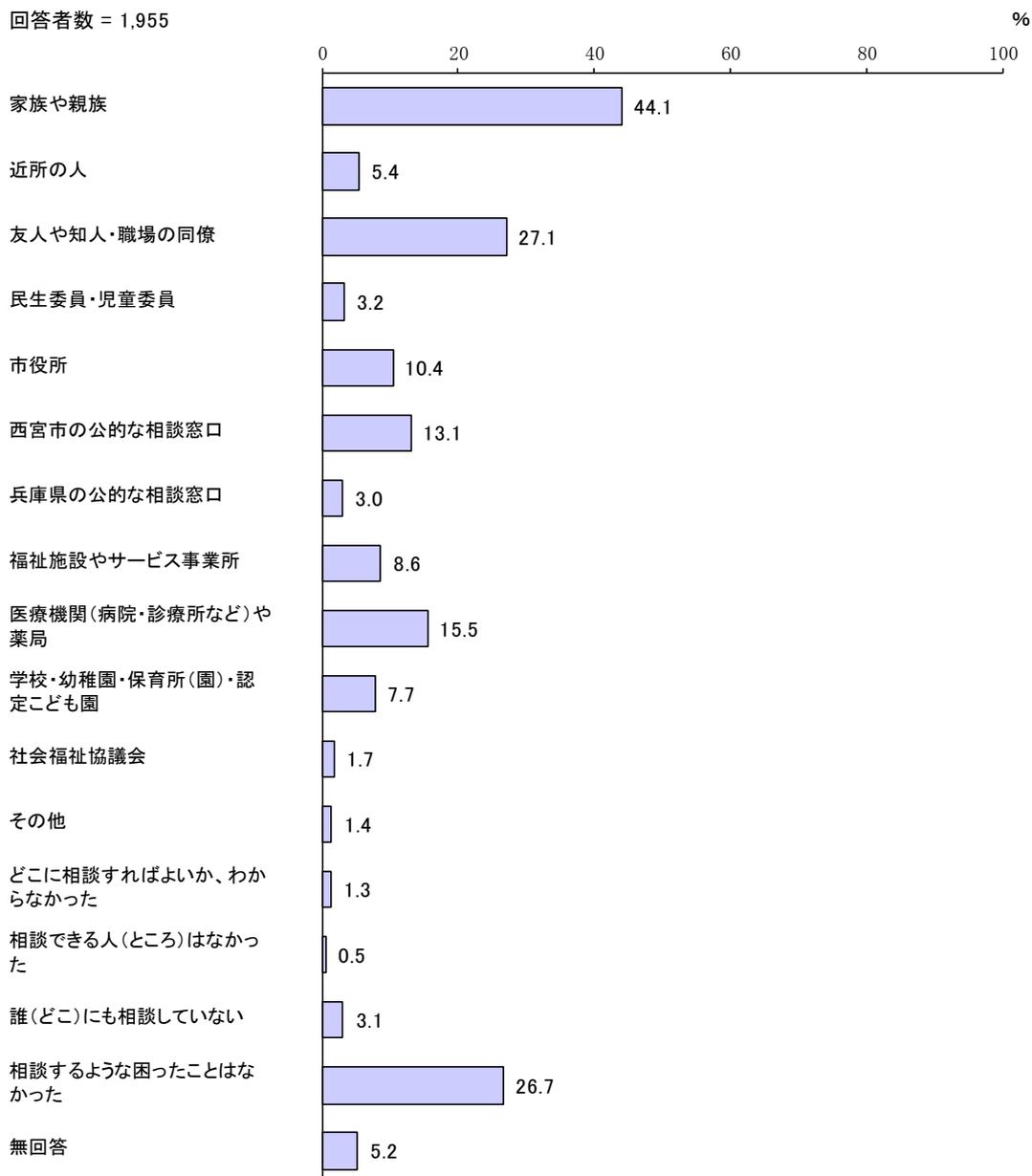
年齢別で見ると、他に比べ、20～29歳で「家族や親族」の割合が、18～19歳で「近所の人」の割合が、30～39歳で「友人や知人・職場の同僚」「学校・幼稚園・保育所（園）・認定こども園」の割合が、75歳以上で「民生委員・児童委員」「医療機関（病院・診療所など）や薬局」の割合が、70～74歳で「西宮市の公的な相談窓口」「福祉施設やサービス事業所」の割合が、50～59歳で「兵庫県の公的な相談窓口」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	家族や親族	近所の人	友人や知人・ 職場の同僚	民生委員・ 児童委員	西宮市の公的な 相談窓口	兵庫県の公的な 相談窓口	福祉施設やサー ビス事業所	医療機関（病 院・診療所な ど）や薬局	学校・幼 稚園・保 育所（園） ・認定こ ども園	社会福祉協 議会	その他	誰（どこ）に 相談すればよ いかわから ない	誰（どこ）に も相談するつ も りはない	無回答
18～19歳	27	77.8	11.1	48.1	—	14.8	7.4	7.4	22.2	3.7	7.4	—	7.4	7.4	—
20～29歳	131	90.8	1.5	56.5	3.1	27.5	3.1	5.3	9.9	9.2	—	1.5	0.8	2.3	—
30～39歳	231	85.7	6.9	65.4	0.9	34.6	6.1	7.8	19.9	30.3	1.7	2.6	1.7	0.9	1.3
40～49歳	320	80.3	8.8	53.8	3.1	49.7	9.7	12.5	22.2	22.2	2.5	1.3	2.5	1.3	1.3
50～59歳	339	69.6	7.1	52.2	3.8	62.8	16.5	21.5	21.8	5.6	4.4	1.5	4.1	0.3	0.9
60～64歳	156	60.9	9.0	41.7	10.3	65.4	14.1	20.5	19.2	2.6	4.5	—	1.9	—	0.6
65～69歳	164	61.0	5.5	25.0	4.9	54.9	13.4	22.6	18.9	—	7.3	1.8	4.3	2.4	1.8
70～74歳	216	64.8	10.6	28.2	14.8	67.1	11.6	25.9	18.5	0.9	6.0	0.9	2.3	0.9	1.4
75歳以上	359	57.7	8.4	14.8	21.4	49.3	7.2	20.1	25.1	0.3	8.6	3.1	3.1	0.6	6.4

問 29 これまでに福祉、介護、子育てなどで困ったときに、あなたが実際に相談したことがある人（ところ）がありますか。（あてはまるものすべてに○）

「家族や親族」の割合が44.1%と最も高く、次いで「友人や知人・職場の同僚」の割合が27.1%、「相談するような困ったことはなかった」の割合が26.7%となっています。



主なその他意見

- ・ ボランティアでやっている団体
- ・ 子育てで困ったときは子供の健康診断で相談した
- ・ カウンセラー
- ・ 民間相談機関
- ・ ネットでしらべた など

【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「家族や親族」「友人や知人・職場の同僚」の割合が、女性に比べ、男性で「相談するような困ったことはなかった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	家族や親族	近所の人	友人や知人・職場の 同僚	民生委員・児童委員	市役所	西宮市の公的な相 談窓口	兵庫県の公的な相 談窓口	福祉施設やサービ ス事業所
男性	812	37.6	4.8	19.7	2.8	10.2	13.1	2.3	9.2
女性	1122	49.5	5.9	32.9	3.5	10.4	13.3	3.6	8.1
その他	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—

区分	医療機関（病院・診 療所など）や薬局	学校・幼稚園・保育 所（園）・認定こど も園	社会福祉協議会	その他	どこに相談すれば よいか、わからな かった	相談できる人（とこ ろ）はなかった	誰（どこ）にも相談 していない	相談するような困 ったことはなかつ た	無回答
男性	16.6	5.9	1.4	0.9	1.8	0.4	4.1	31.5	4.7
女性	14.7	9.1	1.9	1.8	0.9	0.5	2.4	23.1	5.3
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18～19歳で「相談するような困ったことはなかった」の割合が、30～39歳で「家族や親族」「友人や知人・職場の同僚」「学校・幼稚園・保育所（園）・認定こども園」の割合が、60～64歳で「市役所」「福祉施設やサービス事業所」の割合が、65～69歳で「市役所」の割合が、70～74歳で「西宮市の公的な相談窓口」の割合が、75歳以上「医療機関（病院・診療所など）や薬局」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	家族や親族	近所の人	友人や知人・職場の 同僚	民生委員・児童委員	市役所	西宮市の公的な 相談窓口	兵庫県の公的な 相談窓口	福祉施設やサービ ス事業所
18～19歳	27	7.4	—	3.7	—	—	3.7	—	3.7
20～29歳	131	29.0	0.8	13.7	0.8	1.5	3.1	—	0.8
30～39歳	231	65.8	6.9	47.6	0.4	5.6	9.1	3.9	3.5
40～49歳	320	63.1	8.1	45.0	2.8	9.4	12.8	5.0	4.7
50～59歳	339	49.0	5.3	35.4	2.7	12.7	15.3	4.4	10.9
60～64歳	156	39.1	7.7	30.8	7.1	15.4	15.4	3.8	13.5
65～69歳	164	31.7	4.3	16.5	1.8	15.9	12.2	3.0	12.8
70～74歳	216	31.5	4.2	14.8	1.4	13.4	17.6	1.4	11.1
75歳以上	359	33.7	4.5	7.5	7.2	10.0	14.8	1.4	11.1

区分	医療機関（病院・診療所など）や薬局	学校・幼稚園・保育所（園）・認定こども園	社会福祉協議会	その他	どこに相談すればよいか、わからなかった	相談できる人（ところ）はなかった	誰（どこ）にも相談していない	相談するようない困ったことはなかった	無回答
18～19歳	3.7	3.7	3.7	—	3.7	—	—	77.8	3.7
20～29歳	3.8	0.8	—	0.8	0.8	—	5.3	59.5	1.5
30～39歳	13.0	20.8	1.3	2.2	0.9	0.9	1.3	23.4	0.9
40～49歳	14.4	18.1	0.3	0.9	1.9	0.9	1.9	20.0	1.3
50～59歳	16.2	8.0	1.2	3.2	1.2	—	1.5	22.1	2.4
60～64歳	19.9	4.5	1.9	—	1.3	—	3.8	19.9	3.2
65～69歳	14.6	1.2	2.4	1.2	2.4	1.2	4.3	30.5	1.8
70～74歳	16.7	2.3	1.9	0.5	1.4	0.9	2.8	31.9	10.6
75歳以上	20.3	0.3	3.3	1.1	0.6	—	5.3	21.4	14.2

【世帯構成別】

世帯構成別でみると、他に比べ、3世代世帯（親と子と孫）で「家族や親族」「市役所」の割合が、2世代世帯（親と子）で「友人や知人・職場の同僚」の割合が、夫婦のみの世帯で「相談するような困ったことはなかった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	家族や親族	近所の人	友人や知人・職場の 同僚	民生委員・児童委員	市役所	西宮市の公的な相 談窓口	兵庫県の公的な相 談窓口	福祉施設やサービ ス事業所
ひとり世帯	295	31.5	3.4	12.2	4.7	11.9	11.5	1.4	10.5
夫婦のみの世帯	549	33.9	2.6	15.7	2.7	11.3	12.2	2.0	10.0
2世代世帯(親と子)	996	53.2	7.7	37.8	2.7	8.3	13.8	3.9	6.7
3世代世帯(親と子と孫)	62	54.8	4.8	33.9	4.8	22.6	14.5	4.8	11.3
その他	39	41.0	2.6	20.5	10.3	20.5	20.5	5.1	20.5

区分	医療機関(病院・診 療所など)や薬局	学校・幼稚園・保育 所(園)・認定こ ども園	社会福祉協議会	その他	どこに相談すれば よいか、わからな かった	相談できる人(とこ ろ)はなかった	誰(どこ)にも相談 していない	相談するような困 ったことはなかつ た	無回答
ひとり世帯	15.9	1.7	2.0	1.4	0.7	1.4	5.1	29.8	10.8
夫婦のみの世帯	14.6	1.5	1.3	0.9	1.8	0.4	4.4	34.6	5.5
2世代世帯(親と子)	15.9	13.0	1.7	1.6	1.1	0.3	1.8	21.7	3.3
3世代世帯(親と子と孫)	12.9	12.9	1.6	1.6	1.6	—	1.6	27.4	4.8
その他	23.1	—	—	2.6	2.6	—	2.6	20.5	2.6

【居住地域別】

居住地域別でみると、他に比べ、段上西地区で「家族や親族」の割合が、南甲子園地区で「近所の人」の割合が、高木地区で「友人や知人・職場の同僚」の割合が、芦原地区で「市役所」の割合が、北六甲台地区で「西宮市の公的な相談窓口」「相談するような困ったことはなかった」の割合が、山口地区で「西宮市の公的な相談窓口」の割合が、小松地区で「兵庫県の公的な相談窓口」の割合が、鳴尾西地区で「福祉施設やサービス事業所」の割合が、上甲子園地区で「医療機関（病院・診療所など）や薬局」の割合が、甲東地区で「学校・幼稚園・保育所（園）・認定こども園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	家族や親族	近所の人	友人や知人・ 職場の 同僚	民生委員・児童委員	市役所	西宮市の公的な 相談 窓口	兵庫県の公的な 相 談窓 口	福祉施設やサービ ス事業所
浜脇地区	68	50.0	5.9	29.4	7.4	14.7	14.7	1.5	5.9
香櫨園地区	58	48.3	3.4	29.3	—	13.8	10.3	1.7	5.2
安井地区	49	49.0	4.1	32.7	6.1	6.1	10.2	2.0	2.0
用海地区	46	45.7	4.3	34.8	—	10.9	15.2	4.3	10.9
西宮浜地区	27	51.9	3.7	25.9	3.7	14.8	3.7	—	3.7
今津地区	62	37.1	11.3	21.0	4.8	16.1	12.9	8.1	12.9
春風地区	59	40.7	3.4	25.4	5.1	8.5	11.9	1.7	1.7
津門地区	55	47.3	1.8	27.3	5.5	14.5	14.5	3.6	12.7
芦原地区	23	47.8	4.3	17.4	—	17.4	13.0	—	13.0
広田地区	69	37.7	5.8	27.5	1.4	15.9	14.5	2.9	8.7
平木地区	29	48.3	6.9	34.5	—	13.8	17.2	—	3.4
大社地区	73	46.6	6.8	31.5	4.1	11.0	16.4	2.7	9.6
神原地区	30	36.7	—	26.7	—	6.7	16.7	—	13.3
甲陽園地区	67	49.3	3.0	28.4	—	9.0	17.9	7.5	9.0
夙川地区	72	38.9	8.3	25.0	1.4	2.8	9.7	1.4	6.9
北夙川・苦楽園地区	66	47.0	3.0	25.8	3.0	9.1	15.2	—	9.1
鳴尾西地区	33	42.4	—	27.3	3.0	6.1	15.2	3.0	21.2
鳴尾北地区	88	43.2	6.8	29.5	6.8	13.6	12.5	3.4	6.8

単位：%

区分	有効回答数 (件)	家族や親族	近所の人	同僚 友人や知人・職場の	民生委員・児童委員	市役所	西宮市の公的な相 談窓口	兵庫県の公的な相 談窓口	福祉施設やサービ ス事業所
小松地区	50	38.0	2.0	28.0	6.0	6.0	8.0	10.0	4.0
鳴尾東地区	42	35.7	4.8	19.0	—	7.1	14.3	4.8	9.5
高須地区	74	52.7	8.1	23.0	—	9.5	13.5	2.7	12.2
甲子園浜地区	41	24.4	2.4	24.4	2.4	12.2	12.2	2.4	17.1
南甲子園地区	61	41.0	14.8	31.1	3.3	6.6	8.2	1.6	9.8
上甲子園地区	59	42.4	1.7	28.8	3.4	13.6	13.6	3.4	6.8
瓦木地区	99	37.4	5.1	26.3	5.1	10.1	14.1	1.0	5.1
高木地区	75	57.3	6.7	38.7	—	8.0	17.3	2.7	2.7
甲東地区	68	45.6	5.9	25.0	1.5	8.8	11.8	1.5	10.3
段上地区	42	38.1	11.9	16.7	9.5	7.1	16.7	2.4	9.5
段上西地区	49	59.2	2.0	30.6	4.1	6.1	10.2	4.1	12.2
樋ノ口地区	41	56.1	9.8	24.4	4.9	12.2	14.6	—	9.8
上ヶ原地区	79	43.0	3.8	25.3	2.5	11.4	13.9	5.1	7.6
生瀬地区	40	30.0	2.5	15.0	2.5	7.5	5.0	—	10.0
名塩地区	41	41.5	4.9	29.3	2.4	12.2	14.6	4.9	14.6
東山台地区	29	51.7	6.9	31.0	3.4	10.3	13.8	6.9	13.8
山口地区	21	57.1	4.8	23.8	—	4.8	19.0	9.5	19.0
北六甲台地区	21	28.6	4.8	28.6	—	9.5	19.0	4.8	4.8

単位：%

区分	医療機関（病院・診療所など）や薬局	学校・幼稚園・保育所（園）・認定こども園	社会福祉協議会	その他	どこに相談すればよいか、わからなかった	相談できる人（ところ）はなかった	誰（どこ）にも相談していない	相談するようになったことはなかった	無回答
浜脇地区	13.2	4.4	—	1.5	—	—	4.4	23.5	5.9
香櫨園地区	15.5	8.6	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	22.4	6.9
安井地区	14.3	6.1	2.0	4.1	4.1	—	2.0	28.6	—
用海地区	13.0	10.9	4.3	—	2.2	4.3	—	26.1	8.7
西宮浜地区	22.2	7.4	—	3.7	—	—	7.4	18.5	3.7
今津地区	11.3	4.8	3.2	1.6	—	—	4.8	27.4	4.8
春風地区	8.5	11.9	1.7	1.7	1.7	—	1.7	27.1	11.9
津門地区	10.9	9.1	3.6	—	—	—	5.5	23.6	1.8
芦原地区	8.7	8.7	—	—	8.7	—	4.3	17.4	8.7
広田地区	15.9	5.8	4.3	2.9	1.4	1.4	2.9	23.2	1.4
平木地区	10.3	—	—	3.4	—	—	3.4	24.1	—
大社地区	12.3	4.1	1.4	1.4	—	—	2.7	31.5	4.1
神原地区	6.7	6.7	—	3.3	—	3.3	—	23.3	6.7
甲陽園地区	20.9	9.0	1.5	1.5	—	1.5	4.5	23.9	4.5
夙川地区	13.9	6.9	1.4	1.4	1.4	1.4	4.2	30.6	8.3
北夙川・苦楽園地区	18.2	12.1	3.0	—	3.0	1.5	1.5	24.2	3.0
鳴尾西地区	12.1	6.1	—	—	3.0	—	9.1	27.3	3.0
鳴尾北地区	11.4	8.0	2.3	1.1	1.1	—	4.5	26.1	3.4

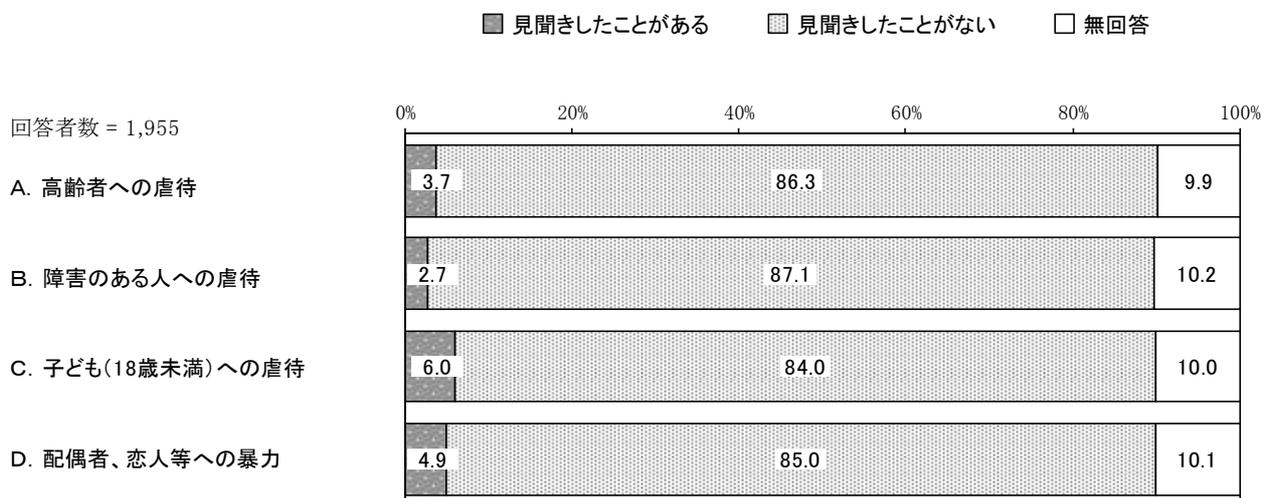
単位：％

区分	医療機関（病院・診療所など）や薬局	学校・幼稚園・保育所（園）・認定こども園	社会福祉協議会	その他	どこに相談すればよいか、わからなかった	相談できる人（ところ）はなかった	誰（どこ）にも相談していない	相談するようになったことはなかった	無回答
小松地区	20.0	8.0	—	—	—	—	4.0	32.0	8.0
鳴尾東地区	11.9	7.1	—	—	2.4	—	4.8	19.0	16.7
高須地区	21.6	6.8	—	—	1.4	—	4.1	27.0	2.7
甲子園浜地区	19.5	2.4	—	2.4	2.4	—	2.4	36.6	14.6
南甲子園地区	21.3	6.6	1.6	1.6	1.6	—	1.6	31.1	6.6
上甲子園地区	25.4	8.5	1.7	1.7	—	—	—	27.1	5.1
瓦木地区	19.2	6.1	2.0	1.0	2.0	—	1.0	29.3	7.1
高木地区	10.7	10.7	—	2.7	—	—	4.0	24.0	2.7
甲東地区	13.2	16.2	5.9	—	1.5	—	1.5	29.4	5.9
段上地区	16.7	4.8	—	—	2.4	2.4	2.4	33.3	2.4
段上西地区	20.4	4.1	—	—	—	—	4.1	22.4	4.1
樋ノ口地区	22.0	9.8	2.4	4.9	—	—	2.4	22.0	9.8
上ヶ原地区	17.7	8.9	2.5	1.3	2.5	—	3.8	27.8	1.3
生瀬地区	17.5	5.0	—	—	—	—	5.0	35.0	2.5
名塩地区	12.2	9.8	4.9	—	—	—	2.4	31.7	4.9
東山台地区	17.2	10.3	—	3.4	—	—	—	17.2	3.4
山口地区	19.0	14.3	—	—	4.8	—	—	23.8	—
北六甲台地区	9.5	9.5	—	—	—	—	—	42.9	4.8

(6) 社会的な課題について

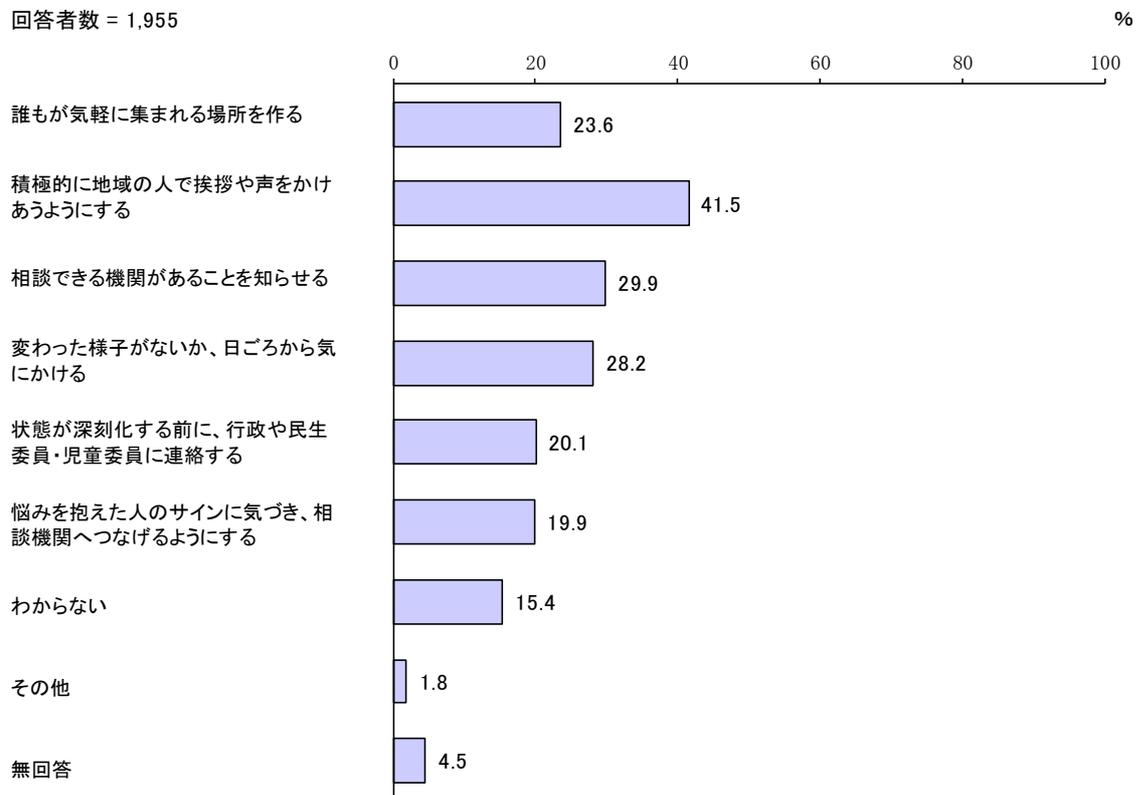
問 30 あなたは身近な地域で、下記のA～Dに示す虐待等について見聞きしたことがありますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

『A. 高齢者への虐待』『B. 障害のある人への虐待』『C. 子ども(18歳未満)への虐待』『D. 配偶者、恋人等への暴力』で「見聞きしたことがない」の割合が高くなっています。



問 31 社会的孤立が課題となっていますが、あなたは地域住民の一員としてこの課題に対して、どのようなことができると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「積極的に地域の人で挨拶や声をかけあうようにする」の割合が 41.5%と最も高く、次いで「相談できる機関があることを知らせる」の割合が 29.9%、「変わった様子がないか、日ごろから気にかける」の割合が 28.2%となっています。

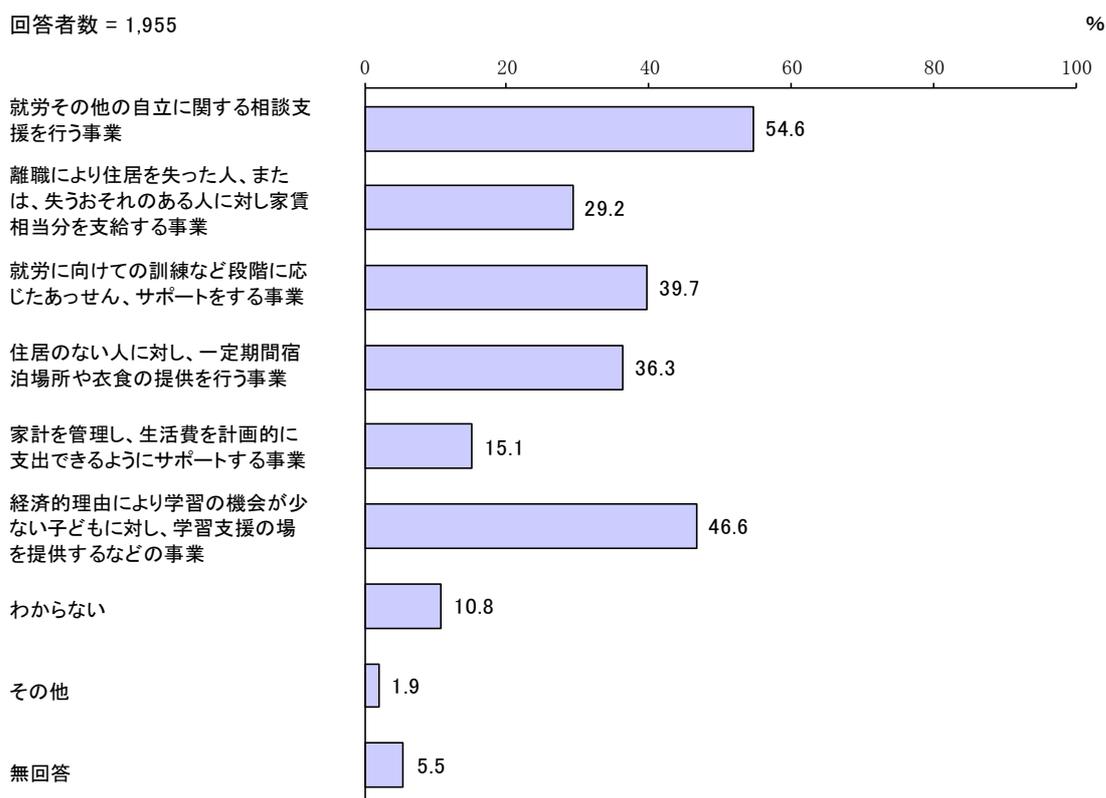


主なその他意見

- ・ SNS で発信させる（外に出ていかないから）
- ・ 近所にどういった住民がいるのか知る機会をつくる
- ・ 友だちをつくるのが大切
- ・ 気軽に参加できる地域別のオンラインサロンを作る など

問 32 就労や心身の状況、地域社会との関係性などの事情で、経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することが困難になったとして、必要と思われる支援内容は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「就労その他の自立に関する相談支援を行う事業」の割合が 54.6%と最も高く、次いで「経済的理由により学習の機会が少ない子どもに対し、学習支援の場を提供するなどの事業」の割合が 46.6%、「就労に向けての訓練など段階に応じたあっせん、サポートをする事業」の割合が 39.7%となっています。



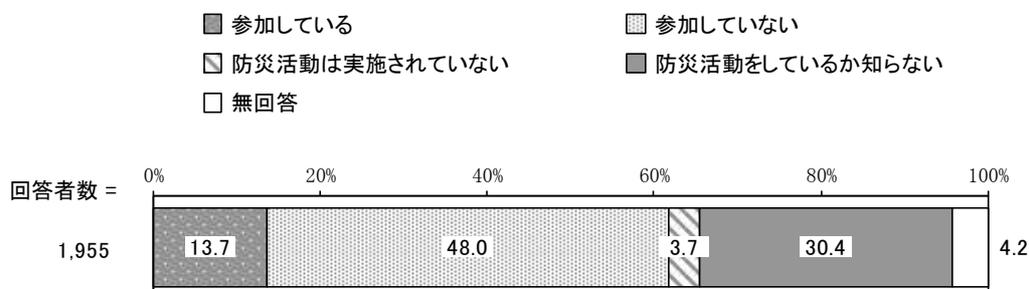
主なその他意見

- ・ 生活保護
 - ・ きちんと相談できる場所
 - ・ フードバンクを、市主導で設立し運営する。
 - ・ 困っている人を見出す、声をかける、相談にのる相談に動けない人に歩みより話しかける人をふやす
 - ・ 空家がこれだけあるのだから一時的な住まいとしてもっと活用すれば良いと思う
- など

(7) 災害発生時における助け合い活動について

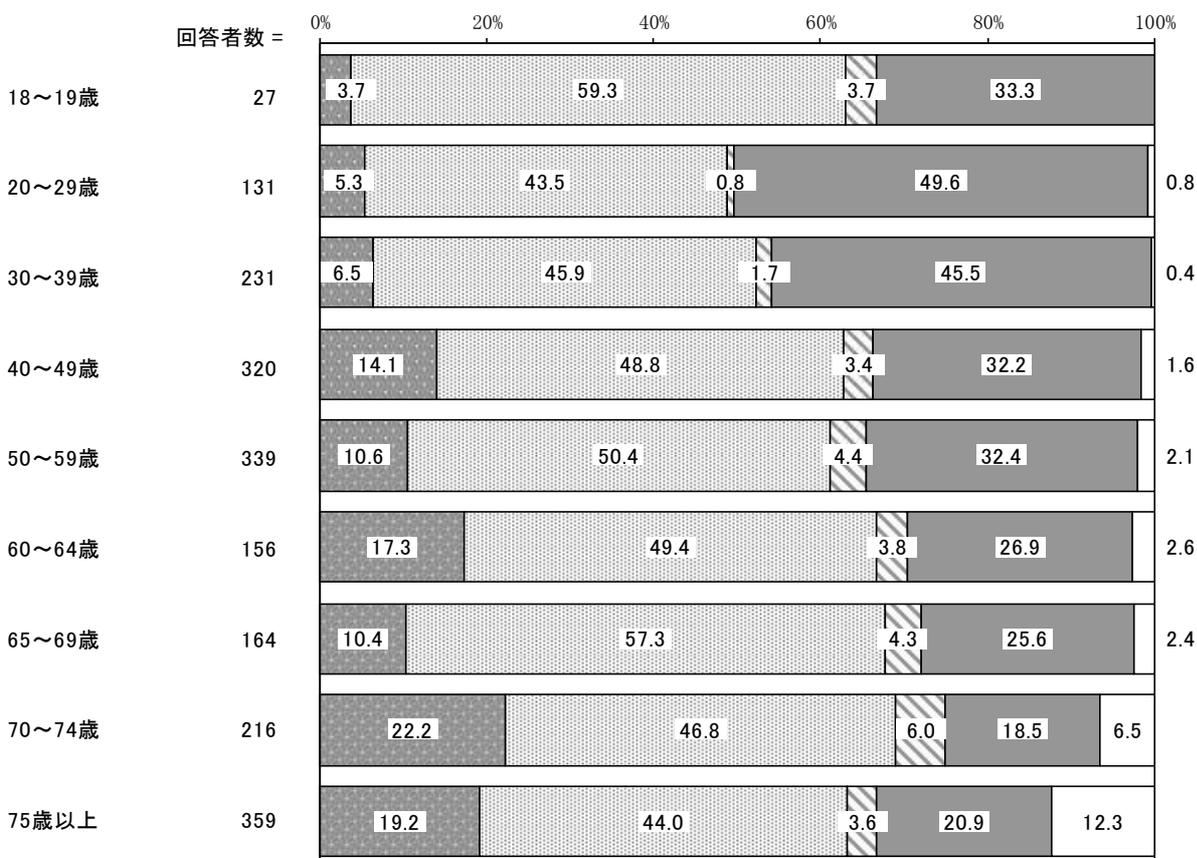
問 33 あなたは住んでいる身近な地域の防災活動に参加されていますか。(○は1つだけ)

「参加していない」の割合が48.0%と最も高く、次いで「防災活動をしているか知らない」の割合が30.4%、「参加している」の割合が13.7%となっています。



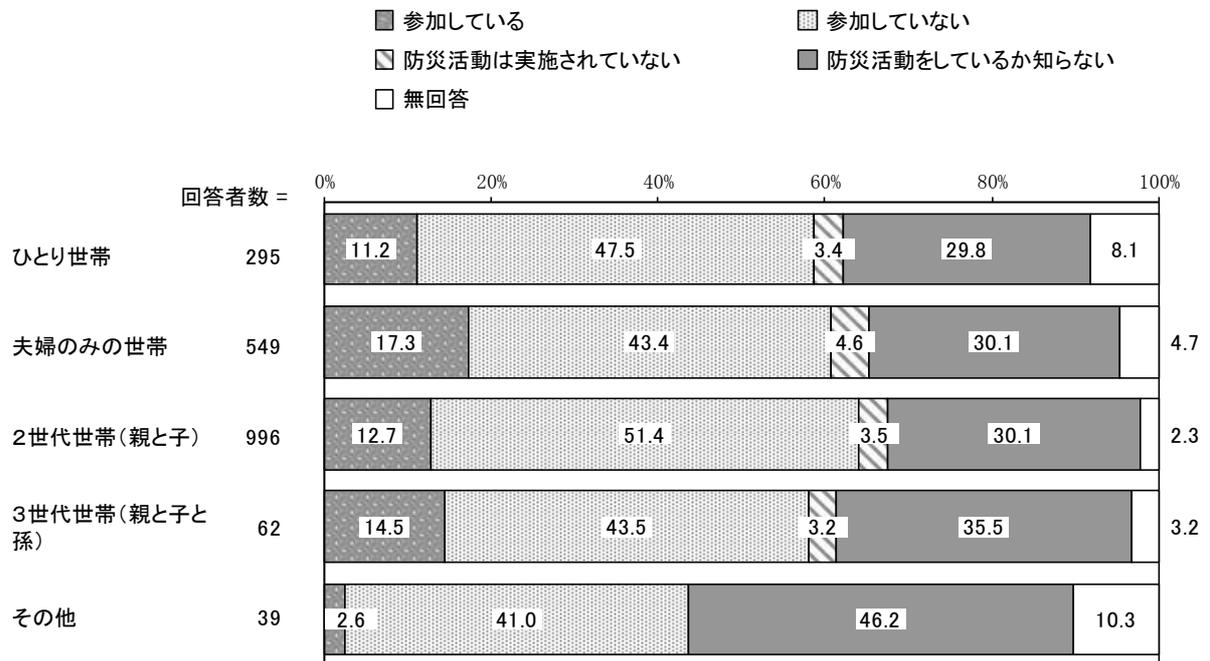
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「参加している」の割合が高くなる傾向がみられます。一方、年齢が低くなるほど「防災活動をしているか知らない」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、18～19歳で「参加していない」の割合が高くなっています。



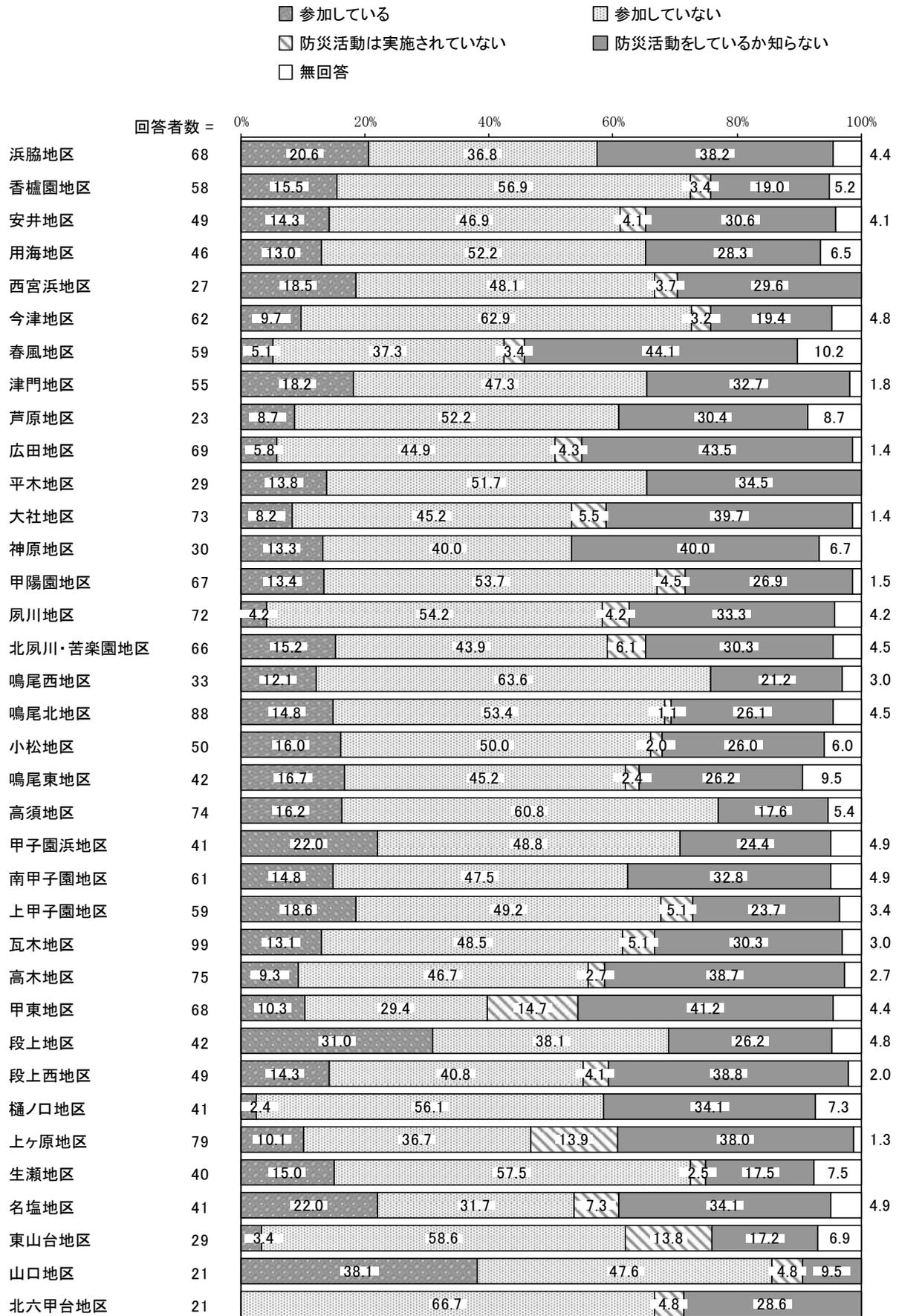
【世帯構成別】

世帯構成別で見ると、他に比べ、夫婦のみの世帯で「参加している」の割合が、2世代世帯（親と子）で「参加していない」の割合が高くなっています。



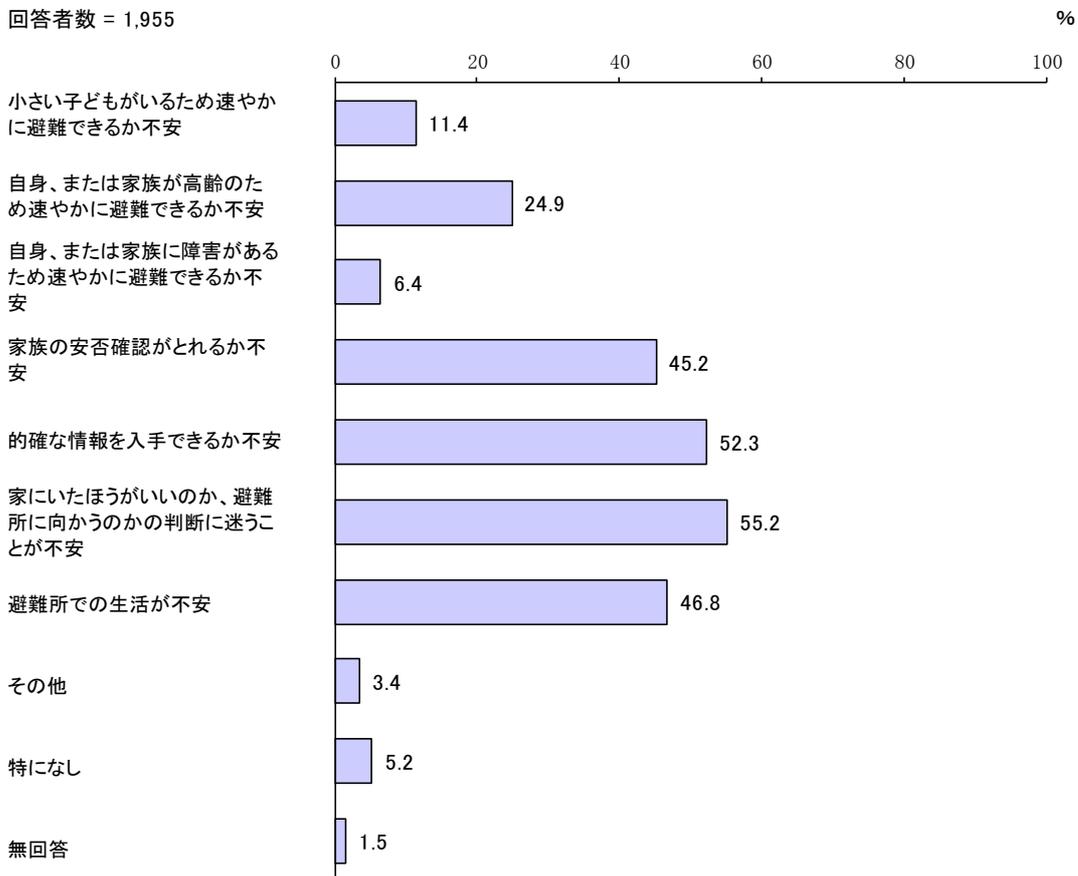
【居住地域別】

居住地域別でみると、他に比べ、山口地区で「参加している」の割合が、北六甲台地区で「参加していない」の割合が、春風地区で「防災活動をしているか知らない」の割合が高くなっています。



問 34 災害時にあなたが不安に感じることはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「家にいたほうがいいのか、避難所に向かうのかの判断に迷うことが不安」の割合が 55.2%と最も高く、次いで「的確な情報を入手できるか不安」の割合が 52.3%、「避難所での生活が不安」の割合が 46.8%となっています。



主なその他意見

- ・ 避難場所がない（近くに）
- ・ ペットとの避難
- ・ 地震で建物が倒壊しないか不安
- ・ 避難所に入りきれぬのか不安
- ・ 避難所の安全性 など

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30～39歳で「小さい子どもがいるため速やかに避難できるか不安」「家にいたほうがいいのか、避難所に向かうのかの判断に迷うことが不安」「避難所での生活が不安」の割合が、75歳以上で「自身、または家族が高齢のため速やかに避難できるか不安」「自身、または家族に障害があるため速やかに避難できるか不安」の割合が、40～49歳で「家族の安否確認がとれるか不安」の割合が、50～59歳で「的確な情報を入手できるか不安」の割合が、18～19歳で「避難所での生活が不安」「特になし」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	小さい子どもがいるため速やかに避難できるか不安	自身、または家族が高齢のため速やかに避難できるか不安	自身、または家族に障害があるため速やかに避難できるか不安	家族の安否確認がとれるか不安	的確な情報を入手できるか不安	家にいたほうがいいのか、避難所に向かうのかの判断に迷うことが不安	避難所での生活が不安	その他	特になし	無回答
18～19歳	27	3.7	11.1	7.4	55.6	44.4	51.9	55.6	7.4	11.1	3.7
20～29歳	131	7.6	6.1	2.3	54.2	51.9	55.0	47.3	2.3	5.3	0.8
30～39歳	231	58.0	5.2	1.7	51.5	53.2	69.3	55.8	2.6	3.5	0.4
40～49歳	320	21.6	10.0	5.0	62.2	53.8	60.6	48.8	5.0	2.2	1.6
50～59歳	339	1.2	18.3	5.3	58.4	63.4	53.4	49.9	6.5	4.1	0.6
60～64歳	156	1.3	21.2	8.3	43.6	62.8	55.1	53.2	—	3.8	1.9
65～69歳	164	—	20.1	7.3	32.3	54.9	51.2	48.8	3.0	9.1	1.8
70～74歳	216	—	35.2	9.7	29.6	47.2	50.0	38.9	1.4	8.8	1.9
75歳以上	359	0.6	61.8	10.3	25.3	38.4	47.9	36.8	2.5	5.8	2.5

【世帯構成別】

世帯構成別でみると、他に比べ、2世代世帯（親と子）で「小さい子どもがいるため速やかに避難できるか不安」「家族の安否確認がとれるか不安」の割合が、3世代世帯（親と子と孫）で「自身、または家族が高齢のため速やかに避難できるか不安」「的確な情報を入手できるか不安」「家にいたほうがいいのか、避難所に向かうのかの判断に迷うことが不安」「避難所での生活が不安」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	小さい子どもがいるため速やかに避難できるか不安	自身、または家族が高齢のため速やかに避難できるか不安	自身、または家族に障害があるため速やかに避難できるか不安	家族の安否確認がとれるか不安	的確な情報を入手できるか不安	家にいたほうがいいのか、避難所に向かうのかの判断に迷うことが不安	避難所での生活が不安	その他	特になし	無回答
ひとり世帯	295	1.0	31.5	6.1	23.1	48.1	54.2	45.8	2.0	7.5	1.0
夫婦のみの世帯	549	2.2	32.1	7.7	38.1	54.5	52.6	44.1	2.9	7.1	1.5
2世代世帯（親と子）	996	20.0	17.1	5.7	55.3	53.1	56.8	48.3	3.1	3.6	1.6
3世代世帯（親と子と孫）	62	11.3	50.0	8.1	53.2	58.1	64.5	53.2	12.9	1.6	1.6
その他	39	2.6	28.2	7.7	46.2	33.3	41.0	43.6	12.8	5.1	—

【居住地域別】

居住地域別でみると、他に比べ、芦原地区で「小さい子どもがいるため速やかに避難できるか不安」「特になし」の割合が、甲子園浜地区で「自身、または家族が高齢のため速やかに避難できるか不安」の割合が、鳴尾西地区で「自身、または家族に障害があるため速やかに避難できるか不安」の割合が、平木地区で「家族の安否確認がとれるか不安」の割合が、西宮浜地区で「的確な情報を入手できるか不安」の割合が、北夙川・苦楽園地区で「家にいたほうがいいのか、避難所に向かうのかの判断に迷うことが不安」の割合が、北六甲台地区で「避難所での生活が不安」の割合が高くなっています。

単位：％

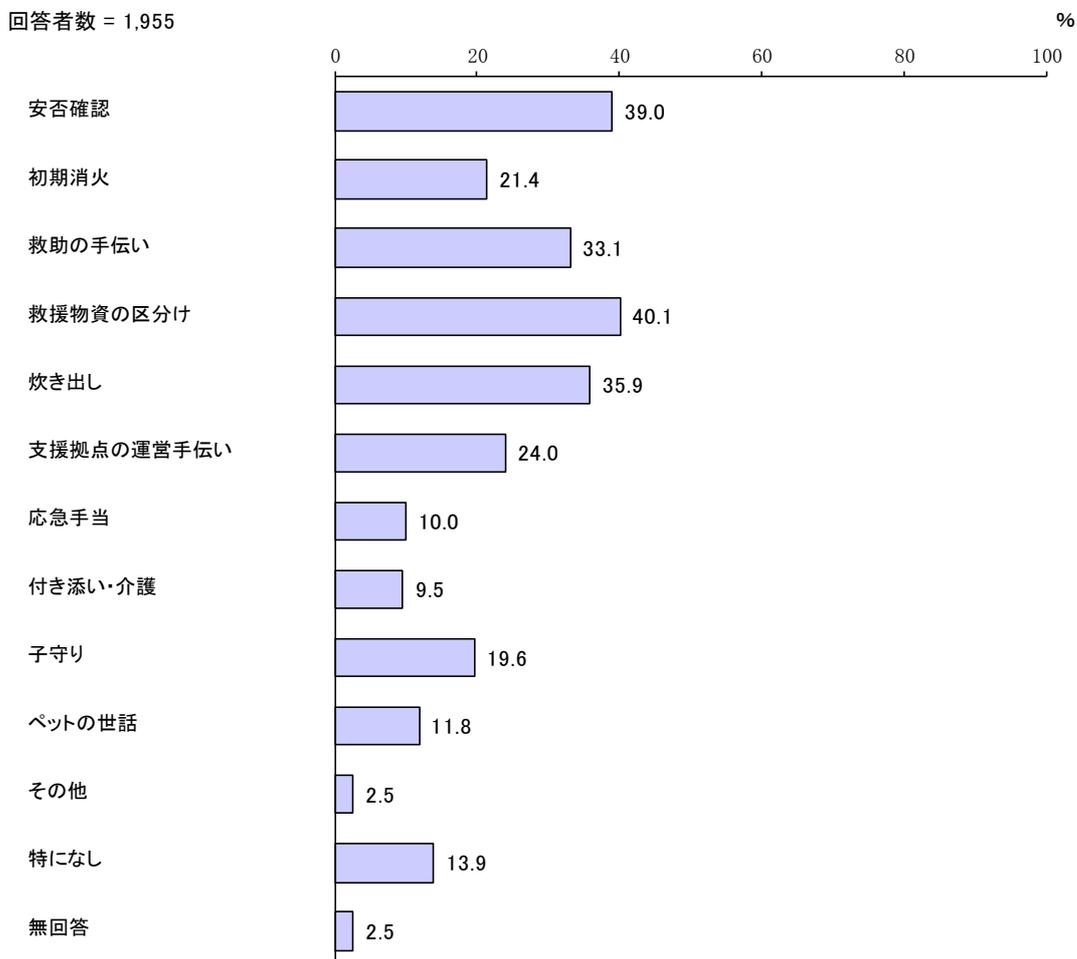
区分	有効回答数(件)	小さい子どもがいるため速やかに避難できるか不安	自身、または家族が高齢のため速やかに避難できるか不安	自身、または家族に障害があるため速やかに避難できるか不安	家族の安否確認がとれるか不安	的確な情報を入手できるか不安	家にいたほうがいいのか、避難所に向かうのかの判断に迷うことが不安	避難所での生活が不安	その他	特になし	無回答
浜脇地区	68	10.3	22.1	10.3	38.2	52.9	55.9	50.0	1.5	8.8	—
香櫨園地区	58	13.8	15.5	3.4	46.6	62.1	53.4	44.8	1.7	3.4	3.4
安井地区	49	14.3	22.4	4.1	38.8	51.0	55.1	42.9	6.1	8.2	2.0
用海地区	46	13.0	23.9	6.5	54.3	56.5	63.0	45.7	4.3	2.2	2.2
西宮浜地区	27	7.4	25.9	14.8	40.7	70.4	51.9	44.4	—	11.1	—
今津地区	62	11.3	32.3	14.5	48.4	53.2	56.5	48.4	1.6	3.2	3.2
春風地区	59	13.6	15.3	5.1	52.5	57.6	55.9	50.8	8.5	6.8	—
津門地区	55	12.7	25.5	10.9	38.2	43.6	63.6	47.3	1.8	5.5	—
芦原地区	23	21.7	34.8	4.3	34.8	30.4	43.5	56.5	—	13.0	4.3
広田地区	69	10.1	26.1	2.9	46.4	50.7	53.6	44.9	2.9	10.1	4.3
平木地区	29	13.8	20.7	3.4	62.1	58.6	58.6	65.5	6.9	3.4	—
大社地区	73	15.1	26.0	8.2	41.1	49.3	52.1	50.7	—	4.1	—
神原地区	30	13.3	33.3	6.7	26.7	30.0	46.7	43.3	10.0	6.7	3.3
甲陽園地区	67	11.9	20.9	6.0	53.7	52.2	50.7	40.3	4.5	4.5	—
夙川地区	72	16.7	25.0	4.2	44.4	52.8	48.6	38.9	1.4	6.9	1.4
北夙川・苦楽園地区	66	10.6	25.8	3.0	51.5	56.1	66.7	47.0	3.0	—	1.5
鳴尾西地区	33	9.1	15.2	15.2	33.3	54.5	51.5	45.5	—	6.1	—
鳴尾北地区	88	10.2	30.7	2.3	48.9	60.2	58.0	47.7	8.0	5.7	2.3

単位：%

区分	有効回答数(件)	小さい子どもがいるため速やかに避難できるか不安	自身、または家族が高齢のため速やかに避難できるか不安	自身、または家族に障害があるため速やかに避難できるか不安	家族の安否確認がとれるか不安	的確な情報を入手できるか不安	家に向かうかの判断に迷うことが不安	避難所での生活が不安	その他	特になし	無回答
小松地区	50	4.0	24.0	10.0	56.0	42.0	54.0	50.0	—	8.0	—
鳴尾東地区	42	9.5	31.0	11.9	50.0	35.7	57.1	35.7	—	7.1	2.4
高須地区	74	8.1	36.5	10.8	50.0	60.8	51.4	45.9	2.7	2.7	1.4
甲子園浜地区	41	4.9	43.9	4.9	43.9	29.3	43.9	43.9	2.4	2.4	2.4
南甲子園地区	61	19.7	26.2	3.3	52.5	57.4	59.0	47.5	6.6	1.6	—
上甲子園地区	59	10.2	23.7	1.7	42.4	47.5	47.5	40.7	5.1	6.8	—
瓦木地区	99	9.1	19.2	8.1	41.4	55.6	64.6	41.4	1.0	5.1	4.0
高木地区	75	18.7	16.0	2.7	44.0	52.0	61.3	53.3	4.0	2.7	—
甲東地区	68	10.3	26.5	4.4	41.2	42.6	57.4	50.0	1.5	7.4	1.5
段上地区	42	7.1	19.0	11.9	52.4	59.5	54.8	47.6	2.4	7.1	2.4
段上西地区	49	16.3	18.4	6.1	46.9	55.1	55.1	55.1	4.1	—	2.0
樋ノ口地区	41	19.5	26.8	9.8	48.8	58.5	61.0	43.9	4.9	2.4	2.4
上ヶ原地区	79	7.6	24.1	3.8	44.3	57.0	60.8	49.4	3.8	5.1	—
生瀬地区	40	7.5	20.0	5.0	45.0	45.0	55.0	52.5	2.5	2.5	2.5
名塩地区	41	4.9	34.1	4.9	39.0	56.1	53.7	48.8	7.3	7.3	2.4
東山台地区	29	—	13.8	3.4	34.5	62.1	41.4	48.3	10.3	3.4	3.4
山口地区	21	4.8	33.3	4.8	33.3	42.9	42.9	28.6	4.8	4.8	—
北六甲台地区	21	14.3	19.0	—	28.6	38.1	61.9	66.7	—	9.5	—

問 35 災害時にあなたが地域のためにできることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「救援物資の区分け」の割合が40.1%と最も高く、次いで「安否確認」の割合が39.0%、「炊き出し」の割合が35.9%となっています。



主なその他意見

- ・ 薬剤師なので薬の相談など
- ・ 自身の子が若い為、その中でできる事、限られるとは思いますが、その少ない中でも手伝える事、出来る事には参戦しようと思います
- ・ 必要があれば何でもやります
- ・ 外国語
- ・ 認知症の見守り
- ・ 荷物などの安全安心を不審者妨げる行為、行動を見守る など

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、40～49歳で「安否確認」「応急手当」の割合が、50～59歳で「初期消火」「支援拠点の運営手伝い」「付き添い・介護」の割合が、60～64歳で「救援物資の区分け」「炊き出し」の割合が、18～19歳で「支援拠点の運営手伝い」「ペットの世話」の割合が、30～39歳で「子守り」の割合が、20～29歳で「ペットの世話」の割合が、75歳以上で「特になし」の割合が高くなっています。また、年齢が低くなるほど「救助の手伝い」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	安否確認	初期消火	救助の手伝い	救援物資の区分け	炊き出し	支援拠点の運営手伝い	応急手当	付き添い・介護	子守り	ペットの世話	その他	特になし	無回答
18～19歳	27	33.3	7.4	48.1	48.1	33.3	29.6	7.4	11.1	33.3	18.5	—	11.1	3.7
20～29歳	131	42.7	19.1	40.5	33.6	37.4	28.2	14.5	11.5	26.0	18.3	3.8	9.9	—
30～39歳	231	42.4	21.2	41.6	39.0	43.3	26.8	14.3	11.7	41.6	14.3	2.6	10.8	1.3
40～49歳	320	44.7	24.4	40.9	45.0	42.5	28.1	16.3	9.7	29.1	13.8	2.2	7.2	1.9
50～59歳	339	40.1	26.8	39.2	47.5	41.6	29.5	9.7	12.7	18.0	13.6	2.1	7.4	1.2
60～64歳	156	35.9	21.8	35.9	51.3	46.8	25.6	8.3	7.7	15.4	11.5	1.9	7.1	0.6
65～69歳	164	38.4	25.6	26.2	39.6	33.5	20.7	4.9	7.9	11.0	9.8	1.8	14.6	3.0
70～74歳	216	32.4	20.8	25.0	44.4	32.9	22.7	6.5	8.3	11.1	12.0	0.9	17.1	1.9
75歳以上	359	35.9	13.9	18.7	24.8	17.5	12.8	5.6	5.8	6.4	5.0	4.2	30.9	6.4

【近所の方とのおつきあいの程度別】

近所の方とのおつきあいの程度別でみると、他に比べ、なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいるで「安否確認」「救助の手伝い」「救援物資の区分け」「炊き出し」の割合が、世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいらるで「初期消火」の割合が、助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいらるで「支援拠点の運営手伝い」の割合が、ほとんど近所づきあいはないで「特になし」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	安否確認	初期消火	救助の手伝い	救援物資の区分け	炊き出し	支援拠点の運営手伝い	応急手当	付き添い・介護	子守り	ペットの世話	その他	特になし	無回答
何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいる	161	46.6	19.9	26.1	29.8	39.8	13.0	10.6	11.8	21.1	11.2	0.6	12.4	4.3
なんでも相談し助け合えるとはいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる	540	47.6	22.0	35.0	46.9	42.8	25.9	10.0	10.2	23.9	13.9	2.0	6.9	1.9
助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいらる	405	37.5	21.7	34.8	43.2	38.5	27.2	10.4	6.2	18.8	12.6	1.5	13.3	2.2
世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいらる	454	37.9	24.0	34.4	39.6	31.5	26.7	11.2	9.3	17.0	10.1	2.2	16.3	2.4
ほとんど近所づきあいはない	348	26.1	17.0	29.3	32.2	26.4	20.7	6.9	10.9	17.0	10.3	5.5	22.4	2.9

【地域活動への参加の有無別】

地域活動への参加の有無別でみると、他に比べ、現在参加しているで「安否確認」「初期消火」「救助の手伝い」「救援物資の区分け」「炊き出し」「子守り」の割合が、参加したことはないで「特になし」の割合が、地域での活動がないで「特になし」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	安否確認	初期消火	救助の手伝い	救援物資の区分け	炊き出し	伝い 支援拠点の運営手	応急手当	付き添い・介護	子守り	ペットの世話	その他	特になし	無回答
現在参加している	304	47.4	28.0	39.5	48.0	46.1	28.0	13.8	11.8	23.4	12.8	1.3	5.6	2.3
過去に参加したことがある	699	44.8	23.9	34.5	44.8	39.6	25.3	10.0	10.7	21.2	12.3	2.7	9.7	1.9
参加したことはない	819	32.4	17.6	30.9	34.8	29.8	21.0	9.0	7.8	16.8	11.1	2.3	19.8	2.4
地域での活動がない	110	32.7	17.3	26.4	31.8	34.5	28.2	7.3	9.1	21.8	12.7	4.5	19.1	0.9

Ⅲ 自由回答

分類回答	件数
1. 地域における絆の強化	78
2. コミュニティ団体活動の促進	20
3. ボランティア、NPO 法人等の活動の促進	22
4. 地域福祉の意識の醸成	24
5. 情報提供・相談支援の充実	73
6. 多様な福祉サービスの基盤整備	74
7. 生活に困難を抱える様々な人への支援	10
8. 福祉サービスを必要とする人の人権の確保	6
9. 誰もが暮らしやすい環境整備	63
10. 地域防犯・防災力の強化	29
11. その他	65

記載は原則として原文ママ。但し、明らかな誤字や、回答者個人または個人・団体等が推測される可能性のある回答、具体的な地区名等については、一部加工しています。

【分類別の意見】

1 地域における絆の強化

- ・ 私は会社（60才）をやめた後、地域の小学校のP.T.A.会長を校区の7つの自治会長から依頼を受け3年間やりました。小学校は地域の情報の発信起点であり小学校長の行動のあり方が子供達の育成に大きく影響しています。地域と学校、P.T.A.を地域の人達との交流が大きく子供の教育に関係しています。
- ・ 現在の居住地は自治会活動が熱心で、住民の皆さんの「町を愛する気持ち」が伝わってきます。行政からも自治会活動への支援がより一層あるといいなと思います。
- ・ 自治会で盆おどり等の諸行事を行っており、自治会費や寄付金で実施している現状があります。子どもから高齢者まで集う唯一の場です。やぐらなど備品が古くなり非常に実施に苦慮しており、運営費の助成金を支援してほしい。地域を活性化するには人とのつながりが最も有効であり、そのための助成です。計画書を提出し、成果を報告することで可能と考える。行事を存続するために一考お願いしたい。
- ・ 個人情報保護されている為近所に住んでいる市民はどんな家族構成になっているのか、現在健康にしているのかがほとんど分からない状態で共生つながりを求めるのは困難です。ある程度の個人情報開示がないと前には進めません。
- ・ 個人情報保護が強すぎて、ご近所情報すら不明でくらしているのに、これで有事の時に助けあえと言われてもぎくしゃくするばかりになるのでは？と思います。地域内活動拠点場所内だけでも最低限の個人情報の共有は必要なのだと思います（子供が独立してしまってから情報もなかなか入ってこず、親同志のつきあいも減少する一方ですし）うまくバランスがとっていけるといいなと思いました。

- ・ 町会組織の改革（町会エリアの見直し、役員選出方法見直し、町会運営情報開示…等）。
- ・ 私は週一回近くの共生型地域交流拠点を利用しています。地域の人たちとの交流、情報、又、水曜日は地産の野菜も販売していて、大変良いことだと思っております。
- ・ ラジオ体操散歩などの早朝に集まって軽い運動をする場があったらいいなと思います。近くに銭湯の様に気軽に行ける施設があれば、顔見知りもお互いに増えるのではないかと思います。
- ・ 西宮市における「西宮いきいき体操」は地域の方と1週間の1回であるが非常に内容が良いので安否確認が出来てまた情報交換が出来る事にある。
- ・ 3年前に●●市から主人の実家の●●町に引っ越してきましたが、●●市時代は、380世帯の自治会長をしていたので色々な情報を得られ、活発に動きましたが、●●町、商業地という事もあるのか。住民の交流はありません。最近●●公園が少しだけきれいになった事だけが、ありがたいです。子供達が安心して遊べる場所であってほしいです。公園に老人の場所がないのも、さみしい事です。
- ・ 例えば半年に一度でも自治会規模で集まるような定期的な催しを開催し、近所の人どうしの顔をつなぐ場所があると参加しやすいのではないかと思います。そこで、このアンケートの情報を開示してはどうでしょうか。
- ・ 近所の人に挨拶等声を掛け合うと共に日々暮らしのなかで人様に迷惑を掛けること無く暮していけばと願う。
- ・ 隣近所や自治会で日常の付き合いをもっと濃くしていければ、困った時も自然に助け合う様になる筈。楽しいイベントも含め、自治会活動をもっと活発にすべき。
- ・ 常に隣近所の方達と気軽に会話できる、挨拶できる状況、状態を作っていくこと。
- ・ もっと近所つき合いができるように簡単に参加できるイベントをして欲しい（仲良くできる関係）。隣近所にどの年代の人達がいるか分からない。助け合うにも顔もわからない。子供さんの泣き声（虐待？）も聞こえたりするが、通報しにくい。
- ・ 普段から近所付き合いを大切にする。
- ・ 周りのご近所の方々に恵まれて感謝しています。
- ・ 日頃からの近所づきあい。
- ・ 親子共々、近所の方と顔見知りになり身近な関係になれる様にしたいです。
- ・ 普段からのご近所の方達のおせっかいにならない適度のお付き合い。自治会等の行事への参加。
- ・ ここへきてから35年がたつが近所づき合いが全くない、顔をみかけることもめったにないし変な人達ばかり西宮市は地域の為になにもしてくれない。民生委員も一年に一度訪ねてくるが頼りにならない。●●寺のせいで家がなくなった。お寺は金もうけに必死。
- ・ 昔に比べマンションが増え、隣近所というつき合い方が急激に減っているように感じる。阪神大震災の時には皆が力を合わせて色々と助け合ったがその後家がとり壊されたり、各家庭が代替わりすることで、横のつながりのない町になってしまったように感じる。また平日の集まりには高齢者ばかりで若者が参加するにはハードルが高すぎる。行政が土日休日ということでこの壁はいつまでたっても乗り越える事ができない。
- ・ 高齢になる前、中高年のうちから近所や町で気軽集える（できれば定期的）場所や催しがほしい。
- ・ 個々が、日々ルールを守り生活する。近所の人には挨拶をすること。以前から住んでいる人と最近町に来られた人との付き合いがスムーズにいかず若い人が何処の方が判らない。コミュニケーション不足、コロナの為以前よりますますクールになってくる感じがする。高齢者が増えて外出が少なくなり状況が解り辛く、余り他人の困っている事に勝手に入り混む事は、できないと思う。

- ・ 夫婦共にフルタイムで仕事をしているため、近所づきあいがあまりありません（子供を通じた近所づきあいのみ）。災害その他、いざという時に近所での助け合いが必要だと思っていますが、日ごろからのつきあいがなければなかなか難しいのかなと思います。この様な悩みを持つ人は多いと思います。地域の住民同志の交流が気軽にできる機会があればいいと思います。
- ・ 今の家に引っ越してきて満7年になりますが、全く近所づきあいはありません親しく話せる人は一緒に越してきた若い奥様だけで、他の人とは全く話した事はありません。もう少し一緒（近所）に話ができるような集まりをつくってほしいと思います。何かあったら近所の皆様は声をかけて下さるかどうか心配です。近所同士のコミュニケーションの場をつくってほしいと思います。
- ・ 地域における問題の解決のための身近な組織は自治会だと思われます。いつも自治会からの情報に気をつけて関心を持っているようにしたいと思います。
- ・ 公民館は、イベントや習い事などに利用されることが多々ですが地域皆が来館できる日を月に何日かあればと思います。その時困り事や知りたい事を情報交換できるので市役所まで行かなくても解決できるのではと。
- ・ 日ごろから、生活圏（徒歩で行ける距離）の中で、親しい友人・知人を作っておく事。地域担当の行政の職員の顔・名前を知らせておくこと（民生委員、自治会役員含め）。
- ・ 阪神西宮駅周辺の店舗をあちこち利用させていただき、そこの方と顔みしりになりお話もして帰ることが多いです。近所づきあいもあまりなく、何かの活動や行事にも曜日が合わず参加できない人は、お店の人が一番身近なご近所さんだと思います。その間でも頼って、お話しできるような関係になれば、安心ではないでしょうか。
- ・ 学校でもっと高齢者や障害者について学ばせるべき。子供→大人へと広げていってもらおう。今はあまりにも理解がなさすぎる。第1に先生への教育をもっと行うべき。高齢者と小学・中学生と一緒に給食をたべたりする機会をつくり、核家族で住んでいる子供に高齢者の知恵を教えてもらい、手助けしようとする心を育てる必要がある。学校が高齢者・障害者とかかわりをもつ場にしていく。
- ・ 人の事ではなく、明日は我身だといつも思っています。年々老いていく身体を少しでも健常であるように日常の生活から気を付けたいので、家の周りを歩いたりしながら近所の様子も見ながら暮らしたいと思っています。
- ・ 沢山文句のような事を書きましたが、高齢に周りがなってきました。介護していて一番感じたのは、折角がんばって生きてきて最期こんな扱いを老人たちは受けておわるのかと思ったこと。老いるのも仕方ない、けれども幸せな気持ちの中で充分とは言えずとも温かい環境は用意してあげられるように全ての頑張ってきたお年寄りのことをもっと考えて下さい。その温かさがあれば、自ずと集まり言わずとも助け合い、地域につながりは出来ていきます。引きこもりや障害をもたれた方にも暖かい環境が用意されますように。
- ・ 老若男女問わず、困っている人が近くに居たら助け合える環境があれば西宮はもっと良くなりますね。まずは1人1人の挨拶から。まだ自信はないけど、勇気を出して、私から声をかえられるように、私なりに『地域貢献』始めてみます。
- ・ 防災スピーカーを利用して公園等での早朝ラジオ体操の実施推進。老若男女を含めた地域のコミュニケーション高揚（向上）を伴う健康維持促進。
- ・ ●●校区は人々にやさしい町だと思う。西宮いきいき体操。民生委員の方々の手作り技のちぎり絵（2019年）小学生と共に地域の人とお茶をのみながらの憩える場所が欲しい。人生100年時代なのでアンケートの年齢の幅を100才以上まで。

- ・ 「若い世代は地域で助け合わない」とよく言われるが、子育てをしているからこそ、お互いに助け合ったり、子どもの為に地域とつながったりしていく。逆にこの頃の高齢者は地域の活動やボランティア活動をめんどくさがり、お互いに助け合おうとしない人が大多数であり、古くから住んでいるのに交流がない方々がほとんど。地域がつかないのは仕方がないと思う。元気な高齢者こそ、自分の損得で動くのではなく、「お互い様」「助け合い」の気持ちを持ち、若い世代に地域とどう関わっていくのか示してほしい。それがご年配の役割と私は思います。
- ・ 同じ団地内での一人暮らしの方が何世帯いらっしゃるのか解っていないコミュニティをもっと明確にすべきで月に1回位で会合を持つとか考えてみたい。
- ・ 地域での役員となり手がいない。一度役員を受けるとやめさせてくれない（交代員が決まらない）2件3件と掛け持ちの人が多い。
- ・ 地域のお祭りなど行事があれば良かったと思います。
- ・ 世代間の交流の前に同世代同士での声のかけあいなどが少なく高齢者世帯が大多数を占める地域なので心配です。他者からの声かけも必要とは思いますがまずは高齢者自身が問題として努力も必要だと思います。
- ・ 地域における支え合いの弱さは目に見えて進んでいると思います。子供の学校の役員をさせていただいた際に、こんなに地域の方は支えていただいていると思い、私も、できることがあれば、地域の貢献をしたいと考えるようになりました。時々、地域の方へのイベントなどをひらいています。交流の場となれるよう、今後も努めたいと思います。
- ・ 人とのつき合いがむつかしくなっているので、何をするのも大変です。ごみ出しで出合っても知らん顔しているので。
- ・ 今仕事させていただいていますが仕事終わって元気でしたら又お手伝い出来る様でしたらみなさまのお手伝いをしたいと思っています。どのくらいいきられるかわかりませんがその時はよろしくお願いします。御地蔵様のマイカケ、総、50年間仕事の合間に5ヶ月間かけて毎年させてもらいました。
- ・ 日頃から、人に関心を持つことが大事だと思う。
- ・ ●●地区は、シルバーさんをはじめ、保護者が子どもたちの見守りを毎朝、あたたかく実施して下さり、大変ありがたい。小学校区でつながり助けあえる関係を大切にしていきたい。卒業後やお子さんがおられない家庭の方々と、どのようにつながっていけるかが課題であると感じている。
- ・ 普段のあいさつにつきますね。
- ・ 姫路市青山地区の「青山1000人会」の活動が、本市の発展のためのヒントになると思います。
- ・ 自治会活動が盛んであると思います。
- ・ 『自治会活動を活発に！！』自治会に加入して行事に参加したりグループ内の回覧板やゴミ当番等を通して地域の人と交流することが大切だと思います。
- ・ 子供は宝です。毎日元気に明るく過せる様、大人が見守っていかねばと思います。
- ・ 昨年10月自宅での母親（92才）が旅立ちました。約3年いろいろな方にお世話になりありがたく思っています。これからは自治会活動の中で協力させていただきます。
- ・ 当地にひっこしをしてきて3年近くになるが、一度も”民生委員”の訪問を受けたことがないし、それがどなたであるのか、連絡先がどこなのか知らないのでもって不安である。事態の改善をお願いしたい。

- ・ 仕事優先で、地域とのかかわり（子供会・自治会活動など）は、妻にまかせていたため、仕事をやめてからでは中々地域とのかかわりに入っていくことができない。私の年代の方々にはそのような方が多くいると思います。私も地域活動をしたい思いながらできていない。そのきっかけづくりを是非、行政等で考えていただきたい。
- ・ 「あいさつ運動」は大事だと思う。さまざまな事件がある為難しい事であるが、私はいつも出会う人には私の方からあいさつをする様にしている。始めは怪訝な顔をされるけれど、今では親しくなり色々な話しをするようになった。
- ・ 特にあいさつ（字を忘れました）をしない人が増えたように思える（若い人です）ゴミ出しにも手を貸してくれるのは年配の人が多。登校の子供達にもいってらっしゃいと声をかけるが、仕方なく返事がある程度。
- ・ 町内会活動の活性化、最小単位の自治、共助活動の拠点となることが大事。
- ・ 他県や他地域からの居住者が市の“まちづくり”に気軽に参加できるようになればより良いと考えます。
- ・ ひとり暮らしの高齢者には、日頃より、安否確認をする事を重視する事により、集合住宅などでの孤独死をふせぐ事ができると思います。悪い事などを行っている子供を、しかる事のできる大人が少ないのが問題である良い事、悪い事をしっかり教える事も必要だと思う。それができる事で、安心して暮らせる。人間、あいさつができなくなると、良い暮らし方ができなくなります。
- ・ 地域の結びつきを深くしようなどの取り組みをよく行っている市だと思う。私の育ったところにはない良さだと常々思っている。コロナ禍でいろいろなイベントが中止になったと思うが、今後はもう少し形を変えて無理なく続けられる形になったら良いと思います。
- ・ 自治会のもよおし等で親しくなる事。
- ・ 子育て暮らしは住みやすいですが、町自治会によって、参加できる時はしますが、やはり各家族にも事情があり困難な場合でも強制的な部分があり、精神的苦痛もあります。地域協力は大切ですが、負担に思っている方もいる事理解して頂きたいです。
- ・ 時間に余裕ができた方は自治会に参加して、住んでいる町の問題点を知り、支え合う、大切さを実感する事だと思う。
- ・ 西宮いきいき体操に参加しています。コロナ流行でお休みですが早く再会されるよう待っています。
- ・ お互いに協力しあい、助けあい、不安な生活にならない様に努力していきたいと思ます。
- ・ 子どもが小学校のころはPTA活動を通じて地域とのかかわりを持っていましたが、中学・高校へ進学するとうすくなくなってきたように感じます。市内から現住所に越してきましたが、まだまだあいさつ程度のおつきあいになっています。地域行事に積極的に参加できたらと思います。
- ・ 自治会の活性化。地域行事の復活。
- ・ 私の地域では若者が多く老人が少なく世間話全くなく挨拶程度です。
- ・ 私の地域では、町内会、老人会、こども会の役員の皆さんが、様々な活動や取り組みを通して、地域の助け合いを促進されています。しかし、中々、役員の後継問題が解決できません。その部分で、行政が何らかのサポートをして頂けるといいと思います。
- ・ 高齢者が多いのでいずれ一人住まいになるかと思うと、不安である。何か押し付けがましい方法でなく、声かけ、見守りが出来れば良いなあと思います。
- ・ 祭りがあるとよい。この地域では今は無いが、昔の事を調べて無くなったものを復活させてもよいと思う。

- ・ 近隣都市より転入してきた人が西宮は町内会活動が盛んであると、云うのを聞きます。それが、良い方向に作用するといいいのですが、町会費集金等、役目があったり、しめつけ感があります。ゴミ入れ箱の順番も、負担になる場合があります。市民に負担を強いていると感じる。
- ・ マンション毎や町内会毎で、年に1度イベントをする。
- ・ コロナ感染が広がる現在、廻りの身近な人々との交流や助け合いは大変大切なのだと痛感しています。
- ・ 私の住んでいる地域では公園が少ないように感じます。自分が子供の頃は遊べる場所が少ないと感じていましたし、現在でも公園を通るとかなりの人の密度が高く、あまりのびのびと遊べていないのではないかと感じます。また、近年、新しいマンションが建つことが多く、新しく人が流入してくるのに、地域での行事などは少ないため人の繋がりはどんどん希薄になっていくのではないかと感じます。
- ・ 老人が孤独にならないよう、色々市で老人参加できる行事などが増えていけばいいと思う。
- ・ 民生委員さんを知ってお話を聞く事。地区で知らないが一番困ります。
- ・ 大きな災害が続きますが、ボランティアが駆け付けてくれるのが当然と思わないことです。その前に近所と仲良くし、家の構造や立地にも個人個人が配慮すべきでしょう。若い時は近所とあいさつもしない人達が年にとって近隣にお願いしたり頼らなくてはならない状況になっています。これまでつきあいをしなかった事に反省されているのではないのでしょうか。

2 コミュニティ団体活動の促進

- ・ こどもたちが安心して遊べる場所がもっとあれば良いと思う。●●地域の支援センターは月1～2回(家から行ける範囲)なので、もっと交流できる場所があれば良いと思う。ファミサポ登録には面談や、現地に行ったりとハードルが高いと感じる。zoom等で気軽に登録できればありがたいです。
- ・ 子供が小さいときに思ったのは発達が遅い発達障害で悩んでいたお母さんが多く、例えば支援学校に行くとそこで交流が断たれてしまうので、自分から遊びに誘っていいか迷っている。健常児を見るのがつらいというお母さんもいた。いろんな個性を持った子がいるという事実をなるべく早く知ってほしいと思う。(多様性というか…)。健常児と障害のある人たちが関われる機会が増えたらいいなと感じています。
- ・ 夫婦2人家庭で共働きのため、正直なところ近隣の方々との関わりもほとんどありません。そのため地域の情報については非常に疎いかと思います。もう一方で、子供も高齢者もいないため身軽な立場でもあります。夫婦の世帯や独身世帯に向けたネットワーク作りを行って頂ければと思います。その中だから共有できること、また地域に手助け出来ることがあると思います。またもしかしたら独身の方たちが違う名目で集まる事で自然な婚活支援になるかも。
- ・ SNS等で、市民同士で話し合える場があれば良いと思う。
- ・ 自分の回りにどの様な人が暮らしているのかを知る事がスタートだと思う。高齢者が多く、外出をひかえている。体力作りと、コミュニケーションを図るために運動する場があればと思う。アンケート調査にかかわって下さっている皆様お疲れ様です。
- ・ 学校が回りにいくつかあるのにも関わらず、歩道が狭い所が多い(●●駅付近特に)。もし暇を持て余している高齢者、学校終わりに行き場のない子供(友人と遊ばない、鍵っ子、習い事等していない)が居れば、行政が場やルールを提供すれば、双方ハッピーになるかと思いました。

- ・ どの人もなにかできることがあると思います。高齢者は今までの経験から智慧がある…。子供は素直で率直で…。障害のある方はその個性を活かして…。混じりあっていくうちに、自分にはないものに気付いたり…。そういうことが大事だなあと感じております。
- ・ マンション住いです。1人暮らしの方、老人、子育てまっただ中の方が、誰にでも気軽に話せる場所があれば…。100円コーヒーなどを催して仲間作りをできる所を作ればと常々思っていますが…。行動しないとね。
- ・ 西宮いきいき体操始めて6年目になります、その間入院もしましたが毎回休まずに続けています。続けていると、とても力になりますサポーターの方に感謝しています。(コロナで今は中止になっていますが)家の近くの方にも道で合っても声かけをして、体の調子や愚痴など話して笑顔で別れます。何でも話しかける、声かけをすることでお互い元気になれるように思います。
- ・ 簡単なスポーツ、体操教室などを定期的に継続して開いて欲しい 例えば小学校の体育館とか利用して。
- ・ 私は淡路島のある兵庫県立淡路景観園芸学校で園芸療法を学び、仕事に活かしています。園芸療法は地域コミュニティの活性化や高齢者の介護予防などとてもメリットがあると思っています。
- ・ 西宮市は女子大(生)が多い強みを活かし、子育て世代にやさしい町づくりをする。そうすることで、おじいちゃんやおばあちゃんが活躍できる場も増えてより活性化できる様に思います。
- ・ 地域では集合住宅が増え、顔を合わすことも少ない。人となりが理解出来なければ、会話もままならない。少しは心開ける場所があればよいと思う。
- ・ いつでも気軽に話しができる場所がほしい。いこいの家。
- ・ 現在コロナで大変なので少し答えにくかった事と、自分自身高齢の上、母も介護状態です。出来るだけ健康でいたいものです。コロナ終結が一番。終結した後、体力づくりのイベントなど健康活動をして頂けたらと思います。
- ・ つながりをつくれる自然な場所があったら、いいと思います。コーヒースポット、お茶スポット的な。ちょっとひと休憩できたり、w i e f i スポットにもなっていると年齢問わずあつまりやすいですね。
- ・ 生涯学習が気楽にいけるようなものにしてほしい。高齢者の男性が参加しやすい学習、運動などを考えてほしい。
- ・ 無気力、不登校、ひきこもりの人達が世代関係なく集まれるような公的な場所があればとてもいいなと思います。
- ・ 2020年6月末に転入してきたので西宮市の事が良くわかりません。子育て世帯だと学校行事等の交流があるかと思いますが、高齢で転居すると地域とのつながりが薄くなってしまおうと思います。ただ、前の居住地でも仕事中心で地域に貢献したことは、ゴミ当番くらいでした。高齢者の交流センターや消防団などの活動をもっとアピールされてはいかがでしょうか。
- ・ 子供会はありますがお年寄りが気楽に話をする場所がないのでここに何年いても声かけも満足に出来ない。さみしい思いを感じています。きまりごとは多いですが心のケアをどうするか考えていない。

3 ボランティア、NPO 法人等の活動の促進

- ・ 私自身が脊椎管の OP 経験があり支援介護を受けている者ですが80才過ぎる自分の事で精一杯ですが、看護資格を保持しておりますので介護手伝いぐらいは出来るかなと自負とまではいきませんが頑張れたらなと思っています。10才若ければと残念に思います。
- ・ 活動する場所の提供、ボランティアの人に対する支援。
- ・ 現在は体調が悪く、酸素のチューブをつけての生活をしてはいますが良くなれば、高齢者の支援など町づくりのために行動したいと思います。
- ・ 学生が多い町なので、大学生、高校生もまきこんだ何かができたら良いと思います。また社会人だと土日、夜間しか活動ができないのでそういう時にできるボランティア、地域活動があれば良いと思います。
- ・ 老健施設にパートへ行っています。食事手伝いボランティアで何か手伝いできる事あったら参加します。
- ・ 有資格者のボランティアを何らかの形で活用できれば良いと思う(看護師等の)登録、研修、啓蒙、により地域を活性化。災害時に役立つ様な。
- ・ コロナの中で失業してしまう人が多く出てきてしまうかも知れないですが、このご時世でも忙しくて、残業が毎日続いている人もいます。ワーキングシェア等失職してしまった人が、忙しい人を手伝ってお給料を得るしくみ(労働環境等はきちんと整えなければいけないですが・・・)や、障害のある人が同じ障害のある人を助ける(ピアヘルパー・ピアサポーター)制度を充実させるのはいかがでしょうか?ひとり暮らしの高齢者や寂しい思いをしている人が気軽にコミュニケーションを取れる場所の提供、それぞれ皆ができることをアピールする(例えば料理好きなひきこもり状態の人がこども食堂で元気に働いて前に進む状況を作り出すなどは、いかがですか?)。
- ・ 気軽に参加できるボランティアなどの活動参加を回覧板などで募る。
- ・ 無事、大学生になれたら、ボランティアに参加したいと思います。私にとって今地域は通学路です。
- ・ 誰かの役に立ちたい、と思っているけれども何をすればいいかわからない高齢者、若い人がたくさんいる。ボランティアだと動きにくい、少しの時間だけの活動なら出来る人手があるわけだから団体にして手当てを支払い、団体として運営していくべき。その運営を行う人がいない。役所で出来るのでしょうか?一般企業の経験者などに代表として動いてもらってもいいのでは?
- ・ 西宮市の「トライ・やるウィーク」はすばらしいと思います。学生達には大人あつかいされるのが嬉しく、社会の一員としての自覚を少しでも持てると思います。ボランティアが「使役」ではなく、自分達も楽しみつつ、役に立てるのだというソフトさが必要だと思います。
- ・ 元気に働いている間は特に地域とのかかわりの必要性も感じないが、高齢で一人暮らしになると、地域とのかかわりがある方が安心して生活できると思う。ただ高齢になってから地域の人との関係をつくるのは難しいので、気軽にできるボランティアなどをする場などがあればよいと思います。
- ・ 子育て一段落した女性は就労状況にもよりますが、知識、時間もある方が多いと思います。その世代の力を有効に活用できればかなり大きいはずですが、今更仕事は…という方もいると思いますが、ポイント付与 e t c で参加しやすい体制を整えればボランティア希望者はいると思います。
- ・ ウォーキングすること。西宮いきいき体操をすること。買い物に行く。公園清掃に参加すること。

- ・ まだまだ元気ですので何か出来ることはお手伝いをしたいと思っております。安全・安心の地域で暮らせる幸福をみなさまと一緒に楽しい毎日でありたいです。ローリングストックも大切です。
- ・ 私自身が元気であれば炊き出しとかにお手伝いできたらと、思います。
- ・ 介護保険サービスを利用されていない方等が、少し助け（買物・病院へのつき添い等）が必要になった時に、気軽に問い合わせが出来るようにスーパー・コンビニ等に「お助け板」のような物を設置する。元気で時間にゆとりのある方が、参加できる様な登録制を用いて、市の方で、間を取り持つ形を作る。
- ・ 保健所への応援が出来る様な横の関係を構築すること。
- ・ 現在、NPOや寺社などが主体となっていて行われている、フードバンク事業を西宮市が主体となって全市的に実施してはいかがでしょうか。日々の食べ物にこまっているような家庭の方が、そうした救済に早くアクセスできる仕組みがあればいいと思います。
- ・ 子育てが大変すぎて、余裕がありません。地域の人たちで助け合いが、よくわからないので助けてくれる人がいればいいと思っています。
- ・ 経済的に裕福な人、定年退職して時間に余裕がある人が活躍できるように行政や地域が受け皿、場所・機会を用意する。中学校はいつも人手不足ですよ。
- ・ 職歴や資格等を活かして人材バンクの登録が出来るシステム。※すでにあるかもしれません・・・。

4 地域福祉の意識の醸成

- ・ 日々、日中高齢者の方々がショッピングモールやスーパーで暖又は涼をとるため、又は一人の時間をつぶす為に過ごしている（様に見受けられる）ようですが、一人で過ごしている高齢者の方々が気軽に過ごせる施設（公民館、集会所、）を開放して日中過ごせる場所を提供してはと日々思っています。
- ・ 今はいないが、将来近隣又は家族（自身含む）に手助け、福祉が必要な人が居た場合を考えると、地元・近隣のネットワークに参加していきたいと思います。
- ・ 今はコロナの状況下なので難しいが、障害者施設等の社会福祉施設の方々と地域住民がもっと交流できる場が増えるといいなと思います（例えば、お祭り、バザー等々）そういった中でいろいろな年代の方がいろんな役割を持って交流できたら、と思います。
- ・ 個人情報の中からみで一般市民では深く入りこめない点あり、民生委員などに活動しやすいようにしてあげて欲しい。
- ・ 地域福祉計画というものの存在を初めて知りました。国の方針でこのような計画を作成・更新しなければならないのですね。大変お疲れ様です。形だけでなく、実質的にこの地域が活性化することを祈っています。近隣の人との交流はこのご時世なので希薄ですが、●●周辺はハードがかなり整備されていて住み心地がいいです。
- ・ 無計画な建築許可により、新住民急増に依り地域福祉等あったものではないか？
- ・ 本書が何故、私に来たか解らないが、私は厳しくも、面白く団塊世代、先ある若者、現役世代に仕事、収入、手厚く施策しなければ地域福祉は勿論、百年後の日本国はミジメな弱国になりましょう。子供、若人は国の宝。此方に視線を合わせた諸施策をお願いしたい。
- ・ 市の担当者が責任感を持って仕事ができているかどうか！を今一度深く考えてほしい。ほとんどの方は大変熱心だが、一部にそうでない人がいると全てが無になってしまう。一部の社協が大変無責任なので困る。自分達のために動くのは、やめてほしい。安易にボランティア、ボランティアと言うのはどうかと思う。ボランティアはあくまで一つの過程であり、目的ではない。

- ・ 高齢者が高齢者の為に諸々の施策を立案、実行出来る仕組み。高齢者が何を望み、悩み、期待しているかは、高齢者でないと判らない事が有る。行政の施策の立案等に出来るだけ多くの高齢者の意見を聞く事が寛容と思います。
- ・ 現在、高齢者の一人暮らしが町内でもふえている実際の状況はあくが以外と出来ていない。もっと市と民生委員なり協力して細かい生活状態をみてあげてほしい。若者の無関心さも気になる所。
- ・ 社会的孤立や虐待等、自身の生活でいっぱい、他の世帯の状況にはなかなか気付けないし、気付いたとしてもどこまで介入して良いかわからない。民生委員の方など専門的に動く人が必要と思う。
- ・ 戸建、マンション、賃貸などの住居形態の違いだけではなく自治会（〇丁目と〇丁目 etc）内での意見の違いで仲が悪い（住民同士は仲が良いが組織として）。自治会単位ではなく住民個々が主体となる社協などの繋がりを大切にする組織の活動に期待し、市としても人的・物質的にも援助して欲しい。
- ・ 介護ケアマネジャーによって、自分の都合や気持ち、考え方によって対応が違いすぎるのに、不安を感じます。
- ・ 行政と市民が協力して意見を出す事がベストですがなかなか難しいと思います。大変な事に思えますが行政がフレキシブルな対応をされることを何度もみることで市民もより協力的になるのではと思います。他の市町村にうらやましがられるような盛りあがれる町づくりを期待しています。
- ・ 子どもやお年寄りの方が多いが関わる場が少ないと感じる。西宮は大学などの学校が多いので、子どもとお年寄りの間の世代である学生と協力して広い世代がつながれる事業を作るのが良いと思う。
- ・ まずは身近な所から始めていかないとハードルが高くなっている様に思う。例えば自分の利用するエレベーターのそばにお助けボードを置いて、急に必要になった人が利用するとか…。連帯感が持てるような工夫が必要だと思う。
- ・ 母の入院時にケアマネジャーさんに色々教えてもらった時にもおどろきました。行政のサービスをよりわかりやすく教えてくれる人がいればいいなと思います。
- ・ 子育て世帯は子育て世帯、高齢者は高齢者というように、それぞれのコミュニティがバラバラなので、相互に理解しあえるように、助け合えるような仕組みづくりや、調整、資金等、市に取り組んでもらえるといいなと思います。
- ・ 一人ひとりが自己有用感を感じられるような、地域での役作り。また、それをサポートする仕組みと、コーディネーターが必要だと思う。例えば地域の学校等が持っているニーズ（児童の見守り、等）を地域で共有し、的確に、人を配置できると良いのではと思います。
- ・ 自治会と協力し、地域医療団体のPRも兼ねて、「集会所」での無料健康診断の実施。血圧計、骨密度計、パルスオキシメータを使用。「ショッピングセンター」でも実施可能。集客にもなる。
- ・ 西宮市内で朝小学生の見守りをしている高齢者の方達がいらっしゃる地区とされていない地区がある様に見受けられる。多分、老人会でされていると思うが西宮市内全域でされるべきだと思う。ちなみに●●地区では保護者の方がされている様であるが、時間的余裕のある方がされたら良いのと思う。

- ・ 現況を知らない、分かっていないだけかもしれませんが、西宮市でこのまま高齢に更になって暮らすのは不安感があります。自分達が更に高齢になった際に、できる限り長く自立した暮らしを維持したいと望みますが、確かにそこに何か少し共助の仕組みがあれば、より実現しやすいのだろーと思ひます。ただ、共助も強制されるものではなく、自発的に意識を促すような形でなければ、皆にとってよい形に循環しない。公正に機能しないのではないかと思ひます。難しいとは思ひますが・・・。具体的な提案ができず、申し訳ありません。
- ・ どうしても都市部である南部に対する予算等が手厚くなっているように思ひます。地域からの要望があまりにも通らなすぎると思ひます。もっと声を聞いて実行して下さい。市民税も払いたくないよ。
- ・ 医療ボランティアやDVなどの状況にマッチしたものでないと意味ないしムダ使いなのでは。

5 情報提供・相談支援の充実

- ・ もっと発信をして宣伝をしていくべき。人間関係が希薄な世の中なので。
- ・ 市からの情報発信を知る手段を増やしてほしい。特にホームページ、SNS の充実を希望します。
- ・ 市のホームページなどでどんどん情報を発信していくこと！！だと思ひます。
- ・ 西宮市長が、吉村府知事のように積極的にマスコミなどを通じて、発信してほしい。(情報等)。
- ・ 大阪の防災通知のように特定の地域にいる人に強制的に通知するなど、情報発信をしてもらいたい。地域と接点がない移住者は隣人から人伝いの情報収集は難しいと思ひます(特に)。
- ・ ボランティア情報や支援に関する事など、SNS (特にTwitterなど) を通じて発信して頂けると若い世代には良いのかと思ひます。あと、もっとかわいいゆるキャラをお願いします。
- ・ 新しく引っ越されてくる人などは、自治会に入れない人が増えています。理由としては、住民間でのプライバシー侵害やトラブルをさけたい為だと思ひますが、そういう人でも市の発信する回覧板の情報がわかるようWEBなどでも同じ事が知れると良いかと思ひます。回覧板は働く世代には、不要な手間と負担になる事も多いのでなくしてSNSやWEB、メールでの情報伝達に代わるとよいです。
- ・ 新聞や市政ニュース等を見ているのですが、何につけても何をどこに相談したらいいのか、わかりにくい事が多いと思ひます。何もかもデジタル化されていく中で年をとっていくと取り残された気がします。もう少し、わかりやすい発信をして頂けたらと思ひます。
- ・ 2014年に西宮に引っ越してきて、夫と2人の未就学児の子がいます。共働きで毎日バタバタと生活していますが、地域の活動や行政の支援など、知らない情報が多いんだろーなと読みながら感じました。もっと市政ニュースなど見るようにします。LINEの西宮市のアカウントでコロナの情報以外も発信されたらもっと身近にひんぱんに情報を知ることができるのでは？と思ひました。
- ・ 基本的に身近な友人ともほぼSNSを通じてやりとりをしているので、隣人、近隣の方々と交流がなくても気になりません。必要性も感じていません。コロナで対面での交流がしにくくもなっていますし、人と人が顔を合わせての交流よりも、スマホで手軽に交流が出来る方法を広めていった方がよいように思ひます。(情報発信アプリやその使い方の講習に力を入れたらよいのかな)。

- ・ 人々が安心して暮していく為のまちづくりをする為にこういったアンケートの結果を真摯に受け止め、問題点、市民が望んでいることをかなえていくことが市の仕事だと思います。その為に必要な事の一つとして、SNSサービス、オンラインサービスの充実を進めて行くべきだと思います。Twitter, Instagram, Facebookなどを通じて情報発信を続けることで、その情報がいつか、本当に必要としている人々に届くのではないかと思います。
- ・ 30年程前朗読ボランティアをしたいと思い講座に通ったりしましたが、時代もかわりPC・スマホがあれば読み上げ、人手もいらなくなってしまうのだろうと思うけれど、実情がどうなのか、直接お話ししながら読んでほしい方はいないのかと思っていました（今はコロナでそれどころでなくなりましたが）。アフターコロナの時代、ボランティアの係り方が大きくかわると思いますがその時、細かなニーズの発信があれば、何かしたいと思っている人も手を挙げやすくなるかもしれません。
- ・ 地域での支援体制の充実の為には、まず支援が必要となる前にどのような公的支援があるとか、事前の相談窓口等をPRする→いざ困った時に利用するにつながると思う。
- ・ コロナ禍における災害弱者に対する正確な情報提供とアウトリーチ的な支援と人材育成が必要と考えます。
- ・ 心の病（うつ病、パニック障害など）により、長期間通院を続けているにも関わらず、寛解しない人が増加しているように思われる。いわゆるグレーゾーン（健常者ではないが、障害者手帳を支給してもらえない状況ではない）に該当する人は、行政や（生活保護、就労支援を行う）NPOの支援も受けられず、ひたすら自宅療養をするしかない状態である。コロナ禍でこの様な状況に陥る人はさらに増加するように思われる。メンタルの病気を患ってしまった人が相談出来る場所・社会復帰をめざすための居場所作りや就労の支援を行ってくれるような施設や取り組みがあれば良いと思う。
- ・ 防災情報等の情報を広報する設備を充実させる（放送設備等、地方では充実されている気がします）。
- ・ いろんな情報がインターネットで入手できるけれども、実際に身近な地域の情報が入手しにくく、古かったり、使い勝手がわるいことが多いです。回覧板もまわり頂いていますが、プッシュ型のラインやメールでの情報共有に変えてもらえると助かります。判子を押して隣家にもっていくのが面倒です。
- ・ 具体的な情報の入手方法が判らない為、何をどうしたらいいのか判らない。
- ・ 地域の学校の情報（いつ休み、いつ行事がある、試験があるetc）が分るもの（SNS、HP、回覧板など）があると、今後自身の子供がすすむ道を検討する一助になるのでは。
- ・ SNSなどを使えない高齢者などに必要な情報が行き届くようにしてほしい。孤独にならない、させない環境作り。
- ・ 地域のイベント事などがあったら参加したいが情報収集の仕方がわからない。
- ・ 2020年コロナ影響にて、両親学級を再開頂き、情報の提供と同じ境遇の親通しで接点を持ちたい。
- ・ 幼稚園や小学校からのプリントは読むのでボランティア情報の広告はその連携が、早い。
- ・ 転勤族で定年後現地に継続居住してわずか4年目であり、地域を知る情報量が少ない。今も再就職して勤務中であり、同状態が続いている。個人情報保護法のためバーは高いが、情報共有の促進が必要と思われる。
- ・ まだ西宮に引っ越してきたばかりですが、LINEは活用させていただいています。情報収集ができるのでとても便利に活用させていただいています。介護のボランティアに興味はあるのですが経験のない私でも出来るのか不安がある為、機会（場所や日時）と同時に内容詳細（どんなのが出来る、向いているか等）も分かるとチャレンジしやすいです。

- ・ ボランティアに参加したいと思いはあるが、市の活動は平日メインのためなかなか参加できない。民間団体の情報もなかなか収集できないため、地域活動にも参加できない。夫婦世帯のため、何かしら地域活動に参加しやすい環境を作してほしい。
- ・ メディアやLINE、SNSなどを利用した定期的な活動やそれらを利用して災害時に地域毎の避難所案内等役立つ情報を配信できる環境を平時に準備する。(安否確認情報広場等)。
- ・ 何かしたいが自分に何ができるのか、どこにいけばいいのかわからない人(若者でも)は多いと思います。実際私は大阪でプロボノ活動に参加していましたが、うちの近所でも困っている人は沢山いるのではないかと…。西宮はそのような情報は見つけられませんでした。市情報誌のような固い周知形式ではなく、もっと楽しさを出してほしい。横浜市などを参考に、もっと気軽に「なんか楽しそうかも」と思える巻き込み方が必要だと思います。
- ・ 西宮へ引っ越してきて1年目に私にもできるボランティアは何かないかと思い、地域のボランティアセンターへ話を伺ったが、特に地域の中での活動は、今はないとのことだった。今は活動者の募集はしていなくても「こんな活動がされています」「他の地域ではこんな活動があります」など具体的な話が聞きたかったです。そのこと以来ボランティアへの熱(というか、きっかけ)を失ってしまったので、ボランティア(地域活動)への参加が出来ていません。窓口の方の情報提供のやり方をもう少し考えて頂けたらな…と思います。(窓口へ行って相談したら、行ったことに驚かれているようで、社協の事務所に相談したら…と言われた)。
- ・ 西宮市の状況をテレビで確認できると良い(映像で)ネットを使いこなせない高齢者もいると思うので。
- ・ 身近かな(自転車で行けるとこ)地域に関心をもつ事、不自然さ、空き家、奇声など、PC、スマホからのネットワークが多い為、行政(市)が必要なノウハウ使用方法を教えてください。教室など。
- ・ SNS、LINEを活用してほしいです。
- ・ 何か困った時には近所の人とか知人ではなく市役所の窓口等で専門知識のある人に相談したい。
- ・ 困り事をどこに相談すれば良いのかわかりにくい。例えば不登校の親の会や居場所等市のホームページにのせて欲しい。
- ・ 育休中は「さぼさぼ」や「あおぞら館」を利用して相談にのってもらっていたが、復帰後は利用したいとき(日・祝)に閉館していて悲しかった。
- ・ 個人情報保護法をもう少し柔らかく解釈し地域の人の実態を把握できる様にして欲しい。
- ・ 私自身、以前市内でボランティア活動等しておりましたが、やはり予算不足の為、無くなっていく活動も多数ありました。活性化の為には、ある程度出費も必要かと思います。また、地域内の案内板等を周知し、ポスター等の掲示によるお知らせも必要と思います。ただし、地域によって近所同士の距離が近い、遠いがあると思うので、やはりその地域性に合ったやり方が必要と思います。
- ・ 民生委員が誰か相談できる事項が分からない。
- ・ 最近スマートフォン等での情報把握が可能ですが、高齢者はスマートフォンの取扱が不可能な方も多数です。やはり同時に地区の情報(ラジオ、状況等現状を伝達する方策)を検討して欲しいです。やはりアナログ的要素も不可欠だと思います。
- ・ 困っている本人がSOSを恥ずかしく言える環境作りが大切だと思います。商業施設等になんでも相談ROOM等・・・まずは気軽に相談出来る場所等・・・。

- ・ 住んでいる地域ではマンションが多く建設されており、人は増える一方で、地域の行事への参加などできない、情報が得られていないケースが多いと感じる。子供が多いマンションに、お祭りなどの情報がなく、マンションの組合と自治会の関係性が薄く感じる。
- ・ 相談窓口の充実と広報。
- ・ 障害のある人に声かけが難しい。手助けになる事があれば手伝う気持ちはある。最初の声かけをどう接し、話しをしたら良いか解らない。相手がどのように考えているか？又、迷惑になるかもしれないとかいろいろ考える。結局素通りしてしまう。対処、接し方のアドバイスがあったらと思う。
- ・ 高齢者、子ども、障害者などの「生活、医療」などの相談の窓口を明確にして対応のスピード化をしていただきたい。相談する際の「申し出」「お願い」などの「手続き」「申し込み」などの作業をもっと簡素化してもらいたい。書類など複雑すぎて分かりづらい。
- ・ 高齢者、子ども、障害者以外にもひきこもり、就業していない若者にも対応してほしい。年齢的に学校にも頼れず、相談窓口もない。
- ・ 総合的な窓口がほしい。障害等があり色々な場所へ行く事はむずかしい。1つの窓口で助成、税金、健保全てが完結するようなくみを希望します。
- ・ 加齢に伴い健康には気をつけて過ごしていますが身体不調の時に「健康医療相談年中無休」をたよりに、利用しています。今後も継続を望みます。市政ニュースの「健康、福祉」項目に、健康づくりとして「健康おすすめレシピ」を追加されてはどうか。参考にします。
- ・ 困った事があれば相談を受け付け対応すれば良い。過保護や放置しなければそれでよし。
- ・ 心配な方を見かけた時に、相談や通報する場所がよく分からない。もっと日常生活に近い場所に、大きいカンバンとかかかげて、目につくようにしてほしいです。
- ・ 乳幼児対象の育児で気軽に相談できるサークルなどふやしてほしい（友だちづくり）。
- ・ 役所は、事務的な対応しかしないイメージがあり、相談しても親身に対応してもらえないのか不安を感じる。もっと地域に対しアピールをし、窓口を広げて欲しい。
- ・ 特に困っていない時は何も必要ないですが何か困った時に相談出来る市役所の窓口があると安心です。妻の介護の時も認定などスムーズにやって頂き助かりました。ありがとうございました。
- ・ マンションに住んでいるとあいさつ止まりの交流しかないので、相談、心身の関わりまでの深い関係はむづかしいと思われる。校区で何かしらイベントなどをして顔みしりくらいまでしかならないのではないだろうか。
- ・ 公務員による役所仕事はどうしてもやっつけ作業にみえてしまう。相談に行ったところでクレーム扱いされたら友人からも聞く。その意識の確保をして下さい。
- ・ 具合が悪くなった時、病気で寝込んだ時、子どもや高齢者の世話が出来ない時、支えて頂きたい時の相談センターを作って頂きたいです。
- ・ 今のところ子育てに関する不安、不満もなく子どもも大きくなりました。介護に関しても未だ経験がなく、自分に何が必要なのか実感がありませんが、地域（居住地近隣）に悩みを相談できる気がしません。専門知識のある方のいる所の敷居を低くする方が良いと思います。
- ・ 管理組合役員です。居住者で介護、介助の必要な方から、敷地内を車椅子で通りやすくしてほしい、駐車場の割当てを優先してほしい等の要望があります。他の居住者とのバランスをとりながら運営したいと思っています。ケースワーカーとの相談、公的補助（改善の為の資金が出るのか）等の相談窓口を知りたいです。

- ・ 騒音について／現在のマンション内でここ1, 2年、大学生が入居しており、大人数でさわぐ声がひどくはじめて騒音で通報した。マンション同じ棟の人、皆で迷惑しています。なかなか、高齢の方も多く通報をためられます。そういったように、通報すべきか等地域でも相談できる又は、かわって注意していただける等、そういった所があればいいなと思います。
- ・ 私事ですが、仕事で訪問リハビリをしており、そのため、地域（私が住んでいる地域も含めて）の方々と関わるのが他の住民の方と比べて多くあります。よって、いろんな問題が見えてくることもあり、仕事だけの関わりでは、不十分なこともあります（恥ずかしながら、自分の能力のなさもあるのですが）。市や協議会などの組織との連携となると、個人の問題解決のレベルまでにタイムラグがあるなどして、さらなるストレスをその個人にかけてしまうこともあります。よって、個人（地域住民）がその地域や近隣にいる専門職などに、まずは気軽に相談できる仕組み（簡単な！）があれば良いなとも感じています。
- ・ コロナ感染の心配をしなくなりましたら、ボランティア等の活動をしていきたいと思えます。又、今の時期でもできることがあれば「市政ニュース」等で、提案していただければ嬉しいです。
- ・ 私は現在契約社員として勤労していますがボランティアというか収入目的でなく地域に貢献できたらと思っています。買い物の付き添いとかお花の手入れとか女性ならではのお手伝いならできると思えます。その様な募集などありましたら知る方法を教えてください。
- ・ 西宮いきいき体操のような集まり、地域のつどいカフェ、そういった集いがいつ、どこでやっているか分かる地図付きの説明があれば、行ってみようと思うかもしれない。そういった所で公園や地域の清掃活動の目的を訴えてチラシを配ると、ボランティア活動する方が増えていくかもしれない。子育て世帯へは西宮市のLINEで、地域の清掃日のお知らせが出るように通知できたら分かりやすいでしょうか。子育て世帯は公園の清掃などはなかなか参加率が少なく、もっと気持ちを変えて、参加してほしいと感じています。
- ・ コロナ感染者の理由不明がそのまま空白だらけなのは良くない。何らかの心あたりのある行動でも知らせてもらえると抑止力になるのでは？
- ・ 市政ニュースがたより。
- ・ 公民館での催し参加など目につく様に教えてほしい。
- ・ 公民館や市民会館にて提供している市のサービス（文化、芸術、講演 e t c）の内容を判り易く伝える工夫。
- ・ コロナで外出、イベント・友人と会う機会が少なくなってきました。オンラインでの交流イベントなど、西宮はあまりまだオンラインの強化ができていないのかなと思うこともあり、今後の事も考えてオンラインでできる事をもっと私たちに目に見える形で進めてもらえたら嬉しいです。
- ・ 私自身、高齢者で高層マンションにひとり暮らしです。でも地域のお役に立ちたいという意思はあります。在宅でできるお手伝いがあるでしょうか。
- ・ 独居者の安否の確認ができる体制があれば良いと思います。
- ・ 回覧板ではなく HP や SNS の活用。
- ・ 独身で高齢になった時に、例えば自分が亡くなった後の諸々の始末など身よりのない者はどうしたらいいか、行政はどこまでかかわれるのかいろんな情報がほしい。
- ・ 既にあるサービスや取組を認知させる情報発信←SNS 活用等何らかの仕掛けは必要。
- ・ 地域、住民が安心、安全に暮らすことができる身近なサービス情報を分りやすく広報し、使う事が出来るようにしておくこと。

6 多様な福祉サービスの基盤整備

- ・ 高齢化社会に向けて、ICTを活用し、ひとり老人家庭などの安否確認やSOSの発信などができるシステムを考えることはできないでしょうか。
- ・ 私も子育てで一時とても悩んだ時期があり、自分でもどう援助を求めれば良いのかわからず、ただただ悩む日々でしたが、こちらから発信しなくてもこの状況を見て気づき下さった周囲の方から声をかけて頂いたり、支援を頂き、本当に救われた気が致しました。これほど人の温かさを感じたことはありませんでした。又、自分も何かお役に立てることがあればと強く感じました。このような支援の輪が広がればと思います。
- ・ 障害者支援の場をもっと増やすべき。
- ・ 活動・支援する人と活動・支援から離れた所にいる見い出されていない人、声をあげていない人、声をあげられない人をどのようにつなげていくか。組織や体制づくりだけではなく人と人とのつながりをきめ細かく拡充していく町づくりを行政が積極的に働きかけてほしい。行政は省略化して自助・共助に期待するのではなく住民に寄り添う温かい行政を目指してほしい。
- ・ 障害者への支援を充実させて欲しい（障害年金等）。
- ・ こういう人たちへの支援はみんな考えるが、1人暮らしでもう家族もいない人への支援も考えてほしい。
- ・ 例えば障害のある方への支援といっても、障害をお持ちの方にどう接していいのかわかりません。また、高齢者をひと一言で言っても、人それぞれ身体的な違いもあるので、声を掛けたくても失礼かなと遠慮することもあります。理解を始める前に、バリアのようなものがあり、そのバリアフリーが必要かなと思います。
- ・ 他市に比べて高齢者に支援が少ない様に思います。
- ・ 引きこもりの人が自立できる支援を作ってください。生産労働力人口が減るばかりで日本の未来は成立しません。
- ・ 西宮市は他の所とくらべ高齢者支援が少ないと思います。もう少し温かい町にして下さい。今はコロナで何も出来ない悪い時です。
- ・ 他市に比べて、高齢者に対する、支援が少ないのではないかと感じている。＜理由＞コロナ禍で初めてのインフルエンザワクチンの予防接種を受けたが尼崎市、伊丹市は、65才以上無料だった。また水道料金（基本料金。）が、免除された市もあったように聞いている。
- ・ 上記に書かれているような方々への要望は支援の実行です。例えば県市民税の減額、免除をするなど。
- ・ 西宮市内のスーパー、コンビニに西宮市独自の支援の募金箱があればおつりを入れたいと思います。
- ・ ゴミ屋敷やひきこもりの方は健康面に問題をかかえながらも支援を拒否される事が多いとききます。千葉県松戸市では公費で医師会の医師がサポート医としてすぐに往診し医療を受けられる様に、その後の介入がスムーズになっていると聞きがあります。西宮市にも是非とり入れて欲しいです。西宮市役所の職員は優秀な方々が多いです。しかし、西宮市独自で何か新しいとりにくみをしようという事は消極的な様な気がします。もっとチャレンジングになって欲しいと思います。みていると保守的な様に思います。良い政策を行うことでもっと西宮は魅力的な町になると思います。是非頑張ってください。
- ・ この地区は階段が103段あり、昇降機があれば気楽に出かけられ、それが一番の支援になる。

- ・ 母と主人が長年お世話になっておりますが国の制度のおかげで（皆様からの経済的な支援）生活できております事に心より感謝致しております。大変申し訳なくも思っております。地域に於いてははげまして下さる方が多い中、とんでもない病院に入院しているとか、びっくりする話もあります。100%の支えあい理想なのですが…。
- ・ 個人的に手をさしのべたいと思っても、相手が拒否され閉じこめられると、どうしようもないので、行政の支援が大切だと思います。行政の力を期待致します。
- ・ 待機児童が減ればいいですね 本当に働いていて、保育施設が必要な人は沢山います。
- ・ 大阪府の箕面市のように市中を巡回するバス、オレンジゆずるバス、があれば病院や役所、公共施設の利用が（とくに高齢者にとって）しやすくなると思います。高いドライバーの事故を聞くたびに高齢者には、免許を返納してほしい。そうするためには、高レイヤーの方が、免許（車）がなくても快適に市中を移動できるしくみが必要だと思います。
- ・ ゴミ収集のネットやびん・かん回収箱を当番制で自治会で回していますが、高齢者の方にはほぼ毎日のネット（回収箱）の運搬・回収は負担だと思います。かといって若い世代は共働きの家庭も多く、若い世代が代わりにやることも難しいと思います。ゴミステーションの設置（カラスや猫が入れないもの）などに市が積極的にサポートしてくれると良いなと思います。
- ・ 外出が少なくなり、ネット通販が増え、ダンボールが家にたまってきますが、ダンボールのゴミの日が月に1回しかないのは、他の地域に比べて少ないと思います。西宮市は住みたい街ランキング上位で、子育てもしやすいと人気だと聞きますが、実際住んでみて、雰囲気は良く感じますが、子供の医療費は所得制限があるし、不妊治療も高度医療かつ所得制限の為助成を受けられないし、子宮頸がん、胃カメラなどの助成もなく、期待はずれの点が多いです。今まで住んできたほかの地域のほうがよっぽど子育てしやすいと感じます。
- ・ 衛生面について：カラスがゴミをあさって散乱しているのをよく見かける。ネットの購入補助、収集でなるべく間を空けないことなどお願いしたい。医院の休診日：一律に木曜、土日ではなく、分散できないものか。空き地を利用した市民農園を増やす。住宅ばかり増やしても、と思う。旧アサヒビール敷地の残りはどのように活用されていくのか。ホテルを誘致すれば雇用の増加につながるのではないか。
- ・ 介護施設に入っていて安心です。
- ・ 高齢者施設をもっと作ってほしい。そしてだれもが利用できるような値段のおさえた所がほしい。高価なホテルの様な施設はいらぬ。グループホームをたくさん作ってほしい。
- ・ 西宮市に大きなスポーツ施設、文化活動もできる施設を作って、市民が気軽に集まれる場を作る→立ち消えている大きな体育館計画復活させてほしい。その一部に無銭食堂も設置、払える人は払い、家計が苦しい人はただで食べられる場所を作る。
- ・ 両親の高齢化に伴い重度知的障害者の妹の世話ができなくなりつつある。私自身、難病をかかえ、思うように介護できずに困っている。知的障害者の入所施設も少なく介護サービスもない為、入浴サービスや、おムツの補助などがあれば助かります。あと自分が難病になり働けなくなったので、給付金があれば生活の不安が軽減されるので検討して頂けるとありがたいです。
- ・ ずっと隣の町の引きこもりの方に悩まされており、民生委員、自治会長さんと相談しましたが、個人なので介入は難しいようです。こんなときアンケートが届きどうか市役所の方から訪問して状態を確認して頂けると助かります。よろしくお願い致します。

- ・ 老若男女で支え合いが出来る最小のグループは自治会かと思う。只単に行政からの広報や回覧板を廻すだけの自治会ではなく、自治会主催の活動の為には資金も必要。そのための助成も行政の役目かと思う。
- ・ 障害者や高齢者が増えているので、どこにでも休憩できるスペース(ベンチ)がほしい。●●は、以前は各階にあったがコロナで全て撤去。レジ前にイス4脚だけ。どうしろというのか。食べ物は買いに行かないといけないのに買いに行く度に休憩もできずしんどいのを無理して体調が悪くなるのをくり返している。●●に行ってもベンチはそのままあるし、距離をあけてお座りくださいとなっている。●●ができてなぜ●●はできないのか。市から職員も派遣されていると聞いているが、弱者のことなんて少しも考えてない。コロナ弱者。
- ・ 重度知的障害者の入浴サービス自分が高齢になり、子供のお風呂に入れることができなくなっている。尿・便の失禁が多くおむつ代が経済的に負担、介護サービスが知的障害者にも利用できるようなれば助かる。
- ・ 私自身、自閉症スペクトラム障害の子供を育てていますが、今発達障害の子が増えていると聞きますが、幼稚園などのそういった子への理解がもっと進んで欲しいと思います。(私立幼稚園はまだまだ難しいのでしょうか)。
- ・ 西宮だけのポイント制をつくり、病院への付添いや、買物、入院時の諸手続きの代行などにマイナポイントがもらえるようにしたら、遠い県の親類や、年寄り両親に頼むことなく、近所や、普段会っている身近な人に頼めるようなれば、市内で安心して暮せると思います。もっと市内人間力を強化するならば、市内での助け合いのはばを広げないと、始まらないと思う。
- ・ 独居高齢者、障害者が増え、町内会の存続が危なくなっています。地域の助け合いは、どこまでプライバシーに関わるか、一度こじれると、顔を合わせるのも辛い関係になりますので、難しいかも。訪問診療やデイケア等から、関係を広げるのも一方かと。訪問やデイケアもいやがる場合、さらに難しいですが。コロナ感染のリスクは当分続くでしょうからなおさらです。
- ・ 健康づくりの一環としてウォーキング、ジョギングを推進し、その成果に対してポイントを付与しモチベーションを高める。(ポイントには一定の付加価値を付ける)。
- ・ バスの本数を増やして欲しい。
- ・ 子ども食堂は西宮にありますか？(親も利用できる様な)コロナで大変な方は沢山いると思います。家庭で多く買いすぎた食材や日用品を寄付できる場所がほしいです。
- ・ コロナまでは●●の西宮いきいき体操に通っていました。コロナが終息したらまた通いたいです。高齢のため通院に不便を感じています。高齢者用の送迎サービスがあると助かります。→多少の自己負担があっても利用したいです。
- ・ コロナ禍で生活が困窮する中で住民同士の協力も必要であると考えますが、どうしても限界があるため市が国に働きかけ減税や手当金当を実施して国民全てに恩恵の行く体制をとって頂きたい。ふるさと納税を廃止し地方交付金を増やしてください。
- ・ 高齢者住宅地域に巡回マイクロバスをお願いしたい。食料品生活用品を積んだ車が高齢者地域に週2回くらい来てくれるとありがたい。
- ・ 足(ヒザ)が悪く健康的にも不安を感じますので現在治療している為近くにちゃんとした医療機関があれば安心です。現在宝塚市で良くして頂いていますので北部地域にもほしい。
- ・ 路線バスが通らない所へコミュニティバスの運営。
- ・ 1人暮らしの高齢者の為に弁当の配達サービス等を行ない、生活状況を確認する。
- ・ 認知症中度の主人の母と同居しているが夜間せん妄など、家族はギリギリのところまで我慢している。本当は特養に入れたいのに、主人と本人はその気なし。家庭崩壊寸前です。

- ・ 映画館にいけないので地域公民館でおねがいします。
- ・ コロナにより、これまで生活に余裕があった方も状況が厳しくなっていると推測します。年収だけでなく、資産による枠組での区別対応が必要になっている（高齢、年収なし、でも貯金や資産のある方はない方よりサポートを少なくするなど）。
- ・ 高齢になると家を離れたくない…とがんこになり、色々なサービスがあるのにプライドがあり、利用出来ていない。年をとると週単位で悪化するみたいで早期のカバーをお願いしたい。（身内でないと申請出来ないし、本人も本音を言わないことがあります）。
- ・ 趣味や生活用品等で不要になった物、未使用の物などを少しでも有効に活用できるようなシステムがあれば、と思います。
- ・ 主人の足が悪く車椅子の生活をしております。私も高齢なので何かあった時にどなたかの手助けがいます。其の折の事を考えると不安です。
- ・ 高齢者にとって健康作りは毎日の生活に欠かせない事です。よってこれからはいろいろな催しを行政から提案していただきたいと思います。健康作りの催しや提案は医療費の減少に連なっていて市政にとっても良い事だと思えます。どうぞよろしくお願い致します。
- ・ 年金の低い高齢者が安心して入れる老人ホームを増やしてほしいと切実に思います。希望すれば低年金者でも入居出来る所があれば先々が安心なのですが。今一番の心配事はこの件です。
- ・ 希望する家庭すべてに子どもが保育園に通えるよう待機児童問題を解決してほしい。
- ・ ひとり親や老老介護世帯に対し、市として独自のサービスを考えていただきたい。西宮は住みやすいですが、手厚い行政サービスがあるとは思えない。
- ・ 産まれてくる子供に対しての資金援助が少なすぎる。もっと子育てしやすい、サポートのある町にしてほしい。そういった援助があっても、西宮は対象外がほとんど。何故ですか。この町に住むメリットがない。
- ・ 運転免許を返すか迷っています。若い人と同居していても、勤めに出ているので病院に行くのに困ります。平地ならよいのですが坂道なのでこれからは心配です。
- ・ 私の子供は保育園に入れていますが、まだまだ入れていない子もいると聞きます。小学校に行ってから放課後も心配です。学童でもある程度家庭学習の代わりとなるカリキュラムをとり入れる、学校の進捗から遅れている子をサポートする、などあれば有り難いです。今後また、共働き世帯や高齢者の増加が見込まれる中、高齢者が子供を見守る体制がうまくできればよいのかなと思いました。
- ・ 高齢化社会と云われるのに、車いすで外出する道路事情になっていない。最低車いすでバス停まで、公共交通、バス等で病院・役所までいけるようにしてほしい。
- ・ もっと西宮市役所がコミュニケーションを地域住民にとっていくようにしたほうがいい。「みなさんが」ではなく「行政」主導で。もっとガンバレ。働け。もうすぐ1.17だ。
- ・ 住居付近は坂が多く、高齢のため、買物へ行くのが一苦労です。地域巡回バス等があれば助かりますし、外出する機会も増えると思います。
- ・ 西宮市内を移動する際、バスを利用する事も多いかとも思います。しかし、市内を走るバスでバリアフリーになっている車両は本当に少ないと感じます。市バスが無い為、民間事業者で難しいとは思いますが、助成金等を出してでも早急に改善する必要があると感じます。（度々、高齢者がつまづいている光景を目にします）。
- ・ 西宮名塩地域では医院の数が2医院しかなく診察で精密検査となれば宝塚市の市民病院へ行くか宝塚市の第一病院へ行く場合がよく聞きます。そこで主な役員の方では西宮市の県立病院の設置要望が強くまず第1とおっしゃいます。
- ・ 小学校、中学校の通学路の整備。小学校、中学校の通学の交通費の補助。中学生の交通費は年間7万円程かかる。補助はゼロです。

- ・ ほとんどのところで 19:00 までは保育所があるが、それ以降に仕事のある人（夜勤やシフト制）は家族のサポートが、大幅に必要。延長保育も預ける時間が、AM10:00～など遅くても、預ける時間は短いのに 18:00 以降は延長料金が必要など、圧倒的にシフト制で働いている人には不利。制度をもっと見直して欲しい。又、月～金の仕事の人ばかりではない。平日仕事は休みの日は、保育所を休ませているので預ける日数は少ないのに保育料は同じとか納得できない。コロナの時と同じで預けた日数で、徴収して欲しい。
- ・ 西宮市でも高須町は特に少子高齢化の進む地域だと感じています。武庫川団地の老朽化、少子高齢化が更に進展した場合公共交通手段の変化（阪神バスの路線、阪神電車武庫川線）が不安です。
- ・ 現在のコロナにおいて、西宮市は住んでいて補償もなく高い税金だけで非常に住みたくないと感じております。
- ・ 正直後期高齢で不安がいっぱい。
- ・ 職住近接のニーズに対応したまちづくりの推進。国際競争力の強化、コンパクトシティの推進。緑やオープンスペース・体育館の活用。シェアリングモビリティなど多様な交通移送手段の確保。中央体育館の予約枠増加、駐車料無料化を求む。
- ・ 皆さんコロナ禍で生活が厳しくなっています。市としてPCR検査は、無料で心配な人が、いつでも受けられるようにしてほしいと思います。そして、生活が困っている方達にフードパントリーなどの取り組み、協力の呼びかけなどがあれば良いと思います。
- ・ 問 20 その他に記載。これができる市町村とそうでない市町村で今後市のサービス提供に差がでる。教える時に交流できる。税金を使うべき。
- ・ 高齢者は車の免許を返上する人が多くなって来ているので、病院通いや、お買物に使える地域を巡回するミニバス等を設置していただけると有難いのですが・・・又は、市バスの昼間のダイヤを増やしてほしいです。
- ・ 自助の意識がない、低い人を標準にして計画を策定しないようお願いします。多くの市民は自分の家族は自分で守る、それを当たり前と考えているのだと信じたいです。
- ・ 問 22 にも記入しましたが、地域や集合住宅内での高齢化が進む中、表向き健康で介助を必要としない方々の暮らし方が見守りなどもなく心配。食を通しての接点があれば健康状態や安否確認もできやすいのでは？と思います。年齢などの条件をもうけ無料でお弁当を届けるサービス。お買い物に送迎するサービス。妊婦健診を補助したり、保育料をタダにしたりする事だけでなく、ずっと納税に頑張ってきた高齢の方々にも税金投入して欲しい。
- ・ 現在一人暮らし。夜間何かあった時不安な生活をしています。まだ身体に気をつけて運動していますが・・・判断をし、それなりに動いていますが不安です。
- ・ 命にかかわる事は 100%実施。あれば良い程度のことは予算と人は西宮市の全予算を考えて実施を。
- ・ 地域住民に頼らず、自治体（西宮市）が住民サービスを積極的に行ってください。

7 生活に困難を抱える様々な人への支援

- ・ 障がい者もひきこもりや孤立者も、総じて自ら「助けてほしい」と発信は難しいと思う。どこに誰が住んでいるのか、その人が今どういう状況下にあるのかを知るのは大変難しい。マイナンバーカードを活用し、コンビニと行政が提携し年一回（例えば自分の誕生日）マルチメディアステーション（Loppi Fami ポート et）で生活環境アンケートを入力させ、ポイントを配布すればある程度状況が分るので、それを元に支援が必要な所へ人を派遣するなどサポートを強化すれば、取り残される人は減ると思う。
- ・ 支援が必要な方一人ひとりに対して、見守り担当が有れば良いかな。

- ・ 支援が必要な当事者が自ら支援を求めることが困難な場合の方が多いと思うので、行政や地域の人からアプローチしてあげられる仕組みができればよいと思う。
- ・ 自分から SOS を出せない人を支えられる西宮であればいいなと思います。多くの人が住んでいるけれど近所はよく知らないのが現実な気がします。
- ・ 障害者へのご配慮に感謝します。市政ニュースへのマスク困難の障害者の記事、ありがとうございます。このように理解してもらうための様々なこと、日常生活、生きていくためのこと、親なきあとのこと、どうぞよろしくをお願いします。
- ・ 高齢者・障害者をかかえていては、自分のやる気にかかわらず地域参加は難しい。しかし公園や集会所などいこいの場所があれば人は集い、地域は健全化する。人数の多い高齢者の施策は既に多数あるので、貧困で食事や学習の機会が充分でない子供達、保育所の待機児童などへの対策は最優先でやってほしい。
- ・ 自分は心身障害者であり、親、障害福祉関係の方達等の声かけ、指示がないといけない。自分を理解してもらう人を広くしたいが、どうしても行動範囲が狭まってしまう。
- ・ 一人暮らしの高齢者で希望する方へ無料で見守りセコムのような、何かあったときにボタンを押したら繋がって、必要であれば救急車の手配をしたり訪問してもらえるものを配付する。高齢者や障害のある方で、買い物やゴミ出しが困難な方がそれらを引き受けてくれるボランティアの方にお安い金額やポイント付与などでお願いできるサービスを市で提供してほしい。粗大ゴミの回収で、ゴミステーションまで運ぶのが困難な時に運び出しもしてほしい。あまり高額でない追加料金で。コロナに感染しても入院も検査もなかなかしてもらえない状況なので、コロナに効果ある薬をオンライン診療で出してもらえ、その薬は指定した薬局で受け取ったり、配達してもらえるように早くしてほしい。
- ・ 高齢、低所得者、病気治療費の補助金。
- ・ 私も共働きをして子供を保育所に預けてきた。少子高齢化時代が一層加速してきている今、豊かな保育施策を保つ事が豊かな時代を築く事につながると考える。

8 福祉サービスを必要する人の人権確保

- ・ 子育てや障害のある方の支援は大事だと思うが他人がどこまで手を出していいのか？また日本の福祉は充実していると思うので、何でも支援するのがいいことだとは思わない。コロナでも自分の考えを持つことが大事だと思う。
- ・ 子供が2才(男)、6才(男)の時ぐらいに離婚し、養育費をもらう事もなく過ごしていましたが次男が7才の時に難病を発症し、半年程で寝たきりの状態となりましたが、ひとり親家庭の為ずっとそばにいる事が出来ず2年の命と先生に言われましたが今も寝たきり、人工呼吸器の状態ですが在宅ですごしています。ありがたい事に私の母が同居でめんどろをみてくれています。ショートステイ等も考えたりしますが子供に対して申し訳ない気持ちが大きく、施設に預けて虐待がこわくてしょうがありません。私のような家庭環境でも安心できる制度を充実してほしいです。
- ・ 高齢精神障害者は人に会う事を拒絶するので専門的知識を有する人が把握しておくことが大切かなと思う。
- ・ たとえば、障害者の方への手助けはしたいと思っても、どのように接すればよいかかわからないので、交流の場があり、してほしい事、してほしくない事。云われたくない事など互いに理解出来ると思う。市としてそのような場を作してほしい。
- ・ 西宮は学校が障害の理解や共に学ぶことはがんばっていると思います。障害福祉サービスも充実していると思います。がんばってもらえたらと思います。

- ・ 高齢者の方の、めやすとなる、おしるし。障害である事の、めやすとなる、おしるし。見ためだけでは、わかりづらいと思います。通常の通りすぎりと思われると、感じるため。本人の方より、ある程度きめられた事に対して、つけておかないと。きまり事のおしるしを作ったほうが良いのでは。子どもは、子どもなりで、より多くの人々と遊び、学ぶ、自由社会のもと、元気な日々を。

9 誰もが暮らしやすい環境整備

- ・ 公園で子どもがボール遊びを出来るようにして、運動を推奨して頂きたい。
- ・ ●●公園のトイレの並びの土が盛っていて木が植えられている所は、小さい子供たちがよく遊んでいるのにも関わらず、角張った石がごろごろ顔を出していて、子供がころんでひたいを切って、救急車で運ばれた時がありました。改善されていません。すみやかに改善して下さい。
- ・ ●●公園周辺の歩道の確保や、●●筋周辺の街灯をもっと明るくして欲しい。
- ・ 遊具のある公園がない。
- ・ 子供が気がねなく遊べる公園や施設。高齢者が通えるサロン（交流の場）。
- ・ ●●町には1つも公園がありません。引っ越して来て知り合いがいない時、近くに公園があれば母子共に知り合いが出来るのに・・・とても淋しかったです。児童館も近くにないので●●まで車で行ってきました。●●の上に遊具設置など、小さい子の遊び場確保を切に願います。
- ・ 子供がのびのびとあそべる公園が欲しい。
- ・ 子どもがボール遊びできる公園が近くにありません。人がいない時間を選んで野球の練習をしてもわざわざ苦情を言いに来ます。公園でボール遊びが禁止ならば、やってもいい公園を整備すべき。道路もこれから整備するなら、歩道、自転車、車のレーンを分けて広めに作るべき。●●筋のドブを早くなくして欲しい。
- ・ 子どもの健康的な育児のためにも公園（アスレチック、ブランコなどちゃんと遊べるものがあるもの）を増やして欲しい。
- ・ 歩道の整備。ハト問題。市役所付近に充実した公園・図書館をつくる。
- ・ 朝から清掃作業、町歩き等を行って居ります。しかし大池公園周辺にはトイレ、手洗い場が無いので皆困って居ります。日曜日の作業で近くの市民館・学校も休日、そこでコープ迄行っています。「コロナで衛生」作業の後の手洗いが出来ません。御一考の程よろしくお願い申し上げます。
- ・ 歩きタバコが今でもまだまだ多いです。大変不快です。厳しく禁止して下さい。街中でポイ捨てや公園のゴミ等多いため、子育てにも悪影響を感じます。公園の遊具も古いもの（サビていたり、滑り台が昭和っぽいデザインのもの等）も多いので最新のものへ切替してほしいです。
- ・ 市ごとの支援だけでなく、隣接の市等の施設等も自由に使える環境が必要。
- ・ 今、現在、コロナの問題を含め、生活しづらい状況です。政府（内閣）は外国人をくらしやすくする対策の形で日本国民が幸せに暮らせる環境作りが全く成り立っていないように思います。生活保護手当、支援も日本国民だけの保障にしてほしいと思います。優しい国ではなくなってきた感じがうかがえます。日本国民を大切にしてほしいです。よろしくお願い致します。

- ・ 市が、各市内の町内や自治会に対し、市内で困っている事を、住民に情報をしてたくさんあるはずなので、共有する機会をたくさん設けた方が良いと感じる。市が、福祉事業に対して、市議会議員の選挙活動の時だけ、活動するのではなく、もっと、市民の活動している、生活している場所に対して、顔を出し、自らも、身体を使って、汗を流すべきである、と考える。役所の中においてパソコンを操作していても何も良くならないと思いますが、いかがでしょうか。→たぶん危機意識が低いと思いますよ。
- ・ 西宮浜側だけでなく、大型遊具があると嬉しい。大型遊具を求めて他市に遊びに行っているの、近所で思いっきり体を動かせるようになるといい。平日は仕事をしているので、日曜や祝日にも子育て広場を利用させてほしい。ここが一番地域の人と交流できると思う。明石市の「あかしこども広場」のように広く豊かな遊具を幅広い年代が使える広場が欲しい。
- ・ 高齢者専用施設もなく、郵便局もなくなり宝塚発バスの便数も減る一方、コロナ禍の中で高齢者だけでなく、ますます住みづらくなっていきます。空き家が増えて当然です。
- ・ 徒歩で行ける入院施設のある総合病院があれば安心できます。
- ・ 西宮市北部なので、公共施設が少ない。
- ・ 公的機関だけではなく、商業施設なども積極的に参加できる包括的なシステム作りを行政が中心になって進めてほしい。
- ・ 西宮の地形のせいとあるけれど、施設にしても催しにしても市役所近辺から浜の方が充実していて、上の方は取り残された感があります。足（バスなど）もないし不便です。
- ・ 市の水道料金が高すぎる。宝塚市のように料金収納事務を民間業者に依頼すれば現在の1/2程度でできるはずだ。こんなアンケートを出すことよりその方が福祉政策の1丁目1番地というものだ。
- ・ 高齢になったり障害を持ちながら生活できる環境にないため（道路がきつい坂道、手すりが無い、店がないなど）まずはその整備。巡回して必要なものを売ってくれる車など。高齢者はコープのような一週間先に届くような買い物は不可能。今必要なものしかわからない。
- ・ 歩道と自転車走行レーンの分離をもっと広めてほしい。市役所周辺から夙川にかけてだけ整備されており、西宮北口周辺～甲東園の道路をもっと自転車走行が安全に（歩行者が安全に歩けるよう）でできるよう道路整備を進めてもらいたいです。障害のある人が走行させる電動の移動ツールが蛇行して危険なので。
- ・ 現在の住環境に満足している。
- ・ 西宮、治安良く、環境も良く気に入っていますが、今後夫婦共働きで子どもを育てていくにあたり、「保育所に入れるか」という心配が尽きません。もし入ることができなければ市外への引っ越しも検討しています。難しいとは思いますが、保育所を増やしていただければ幸いです。
- ・ 福祉とは関係ないかもしれないが、野良猫の保護を行うべきだと思う。
- ・ 県外から転入して、ずっと心を痛めているのがゴミのトラブルです。職員さんには色々迷惑をかけています。当番制のグループでは高齢者（同世代）が重いコンテナをつらそうに運ぶ姿（特に雨風の日）を見るのがつらいです。いつまでもコンテナやあみが片付けられない所が多く、「本当に文教の西宮。」と目を疑います。個人宅前のゴミステーションはお気の毒です。市議会ではゴミ袋の有料化を検討されているようですが「その程度。」と落胆してしまいます。「戸別収集」等々、特に働く女性や高齢者の意見を聞いて、現場重視で、真剣に取り組んでいただくよう心からお願いしたいです。

- ・ コロナが増加して、前よりももっと人との距離、かかわりも少なくなってきたので、withコロナでも、人とのつながり、かかわりを持ち、皆が安心して暮していきたいです。コロナでイベント中止とかも多いですけど、楽しい事、きれいだなあーとか明るい事もないと気持ちがぐらくなっていくと思います。
- ・ のらねこが何匹かいて春になったらまたふえてしています。フンのにおいが気になります。こんな時はどこに言えばいいのでしょうか。
- ・ 子供の通学路の車のスピードが速すぎていつも怖い思いをしています。ごみ収集車など。カーブを曲がってくる時がものすごく怖いです。小さい子供がみえているのかと思います。住宅街の道でもそうです。一般の車もすごいスピードで回ってくるので、看板や、ライン（停止線みたいな）を設置してほしいです。そのような設置がたりない道が多々あります。とても心配です。
- ・ 上記の件案とは異なりますが、子供の発達過程の上で下記の事が問題とさせていただきます。
●●駅北側の飲食街で夜8時前位から、ガールズバーなどの女性店員が道に立ち並び異様な、雰囲気はただよっております。学習塾からの帰りの子どもたちの前にたちはだかり、文教区の西宮市としては子供の発育上、倫理上、大変嘆かわしいと思われまます。市政の上でどうか解決して頂きたくお願い申し上げます。
- ・ 市民それぞれの人に対する思いやりがあれば住みやすい町になると確信している。西宮はとても住み心地がいいと思っています。
- ・ 自治会に参加していないとゴミは捨てないでくれとか…。初めて●●に引っ越してきて知りました。老人の独居はゴミすらすてられない…。大きな病院は宝塚市。大きなスーパーは三田市に行っています。納税はきちんとしています…。
- ・ 特にありません。西宮市は安心して暮していける住みやすいまちだと思います。
- ・ カラス、野良ネコによるゴミ荒らしが多い。健全な街になるように何か対策を。
- ・ 歩道の凸凹がない、傾斜が危険でないように整備。椅子、ベンチ等一服できる場所を設置する。
- ・ 甲子園球場の近くに住んでいるが、他地域（他の市）から来た人のマナーの悪さに困っている。酒によって大声で話す（さけぶ）、交通ルールを守らない、たばこなど。球場周辺・甲子園筋は禁煙ゾーンにしてほしい。子供の教育の為にも。必ず市長へあげ、対応・検討してください。
- ・ 広場等、使われていない場所の一般開放をしていただければ子供達ももっと活動しやすくなると思う。例として、西宮市民体育館奥の、今、休日駐車場としてしか使用されていない空き地（広場）。以前は皆走り回っていたのにと残念で仕方ない。
- ・ 心豊かにくらし続けられるまちづくり良き方向にと願っております。
- ・ まずは本件の様な住民の声をヒヤリングする事も大切です。ありがとうございます。これからもみんなが住みたくなる街づくりを宜しくお願い致します。
- ・ 西宮（近隣地区）は道が悪い！（せまい！）歩道を整備してほしい（深い溝などふさいでほしい）バスもあまりないので不便。
- ・ 公園を作って欲しい。
- ・ カラス生ゴミ被害がすごいのですが、ネットでは限界があり、全部鉄柵などで対応してほしいです。よろしく申し上げます。
- ・ 学区によりカラーが違いすぎる。●●地区は人数が少なすぎる。部活もない。引きこもりも増えていると聞く。対応してほしい。

10 地域防犯・防災力の強化

- ・ 西宮市と宝塚市の境目に住んでいます。176号線の歩道の改善・武庫川の河原の整備を希望します。生瀬水管橋について、無理かもしれませんが、災害に強い吊り橋を作ってほしい。
- ・ 防犯カメラの増設を希望します。(特に通学路や公園など) 災害時、特定の避難場所に人が偏って集まらない様に、あらかじめ町や番地ごとに避難場所を振り分けて決めておけば、避難先に悩んだりする事なく、スムーズに物資等の適切な確保につながると思う。
- ・ プライバシー保護等を理由に、地域の独居等、高齢者の情報を自治会で得られない。災害時に対応の仕様がな。防犯上止むを得ない部分もあるが。
- ・ 時々、流れる防災無線が聞き取りにくく、何を言っているか、わからない。なので、防災ラジオを購入。ラジオを利用して常に有用な情報を流していただきたい。ラジオの試験放送も音量も小→中→大→中→小と(音量を、急に上げるではなく)だんだんと、大きくなるように調整していただきたいです。
- ・ 時々、中央体育館から”防災の放送”があるが、聴き取ることが出来ない。窓を開けると、終わっている、といった具合だ。最低でも3回は放送してもらわないと、情報は伝わらない。
- ・ 隣近所に住んでいる方たちとの交流はほぼなく、お店経営の方を除きほとんど話したこともない状況です。地域性もあり、ある程度いたしかたないと思うが、マンションの管理組合のように半ば強制的に(月1回等)定期的に集まり、例えば防災のことを一緒に学ぶ、確認するなどを行なう場を設けてはどうかと思う。
- ・ 自治会に入っていない世帯が増えている。近所の人と顔見知りになり防犯活動や子供の見守りといった地域力を上げていくべきだ。
- ・ 水害時の避難は高所へ移動できれば安心である。高齢者や障害のある方は移動が難しいので、近所のマンション等に一時避難できるよう、事前に契約を結べるような仕組みがあれば良いと思う。住民間だけの契約は難しいと思うので行政が間をとりもってくれると良い。
- ・ 自治会には、誰もが入会し、その町内で助け合うことが当たり前になるといいと思います。地域でのあいさつ等、常にご近所の方々に気にかけておくという一人ひとりの意識が災害時には活かされると思います。
- ・ 災害時における際のリーダーシップができる人の育成が必要。
- ・ 災害時を想定し、公共施設の整備、清掃にシルバー人材センター等を利用して行うことはどうでしょうか。
- ・ 歩いていけるスポーツ施設がほしい。
- ・ 災害時に避難する基準が知りたい。避難所での生活について知りたい。(子どもがいるので不安)。
- ・ 何も災害がおこらなければ、目立たない障害や問題も、一度災害がおこれば顕在化します。その時、どう対応すればよいか、普段から考えておきたいです。
- ・ 最後(災害等)は公的機関(市役所)へ行けば大丈夫という安定感が大事だと思う。日常的には社会的弱者への積極的関わりを行うべきである。
- ・ 最近、自然災害が増えてきていて、私自身、県外に出ている、地震などで帰宅困難になる事があったりしたので災害時について不安に思うことがあります。今はコロナで無理かもしれませんが、落ちついたら防災について考えるイベントなどがあると良いなと思います。

- ・ 私は●●市で防災関係（消防士）に従事をしていました。特に災害時において西宮市、その他の市の職員であった方は自分の業務担当をしてきたことにノウハウを持っていますので自分が動ける範囲で活動できるよう退職後も発揮できるよう、登録制など実施して手助けできるようなシステムをOB・先輩の力は絶対に役に立つと思われます。アンケートの内容のごとく知識を持った方々は積極的に参加する事が大事だと思います（持っている）。
- ・ 西宮市に転居して1年をすぎました。町内に娘などがおりますが、他に知り合いはいません。災害の時はどうなるのか、心配です。障害があつて歩けないので、事前に避難の手順をしっかりと確認しなければならないと思います。どういった方々が助けてくれるか、今のところわからないので不安です。
- ・ 障害のある子をかかえています。地域で育てて地域にずっといると皆がなんとか声を掛けてもらったりはするも、新しい人が地域に入ってくるとなかなか難しいです。災害の時など私がいなくてどうなるのか心配です。
- ・ 防災対策または景観の点からも電線地中化をぜひ推進してほしい→どこかモデル地区で整備して景観の違いを市民に実感してもらえれば。
- ・ 平日の夕～夜や土日に気軽に立ち寄れるような共有スペースを作る。町単位では、大きすぎて人の顔も名前もわからないので、まずは2人（2世帯）1組、3人（3世帯）1組程度の防災組のようなものを作り、連絡先を交換するなどしてはどうか。西宮はどこに行っても人が多く、生活も子育てもしにくい。一極集中は問題点が多いため、市内もしくは市外の過疎地域への分散を進めるべき。
- ・ 犯罪防止のために「防犯カメラの設置」をし、子供等が安心して、暮せる社会となります。予防が大事だと思います。
- ・ この地区は●●中学校が避難所になっているが坂道を高齢者は昇るのに大変です。●●団地の住民は●●公民館の方が良いと思います。
- ・ 東北にいたころは、いも煮会というイベントがあり、避難訓練もセットで開催されていて、子どもから高齢者までマンションの人たちと顔合わせし、かつ、非常時の食料を新しいものに入れかえていました。
- ・ 浜側は、海拔が低いので、避難できるマンションの解放を交渉して欲しいです。30分でムリですよ。
- ・ 地域的に海拔の低い地域の為、ハザードマップの普及啓発が急務だと思います。
- ・ 災害時の避難場所はどうするのでしょうか？
- ・ 防犯カメラと電灯を増やしてほしい。
- ・ また、●●地域では、津波訓練はほぼ必要ないが、災害や地震に対する訓練や救急講習等もやって頂きたいです（土・日・祝含む）。

11 その他

- ・ コロナ感染が西宮でも発生。現在の市長の顔が全くみえないし、政令指定都市のリーダーとしての存在が問われます。社会公共性又発信能力のある人材が欲しい。市長はリーダーである前に公人である自覚が欲しい。
- ・ コロナのため、電車をとめるなど、緊急事態宣言のごとく、きびしく、いく。様々な方への支援も大事だが、コロナで近くによりそえないのでまずは、コロナ対策をしっかりする。

- ・ 妻と私の2人暮らしで、去年妻が脳出血で介護が必要になってしまい、介護や仕事により、時間と金銭に余裕がないため、お手伝いしたいところですが自分の生活で精一杯で出来ません。今は西宮市での介護認定とてんかんにより、先日自立支援認定を受け、助けられています。ありがとうございます。
- ・ 個人情報の保護で学校のクラスメイトの名前や住所、連絡先、保護者名すらわからない。
- ・ 前述をしておりますが、西宮市に限れば、各役所機能が分散し過ぎている。各場所も遠方に位置する等、かなりの無駄と不便だ！それぞれをネットワークでまとめるという、情報機関も無く、分かり辛い！今回のアンケートも、片寄りが見られ、生活者の根本を理解出来ていない気が致します。常にアンテナを張ること。情報を有意義に吸収し、伝達する機関を作るべきです。
- ・ 手書きのアンケートなど郵送料や制作、アンケート後の処理等手間がかかるものを、今コロナで、困窮している中わざわざ実施しなければいけないものではないのでしょうか。アンケートなんてタダではないのだし情報は生ものなのですぐ役に立たないものになります。もう少し役立つものにお金をつかってください。税金は公開される監査ないのですから。
- ・ 私自身が透析中で、食生活やコロナ禍で外出を控え二世帯で助かっています。健康に不安がなければボランティアに参加も出来ますが、今のところ、地域に役に立てず、申し訳ありません。
- ・ こども未来センターは何のためにあるのか良く分からない。子供の障害のことを伝えても、「いいね。成長の段階だね」と言い、医者や先生が言うことじゃない。近所のおばちゃんと話しているのではない。「〇〇がダメ、だからこれをしよう」と専門科らしい言葉をもらいたかった。未来センターとはかかわりたくないのに、これからどうすればいいのか。死にたい。
- ・ 浜甲子園・鳴尾浜などの車でいった方が便利な運動施設の駐車場代が高すぎると思います。結局近くのコインパーキングに止めたりするので市も空車ばかりになっています。
- ・ ●●に引越し予定ですが、土地が高い割に家に対して知識が少ない。例えば、指定の工法で家を建てたら、〇〇円補助その代わり災害の時は〇〇を地域の為に行うことを条件とする的な。あと動物の虐待や遺棄に力を入れるべき。人間より弱い者を守れない地域が人間を守ってくれるとは思わない。
- ・ このアンケートは選択肢に難解なものが多く回答しにくい。調査の結果が行政にどのように反映されるのか不明。
- ・ このアンケートのタイミングは全く悪い。コロナに関してのアンケートがない。
- ・ 初めてアンケートを受けましたが、こうして住民に意見を聞くことはすごく良いことだと思いました。是非今後も定期的にアンケートをとって意識調査をして(特に若年層へ)どのように改善するのか、改善したか、などアンケート結果とその結果をもとにどう対応する予定なのか、どう改善したのかを逐一住民も知ることができれば面白いと思います！今後ともよろしくお願い致します。楽しみにしています！
- ・ コロナ禍の中、アンケートの内容に違和感を感じました。非常事態宣言が出されている今、この様なアンケートの集計に時間をかけるのはどうかと思いました。
- ・ 今の時代、手入力アンケートは古いと思います。アンケート資料の作成費、集計作業の人件費をアンケート入力サイト作成に使った方が効率的かと思います。最悪、アンケートサイトのお知らせはがきを郵送。
- ・ アンケートの項目が多すぎて見るだけでも記入する気が無くなる。もっと、端的にわかりやすく方法を考えて欲しい。
- ・ 年齢的に88才と83才で歩くこともままならないアンケートはやめて下さい。
- ・ アンケート調査を行うのであれば、自治体が行うサービスに対する住民の希望を尋ねるアンケートを行うべきだと思います。

- ・ 自身がこれからも長く住みたいと思う西宮市の今後を若者世代に考えてもらうきっかけとして、このようなアンケートは「第一歩」だと感じます。一番、見守りが有効な年配の方を引き続き気にかけて生活していきたいと思います。
- ・ 生活をする為に働いていてこころのゆとりがなかなかかくボランティアや市民活動が出来ない事に後ろめたさを感じるアンケートでした。
- ・ 西宮市中心部の住民は転入者が多いと思います。時代にマッチしない昭和的な互助を目指すのはそもそもベクトルが間違っていると感じます。世間との意識のズレを感じます。このようなアンケートも全世帯、手書き、郵送で実施するのは税金の無駄です。もっと現代的な街づくりをお願いしたいです。
- ・ ●●地区の一番の問題は新規の入居者が少なく、子供の数が減ってきている状態。いかに住みたい街に思ってもらえるかの活動（例えば美化や外部への広報・アピール）を考えなければいけない。市民を巻き込む仕組みづくりができればよいと思います。
- ・ 市民の為に御尽力御配慮御協力有難う存じます西宮市民幸せに存じます福祉に関係ありませんが●●台にポスト1個。もう1個お願い出来たら嬉しいです。
- ・ 新型コロナウイルスに関する（詳しくなれる）セミナーなどがあれば参加したいと思います。
- ・ 何の為にあるのかわからない箱物の存在意義と利用価値をはっきりさせて欲しい（例）何ちゃらスポーツセンターとか何とか会館とか。
- ・ 各自問題意識を持ったり、関心を持つことが大切である。集会となるとコロナの影響もあるため良い案が浮かびません。
- ・ このコロナの時期に市民一人ひとりのために働いてくださりありがとうございます。この冊子を見て初めて心に留めないといけない事が沢山あることに気付かされました。気遣いも多いと思われまます。体調を崩されないように、お仕事に励んでください。
- ・ 私、自身高齢の為奉仕活動等が出来ません。
- ・ 一人暮らしですが今の所、何もなく、1人成りに生活をしております。
- ・ 88才も過ぎていたので自分自身が心配です。
- ・ 自身を含めて危機感を持っている人が少ないのではないかと。コロナ・コロナと騒いでいるが大事なことであるものどこか他人事のように思っている人が多いように感じられてならない。
- ・ 自分自身、高齢者であり多くの方からお世話をかけて頂いて感謝の念あるのみ。何年経っても忘れません。
- ・ 老人ホームへ入居している。地域には役に立たない。
- ・ 子育てに関し、色々ふれあいの場はありますが、コロナで中止となっている。人との距離が問題となる疾患なので仕方ないが、コロナが大きな壁になっている。
- ・ 老人ですからおねがいします。
- ・ 甲子園球場をイメージして、健康をアピールしていることがよく見受けられますが、野球に興味がある人間ばかりが住んでいることを認識して施策を持ち出して欲しいです。
- ・ 西宮市民病院の給与は半減にせよ。
- ・ 西宮に限ってではないがあまりにも働けるにもかかわらず生活保護を受けている人が多すぎる。どうしても働くことが出来ないのであればしかたないけれど元気で毎日スナック、パチンコに出かけている人を何人も見ているととても腹立たしく思う。もっとしっかり見きわめてほしいと思う。そういう仕事についているので余計ゆるせません。ムダなお金を使わないでほしい。

- ・ 支え合いを求めるのではなく、必要にせまられた時にちゃんと住民に必要なサービスを提供できる人材を育てて下さい。西宮市職員の質はひどすぎる。(保育所の職員保育士もそうだが)ちゃんと仕事をしてほしい。はっきり云ってそれだけ。
- ・ ●●町以外にもフォトコンテストをするようにして欲しいです。郵送よりもWeb応募に力を入れて欲しいです。
- ・ 少し意味が違うかもしれませんが私自身人とコミュニケーションが取れない人間なので。子供も8年位引きこもっていましたが宗教をさせて頂いたお陰で子供も今は働いていますし色々、人とのかかわりを少しはできたかなと思います。
- ・ 官僚的な硬直した考えでは市民はついていけない。例えば高齢者向けの宮水学園(職員は硬直しているが)など利用して高齢者の暮して資しては。市役所(本庁)の職員はまだまだ高圧的な方が少なからず居ますよ。
- ・ コロナ感染拡大阻止の観点から、今は、アイデア等考えにくい。
- ・ 現在88歳4ヶ月の高齢者である私には、余りお役に立つ意見はありませんが、西宮市民である事には常に感謝しています。色々とお世話になり有難うございます。
- ・ 単身、未婚のため地域との関わりはありません。
- ・ 設問と該当の解等が、抽象的すぎる。設問関係に矛盾が生じている。以上
- ・ かぶと山荘へいかせていただいていたいました。行けなくなりさびしく思っています。少しは遠くの人ともつきあいが出来ましたのに…。
- ・ 高齢の為お役に立てるのは無理の様です。自分が皆様の負担にならぬ様にしなければと思っています。
- ・ 現在仕事を辞めて求職活動中ですが、ハローワークに初めて行き、こんなにも手厚く求職活動を助けてくれるものなのかと初めて知りました。ハローワークに限らず行政のサービスが充実していても、それを知って活用している人はすくないのでは。と思います。
- ・ 70才過ぎて、体も頭もおとろえて来と用事もあるので前方でなく後方にまわり、興味有。勉強したい。(医者かよい)(忘れやすい“ありがとう”“ごめん”“失礼します”ことばが少ない。
- ・ 小学校の子どもがいるが、コロナ禍におけるオンライン利用をいち早く推進していただきたいです。それぞれの家庭状況、価値観にもよると思いますが、他者に感染させないかなども含め、何かと気掛かりな点もあるので、通学等においても、家庭でオンライン授業を受ける、登校して授業を受けるなど各自が選択できるようになればと思います。
- ・ 西宮市でマイナンバーカードの住所変更の手続きをした際に職員の対応がやや横柄だった。(30~50歳くらいの女性で、おそらくアルバイトではなく職員)。そういう勤務態度の悪い職員がいなくなってくると、西宮市役所がよくなると思われる。あのわけわからんおばさんには腹が立った。
- ・ 1枚目は個人的に別に1枚にしてほしかった→記録としてファイルにしておきたかった。(コピー機→使用している人がいたのでことわってみていたがよくわからない。私の持っていた楽譜を出しておしえてもらった。面倒くさい。縮小はうまくいかなかった。→簡単なのかどこかに指していたから皆同じ様に画面が出てくる。鉛筆で書いたりするが(書き直せるから)ボールペンで書いた。書いていてやっぱり。と。何かって字がおかしい。重い荷物を持ったあととか、寒い日、特に雪なんかの冷たい日、いわゆる凍傷のような時、確かに書いているのは私だがこれは似た手の人がいる◎今書いているのは1/28(木)11:00頃(違う日も同じ状態だった)14:00~なる万文化ホール木曜講座→終了後は消防署前に言って甲子園。マンションB棟入口にある郵便ポストに投函。
- ・ 意見を言わせてもらって嬉しいです。次回を待ちます。
- ・ 今は、コロナ早期終息を祈るばかりです。

- ・ 私は高齢などにお世話に成ります。よろしくお願ひ申し上げます。
- ・ 市（又は県）の主体的、完結的な行政。
- ・ 市民の協力に期待し、西宮市としてすべき事を考えて行なうべき！すべからく遅い！
- ・ 難病指定の病気でリハビリ中。退院してから家族が大変だと思います。
- ・ 自治会館（拠点）の建替、リニューアルに伴う助成制度の充実。～助成金が削除されている。
- ・ アンケートの回答も普通より難しいです。
- ・ 今回このアンケートに回答したことによって、市の情報は広報紙（ポスト投函して頂くペーパー）を読んで取得しようと思いました。意識が変わるので、たまにこのようなことを実施するのも良いと思いました。（実施しすぎると「またか」ってなるので程々に…）。
- ・ ケースによる柔軟な対応が出来るしくみ。強制力（法整備が必要であるが）。
- ・ 無作為の選出とはいえ高校3年で受験まっただ中、少々迷惑です。